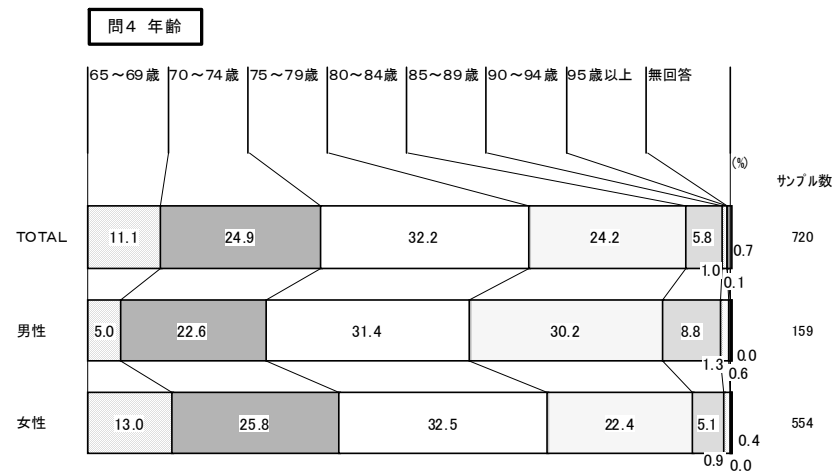


1 回答者の属性について

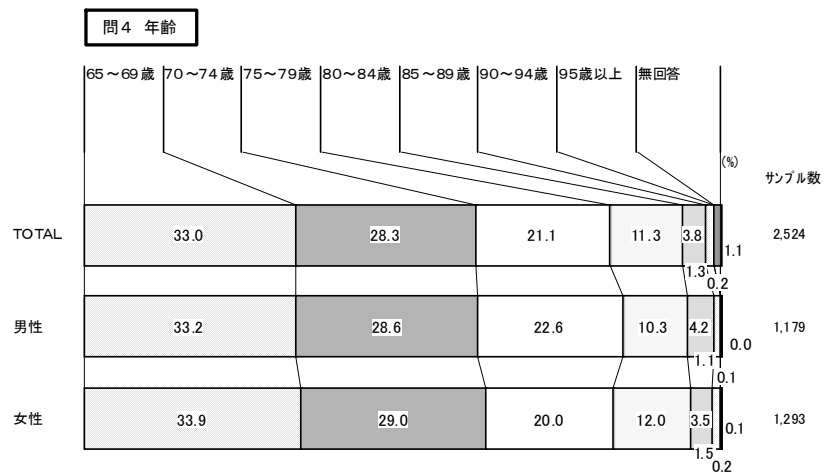
(1) 年齢構成

年齢構成をみると、後期高齢者割合(75歳以上)の占める割合は、要支援で84.8%と最も多く、要介護で84.3%、未利用で81.8%、特養申込者で80.8%の順となっている。

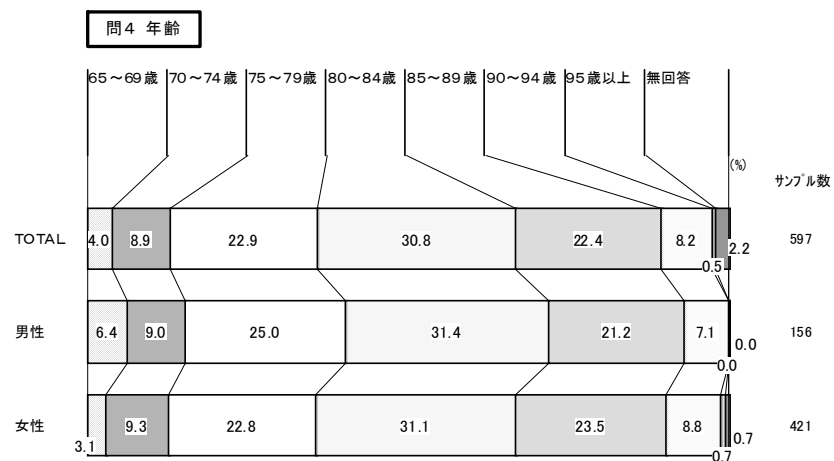
(介護予防)



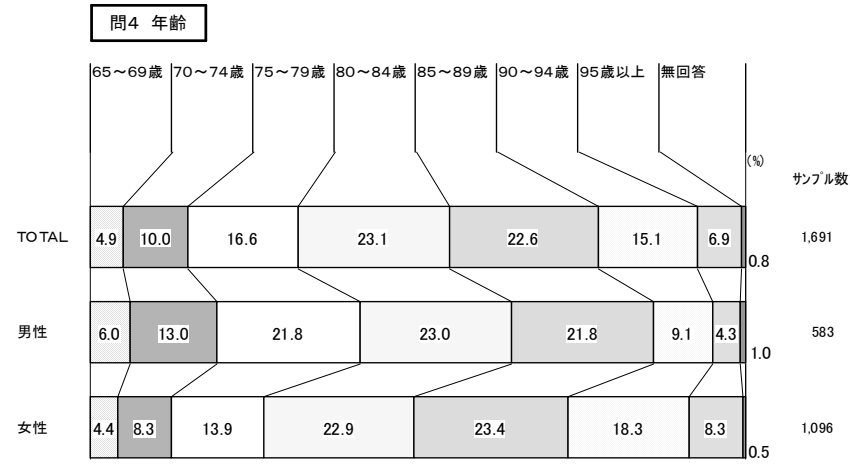
(高齢者一般)



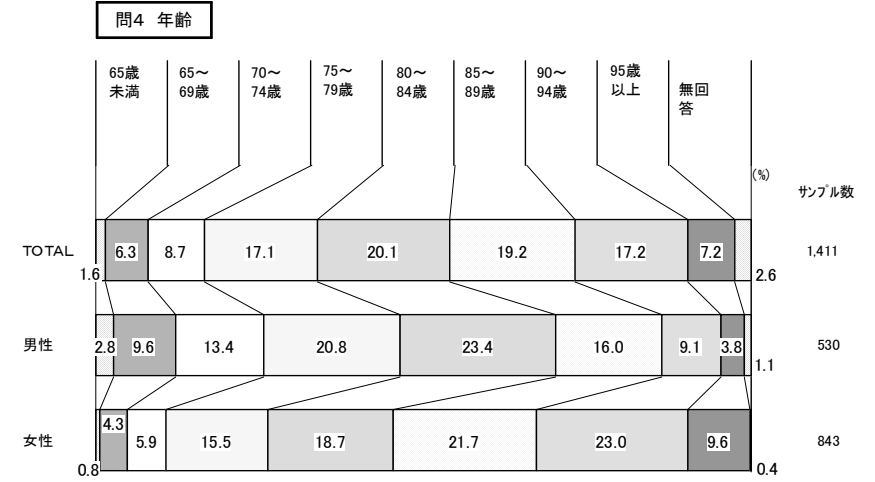
(要支援)



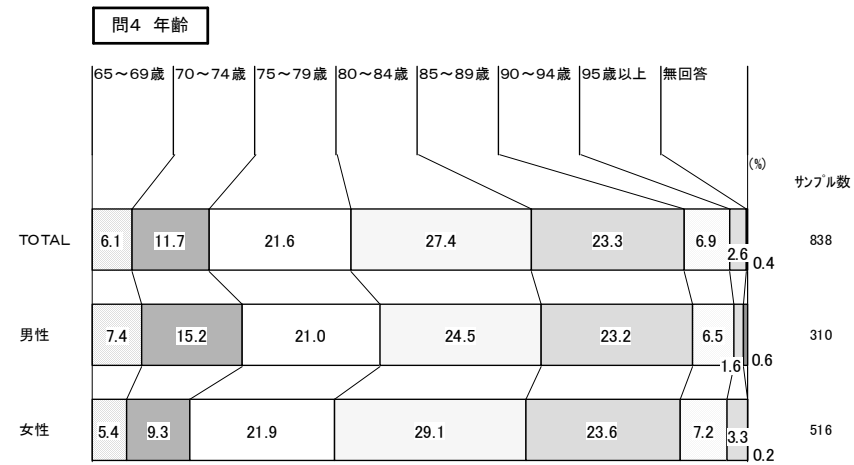
(要介護)



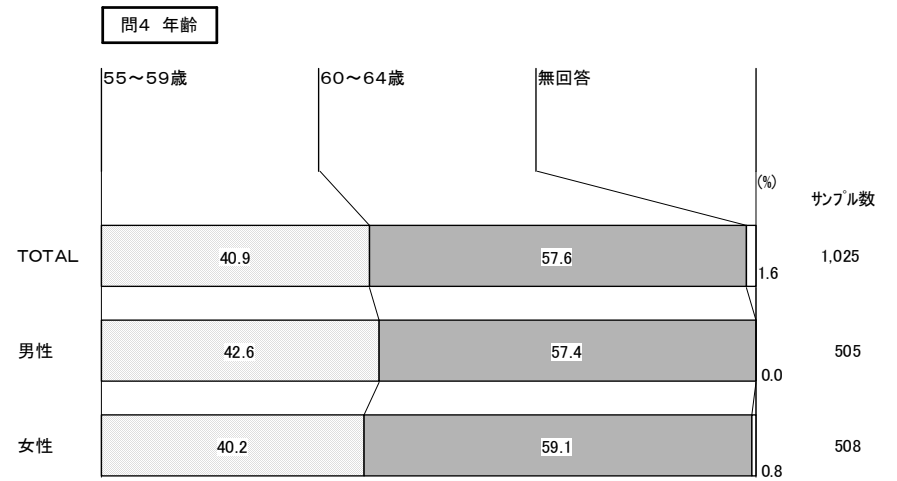
(特養申込者)



(未利用)



(一般55~64歳)

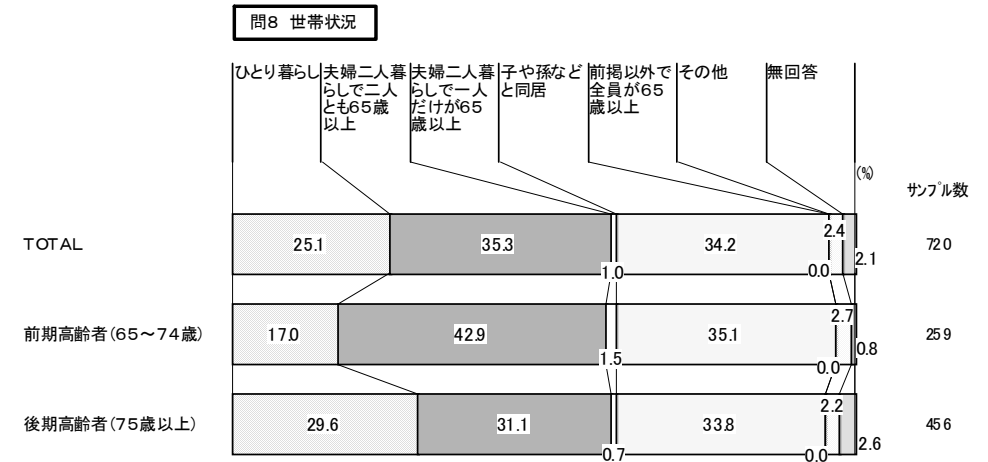


(2) 世帯構成

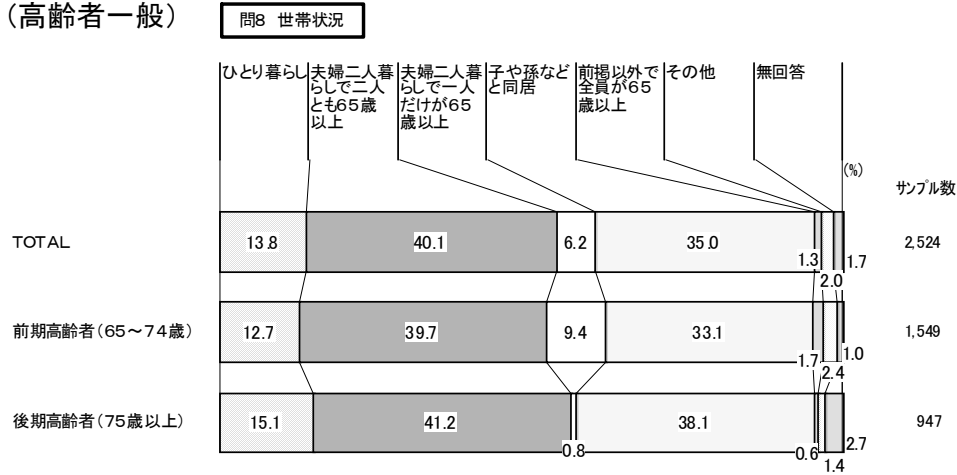
世帯構成をみると、要支援では、前期高齢者（65～74歳）50.6%、後期高齢者（75歳以上）50.9%とも、5割がひとり暮らしとなっている。

また、介護予防の前期高齢者の42.9%が夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上となっている。

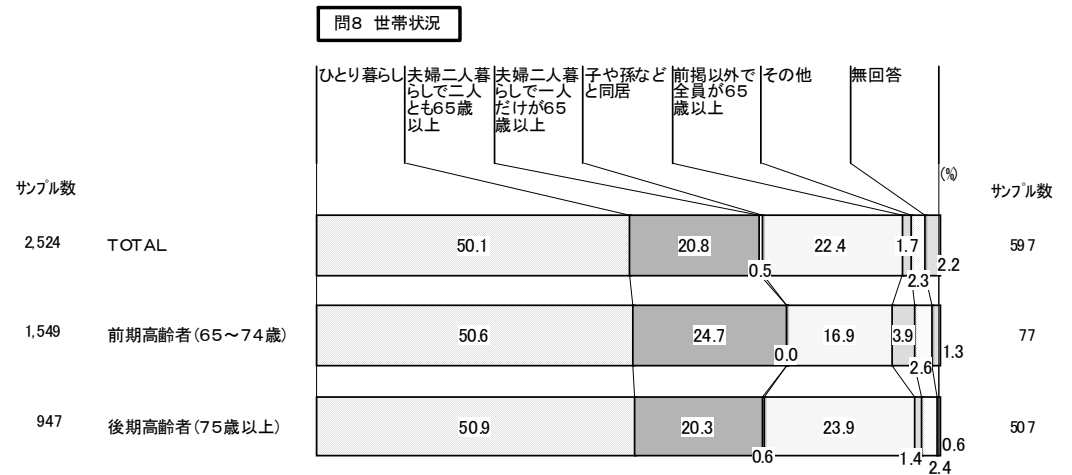
(介護予防)



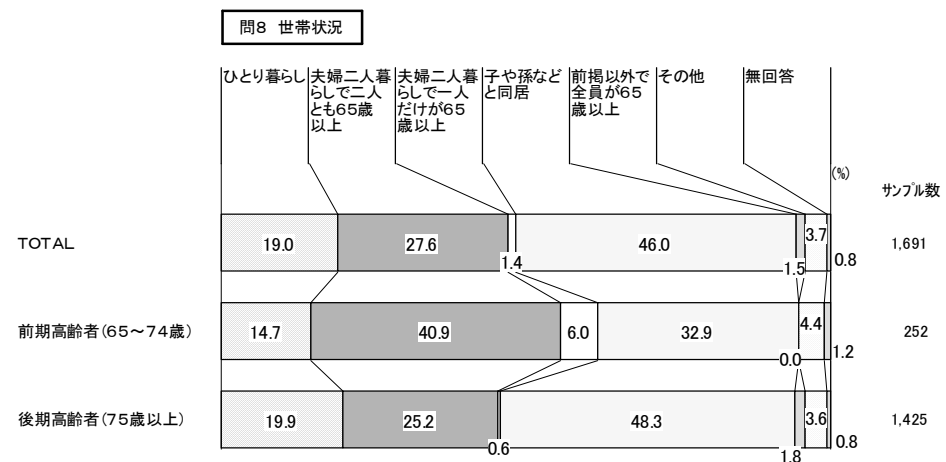
(高齢者一般)



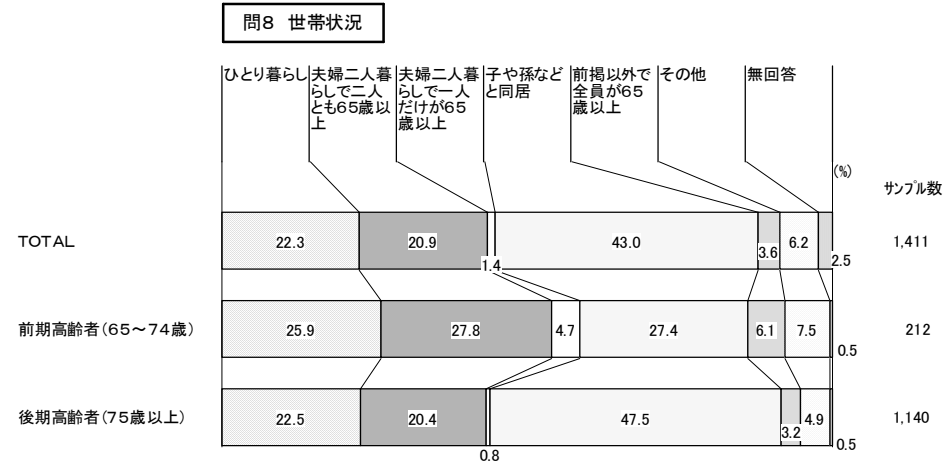
(要支援)



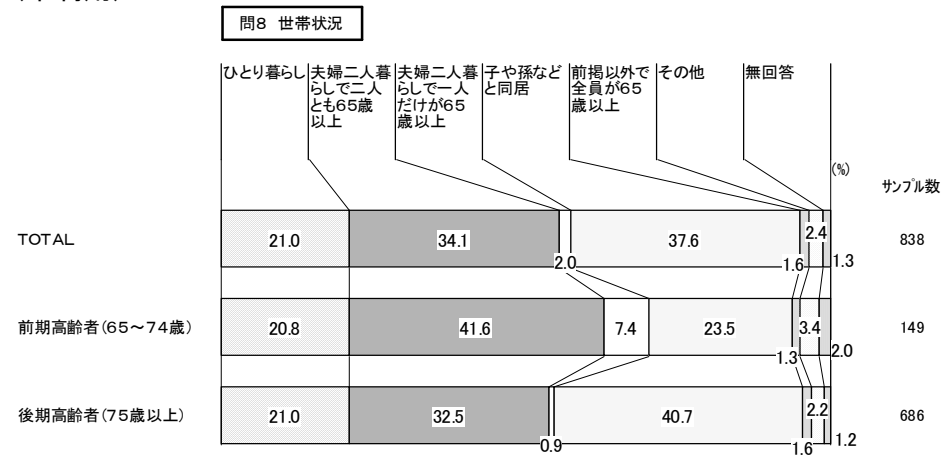
(要介護)



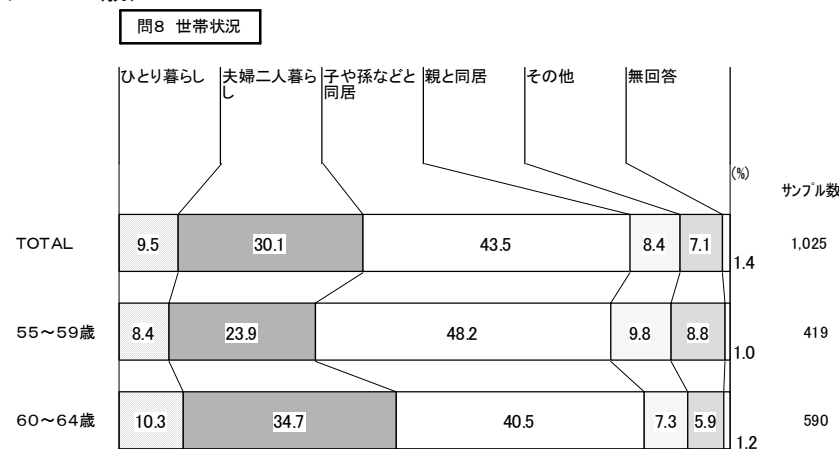
(特養申込者)



(未利用)



(一般55~64歳)



(3) 対象者の所在

今回の調査に回答した対象者の所在（居住区）の分布は、以下のとおりである。対象者ごとに居住割合の最も多い区は、高齢者一般は旭区（8.5%）、介護予防は都筑区（8.3%）、要支援は神奈川区（8.4%）、要介護は港北区（7.9%）、未利用は鶴見区、南区（ともに8.0%）、特養申込者は南区（8.6%）、一般55～64歳は戸塚区（8.4%）となっている。

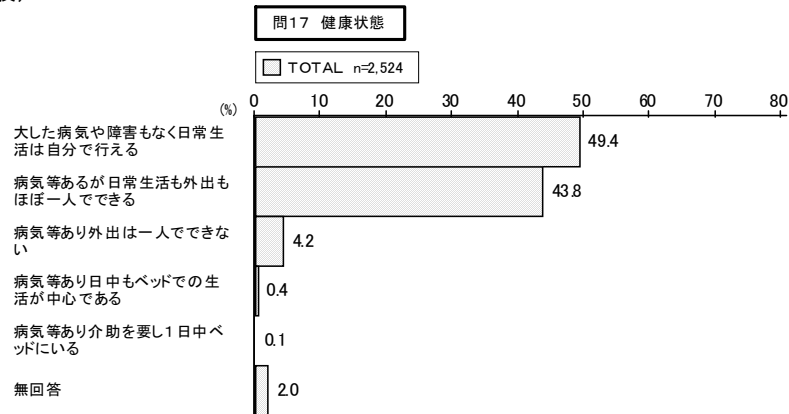
（上段：回答者数 人 下段：構成比 %）

	TOTAL	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
高齢者 一般	2,524 100.0	150 5.9	214 8.5	116 4.6	137 5.4	145 5.7	162 6.4	188 7.4	185 7.3	113 4.5	84 3.3	94 3.7	146 5.8	199 7.9	84 3.3	53 2.1	151 6.0	120 4.8	155 6.1	28 1.1
介護予防	720 100.0	33 4.6	28 3.9	43 6.0	25 3.5	43 6.0	53 7.4	45 6.3	47 6.5	47 6.5	52 7.2	60 8.3	42 5.8	32 4.4	41 5.7	29 4.0	18 2.5	51 7.1	28 3.9	3 0.4
要支援	597 100.0	38 6.4	38 6.4	22 3.7	41 6.9	50 8.4	47 7.9	35 5.9	49 8.2	19 3.2	16 2.7	27 4.5	32 5.4	41 6.9	20 3.4	18 3.0	30 5.0	16 2.7	45 7.5	13 2.2
要介護	1,691 100.0	107 6.3	124 7.3	74 4.4	84 5.0	115 6.8	120 7.1	114 6.7	133 7.9	49 2.9	28 1.7	60 3.5	126 7.5	113 6.7	71 4.2	39 2.3	111 6.6	85 5.0	130 7.7	8 0.5
未利用	838 100.0	46 5.5	62 7.4	40 4.8	47 5.6	56 6.7	59 7.0	57 6.8	61 7.3	26 3.1	14 1.7	30 3.6	67 8.0	61 7.3	36 4.3	25 3.0	47 5.6	34 4.1	67 8.0	3 0.4
特養 申込者	1,411 100.0	80 5.7	105 7.4	49 3.5	87 6.2	86 6.1	97 6.9	96 6.8	80 5.7	47 3.3	50 3.5	31 2.2	97 6.9	102 7.2	68 4.8	47 3.3	94 6.7	39 2.8	121 8.6	35 2.5
一般 55～64歳	1,025 100.0	79 7.7	73 7.1	40 3.9	49 4.8	70 6.8	71 6.9	72 7.0	75 7.3	37 3.6	28 2.7	49 4.8	52 5.1	86 8.4	29 2.8	25 2.4	56 5.5	62 6.0	60 5.9	12 1.2

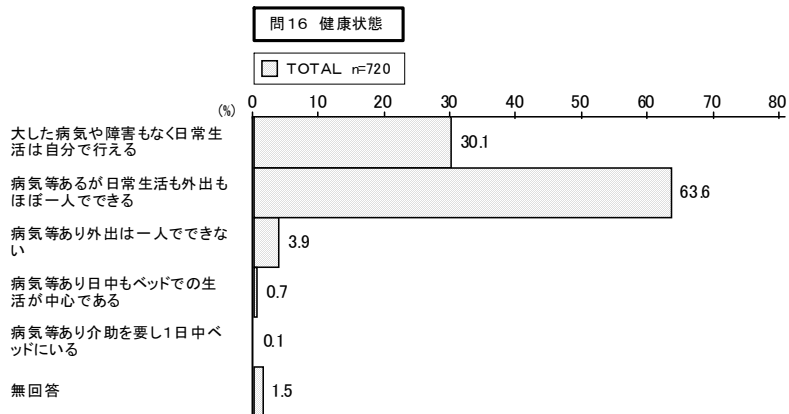
(4) 健康状態、要介護度

健康状態、要支援、要介護度をみると、介護予防対象者の63.6%は、「病気等あるが日常生活も外出もほぼ一人ができる」状態となっている。また要支援対象者の52.8%は要支援2となっている。要介護、特養申込者では、要介護5の割合が要介護では10.8%に対し、特養申込者では29.8%となっている。未利用対象者では、52.7%は要支援1、2となっている。

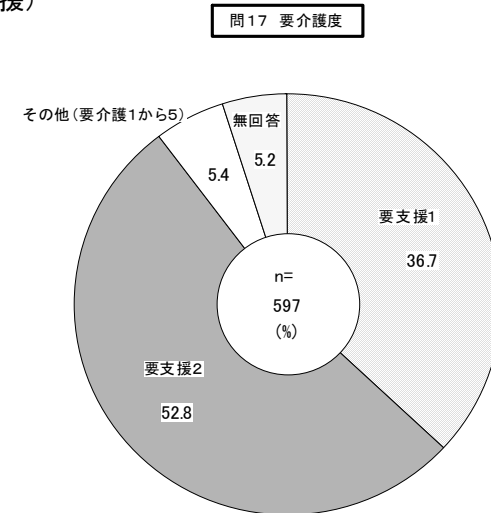
(高齢者一般)



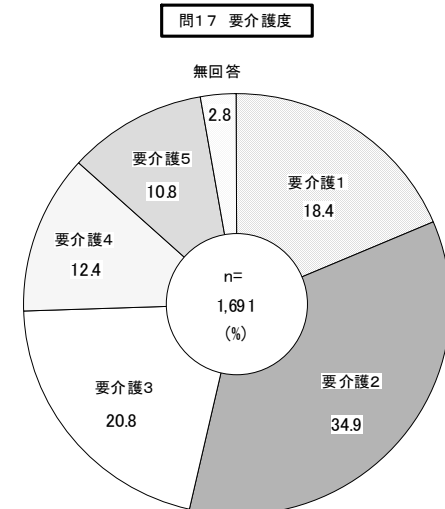
(介護予防)



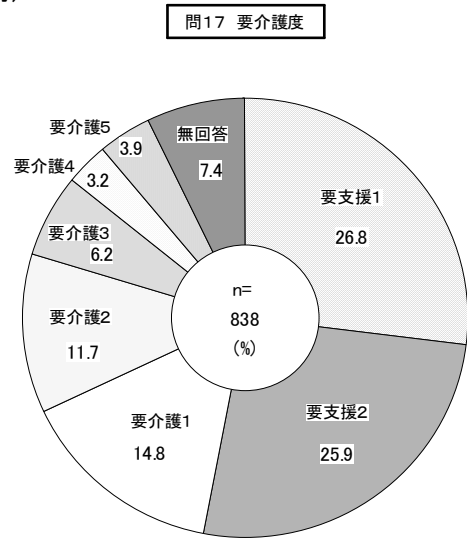
(要支援)



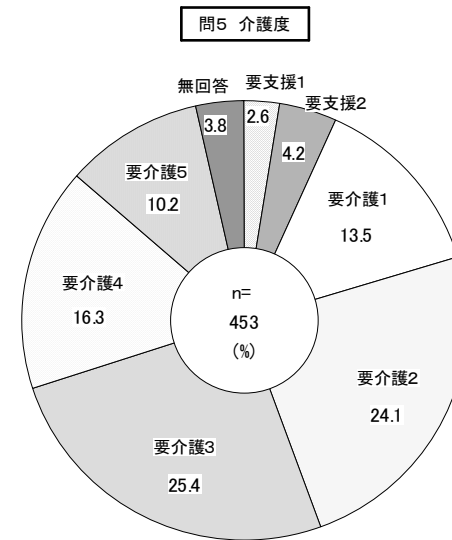
(要介護)



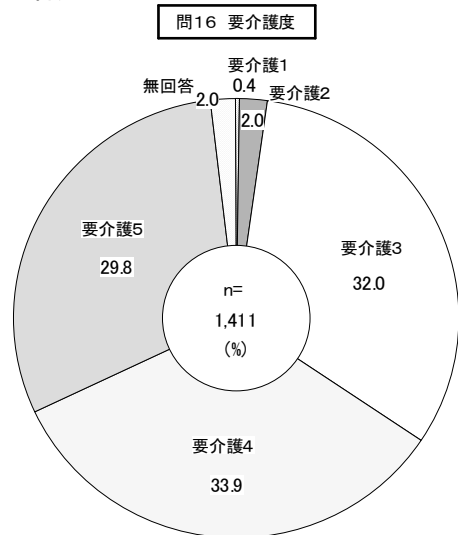
(未利用)



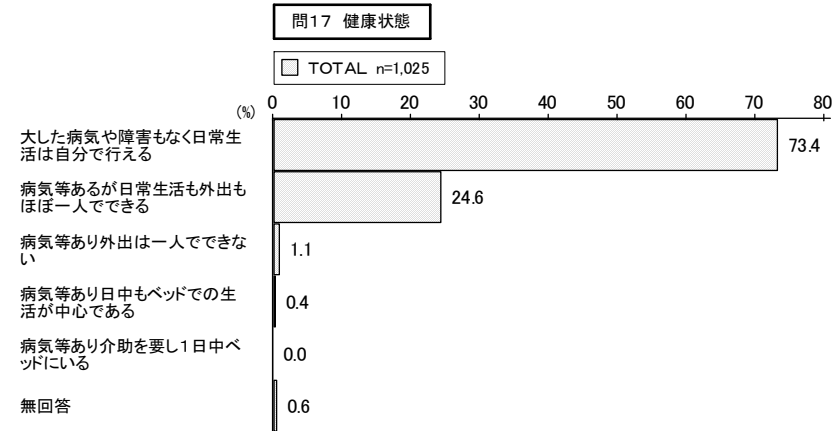
(小規模多機能利用者)



(特養申込者)



(一般55~64歳)

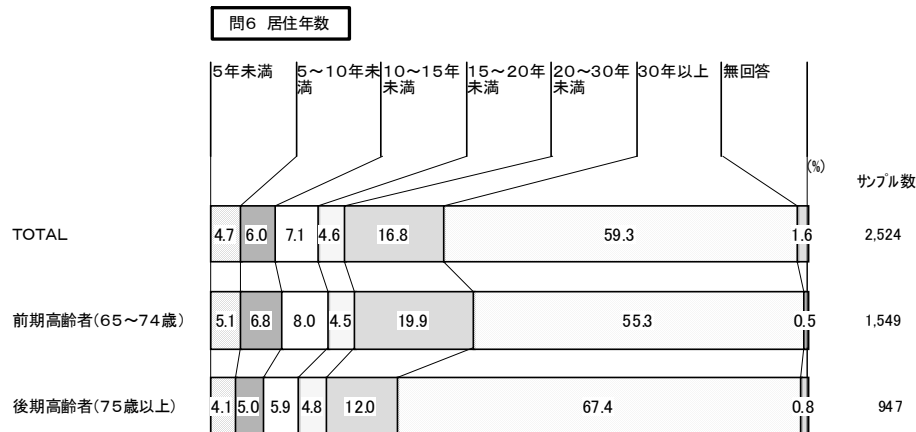


2 地域生活と住まい

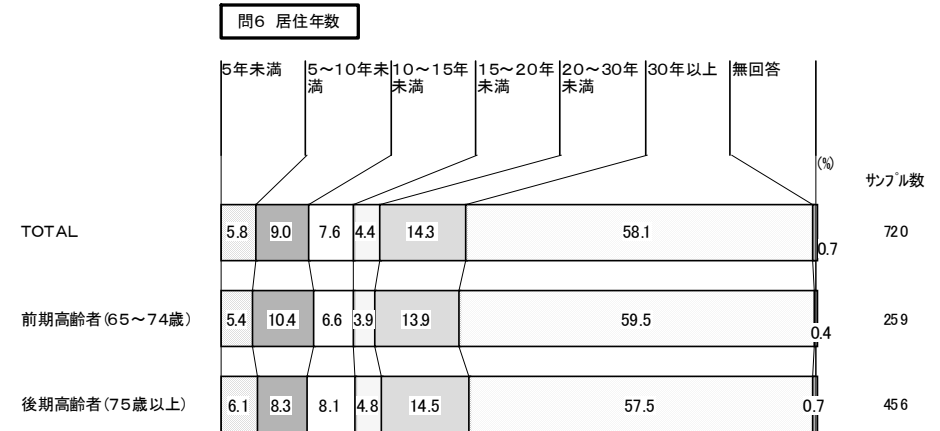
(1) 区内居住年数

区内居住年数をみると、高齢者一般の後期高齢者では「(区内在住) 30年以上」が67.4%となっている。一方、特養申込者の前期高齢者では、「5年未満」が11.8%となっている。

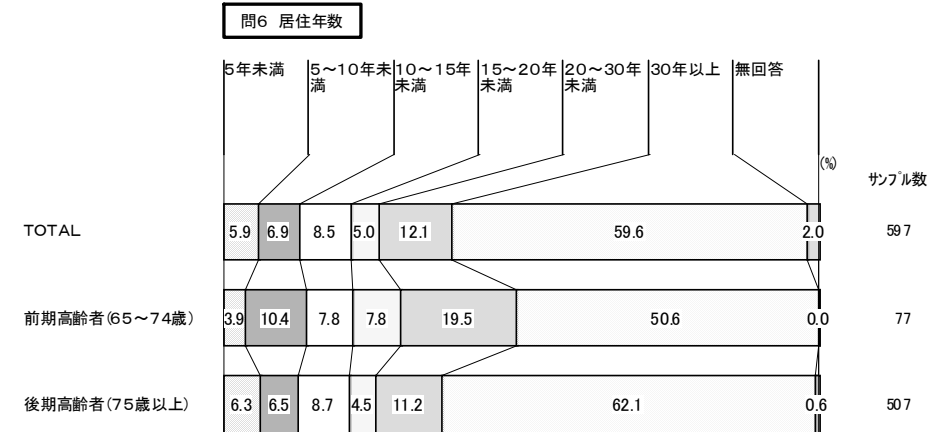
(高齢者一般)



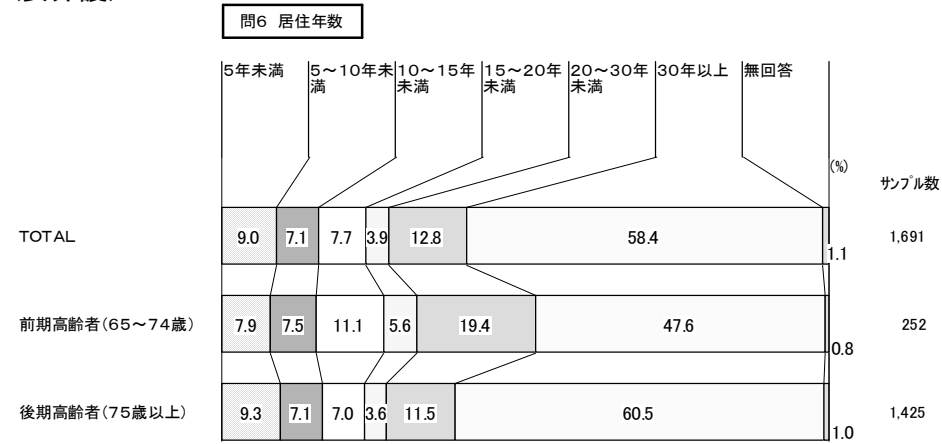
(介護予防)



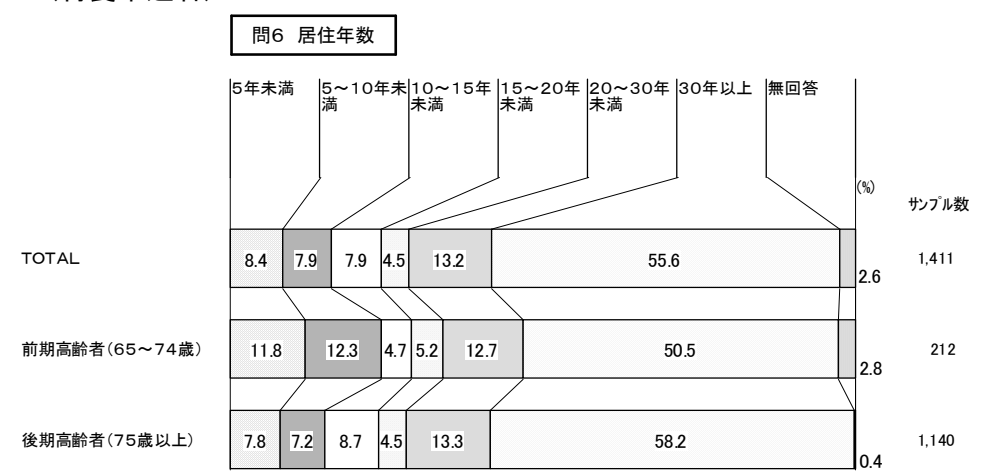
(要支援)



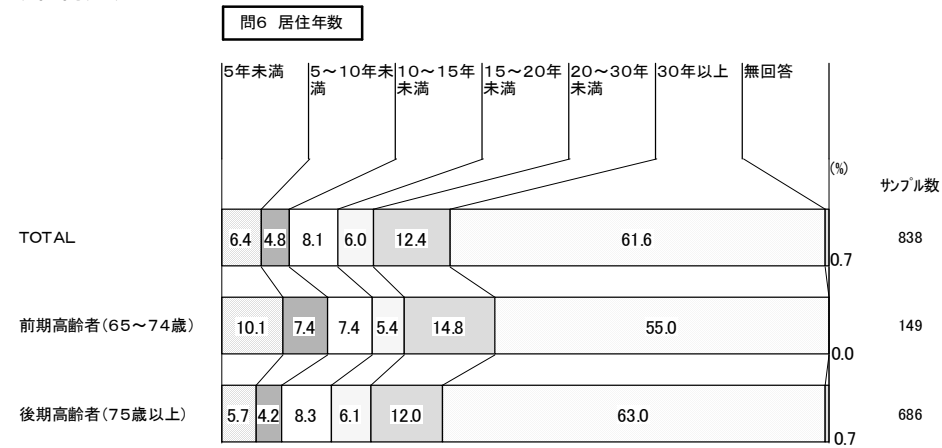
(要介護)



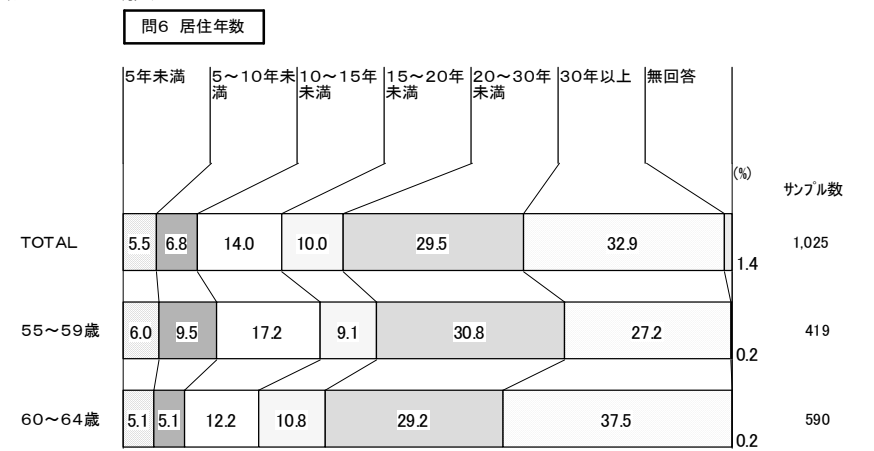
(特養申込者)



(未利用)



(一般55~64歳)

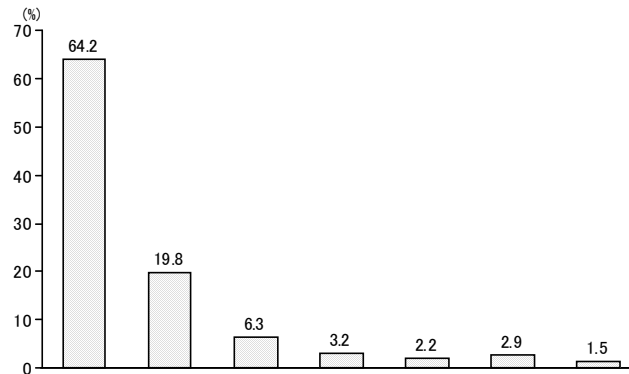


(2) 住居形態

住居の形態をみると、高齢者一般の後期高齢者では、「持ち家の戸建て住宅」に居住する割合が68.5%となっている。また、未利用の前期高齢者では、「公営住宅」に居住する割合が15.4%となっている。

(高齢者一般)

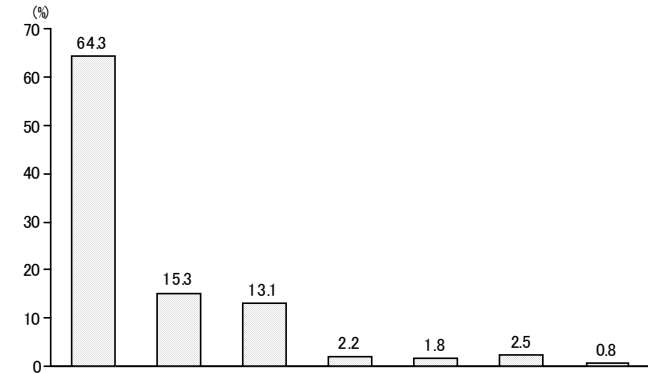
問10 住居形態
TOTAL n=2,524



* 年齢 (前期・後期)		n	1 持ち家の戸建て住宅	2 持ち家の集合住宅	3 公営住宅	4 民間賃貸アパート	5 民間賃貸マンション	6 その他	7 無回答
0	TOTAL	2,524	64.2	19.8	6.3	3.2	2.2	2.9	1.5
1	前期高齢者 (65~74歳)	1,549	61.5	23.0	5.4	3.9	2.5	3.0	0.8
2	後期高齢者 (75歳以上)	947	68.5	14.6	7.6	2.1	1.8	2.9	2.5

(介護予防)

問9 住居形態
TOTAL n=720



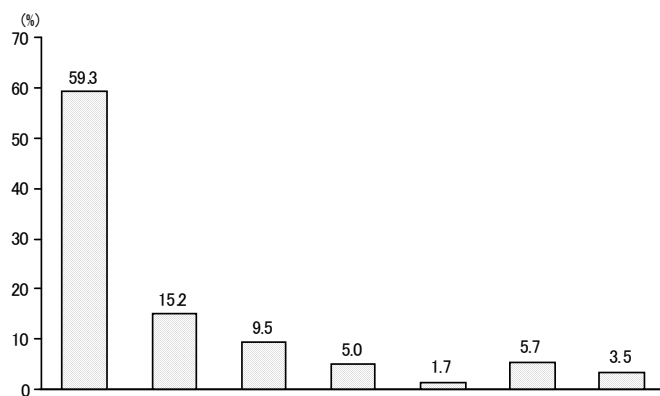
* 問4 年齢 (前期・後期)		n	1 持ち家の戸建て住宅	2 持ち家の集合住宅	3 公営住宅	4 民間賃貸アパート	5 民間賃貸マンション	6 その他	7 無回答
0	TOTAL	720	64.3	15.3	13.1	2.2	1.8	2.5	0.8
1	前期高齢者 (65~74歳)	259	64.5	18.5	12.4	2.7	1.5	0.4	0.0
2	後期高齢者 (75歳以上)	456	64.5	13.4	13.4	2.0	2.0	3.7	1.1

※ 「TOTAL」(全体の回答構成比)に対して5ポイント以上の増減のあるものには、○(増)、△(減)を表記。

(要支援)

問9 住居形態

TOTAL n=597

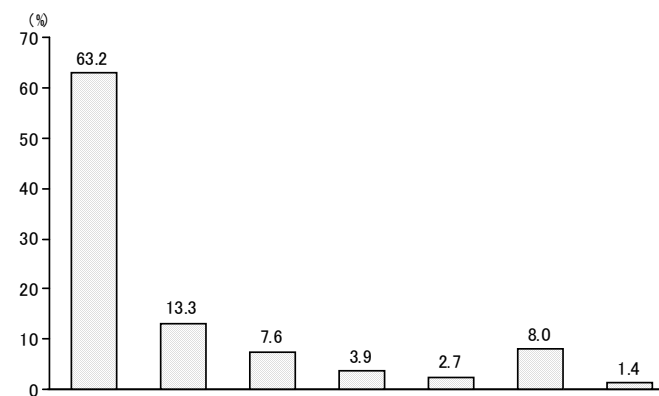


* 年齢 (前期・後期)	n	1	2	3	4	5	6	7
		持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	公営住宅	民間賃貸アパート	民間賃貸マンション	その他	無回答
0 TOTAL	597	59.3	15.2	9.5	5.0	1.7	5.7	3.5
1 前期高齢者 (65~74歳)	77	42.9	18.2	14.3	13.0	2.6	6.5	2.6
2 後期高齢者 (75歳以上)	507	62.9	15.0	9.1	3.7	1.6	5.7	2.0

(要介護)

問9 住居形態

TOTAL n=1,691



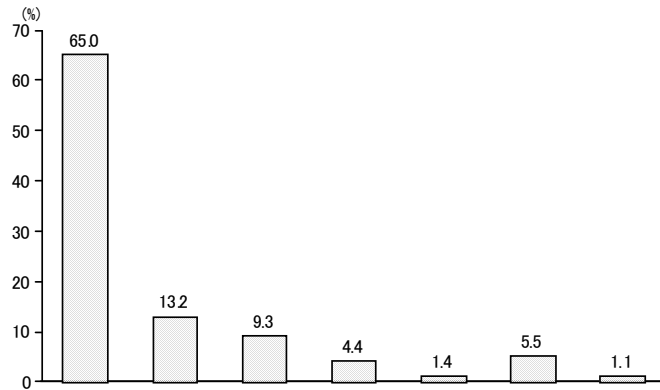
* 年齢 (前期・後期)	n	1	2	3	4	5	6	7
		持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	公営住宅	民間賃貸アパート	民間賃貸マンション	その他	無回答
0 TOTAL	1,691	63.2	13.3	7.6	3.9	2.7	8.0	1.4
1 前期高齢者 (65~74歳)	252	52.8	20.2	9.9	6.7	4.4	5.2	0.8
2 後期高齢者 (75歳以上)	1,425	64.8	12.2	7.1	3.4	2.4	8.6	1.5

※ 「TOTAL」(全体の回答構成比)に対して5ポイント以上の増減のあるものには、○(増)、△(減)を表記。

(未利用)

問9 住居形態

TOTAL n=838

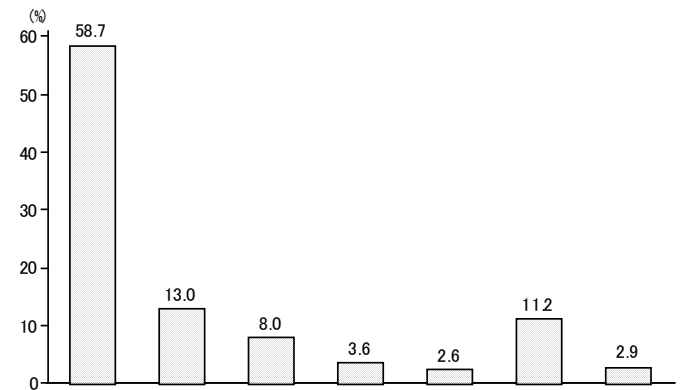


*年齢 (前期・後期)	n	1	2	3	4	5	6	7
		持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	公営住宅	民間賃貸アパート	民間賃貸マンション	その他	無回答
0 TOTAL	838	65.0	13.2	9.3	4.4	1.4	5.5	1.1
1 前期高齢者 (65~74歳)	149	57.0	15.4	6.0	2.0	2.7	1.3	
2 後期高齢者 (75歳以上)	686	66.8	12.8	8.0	3.9	1.3	6.1	1.0

(特養申込者)

問9 住居形態

TOTAL n=1,411



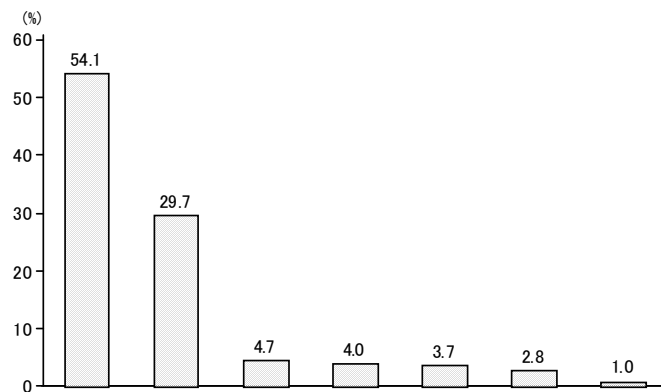
*年齢 (前期・後期)	n	1	2	3	4	5	6	7
		持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	公営住宅	民間賃貸アパート	民間賃貸マンション	その他	無回答
0 TOTAL	1,411	58.7	13.0	8.0	3.6	2.6	11.2	2.9
2 前期高齢者 (65~74歳)	212	48.1	12.3	9.0	4.7	4.2	20.3	1.4
3 後期高齢者 (75歳以上)	1,140	62.1	13.3	8.2	3.5	2.3	9.6	1.1

※ 「TOTAL」(全体の回答構成比)に対して5ポイント以上の増減のあるものには、○(増)、△(減)を表記。

(一般55～64歳)

問10 住居形態

□ TOTAL n=1,025



		1	2	4	3	5	6	7
		持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	民間賃貸アパート	公営住宅	民間賃貸マンション	その他	無回答
* 問4 年齢 (55歳～)	n							
0 TOTAL	1,025	54.1	29.7	4.7	4.0	3.7	2.8	1.0
1 55～59歳	419	48.0	33.2	6.2	3.8	4.3	3.3	1.2
2 60～64歳	590	58.6	27.8	3.6	4.1	3.2	2.4	0.3

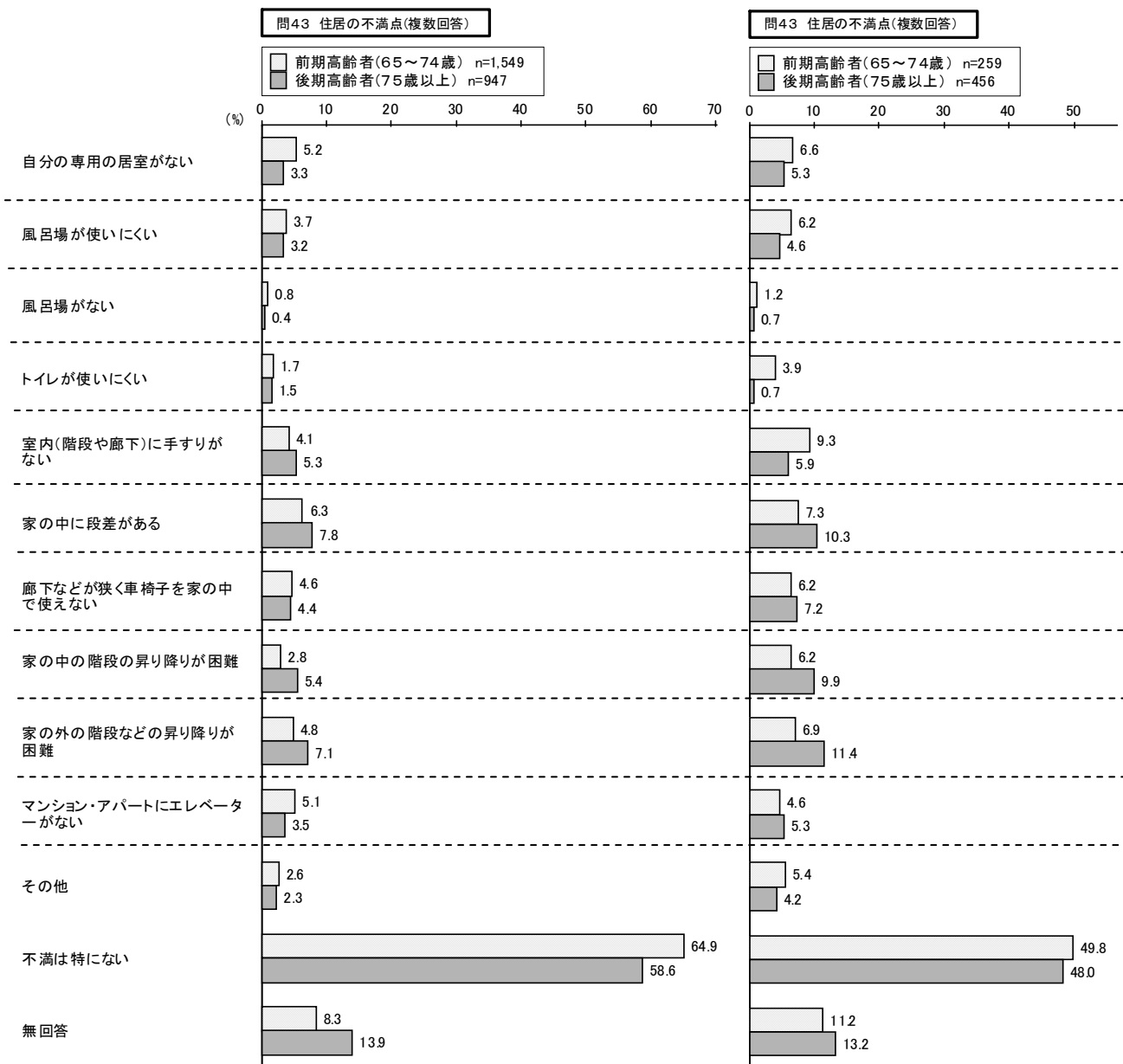
※ 「TOTAL」(全体の回答構成比)に対して5ポイント以上の増減のあるものには、○(増)、△(減)を表記。

(3) 住居の不満点

住居の不満点についてみると、介護予防の後期高齢者において「家の外の階段などの昇り降りが困難」(11.4%)、「家の中に段差がある」(10.3%)、「家の中の階段の昇り降りが困難」(9.9%)が1割前後となっており、段差が不満点としてあげられている。

(高齢者一般)

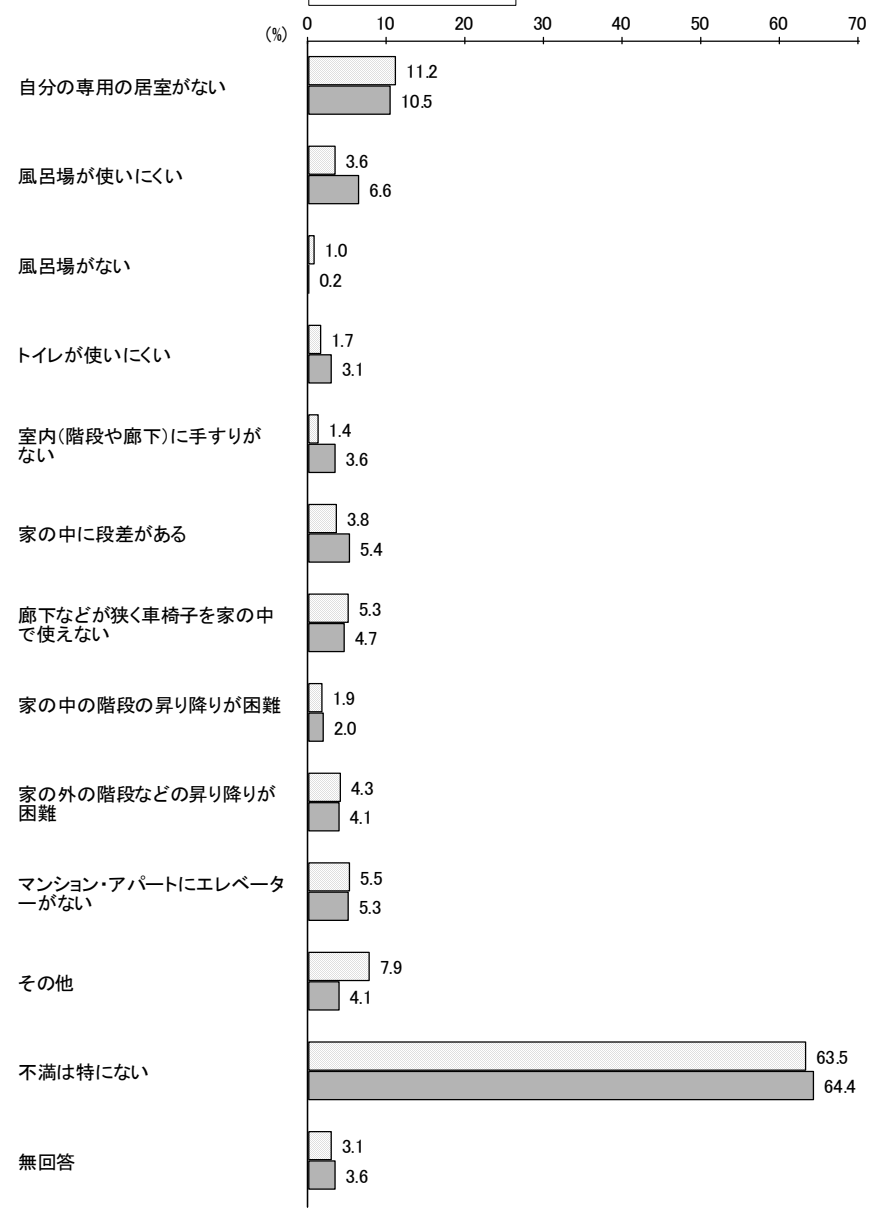
(介護予防)



(一般 55～64 歳)

問43 住居の不満点(複数回答)

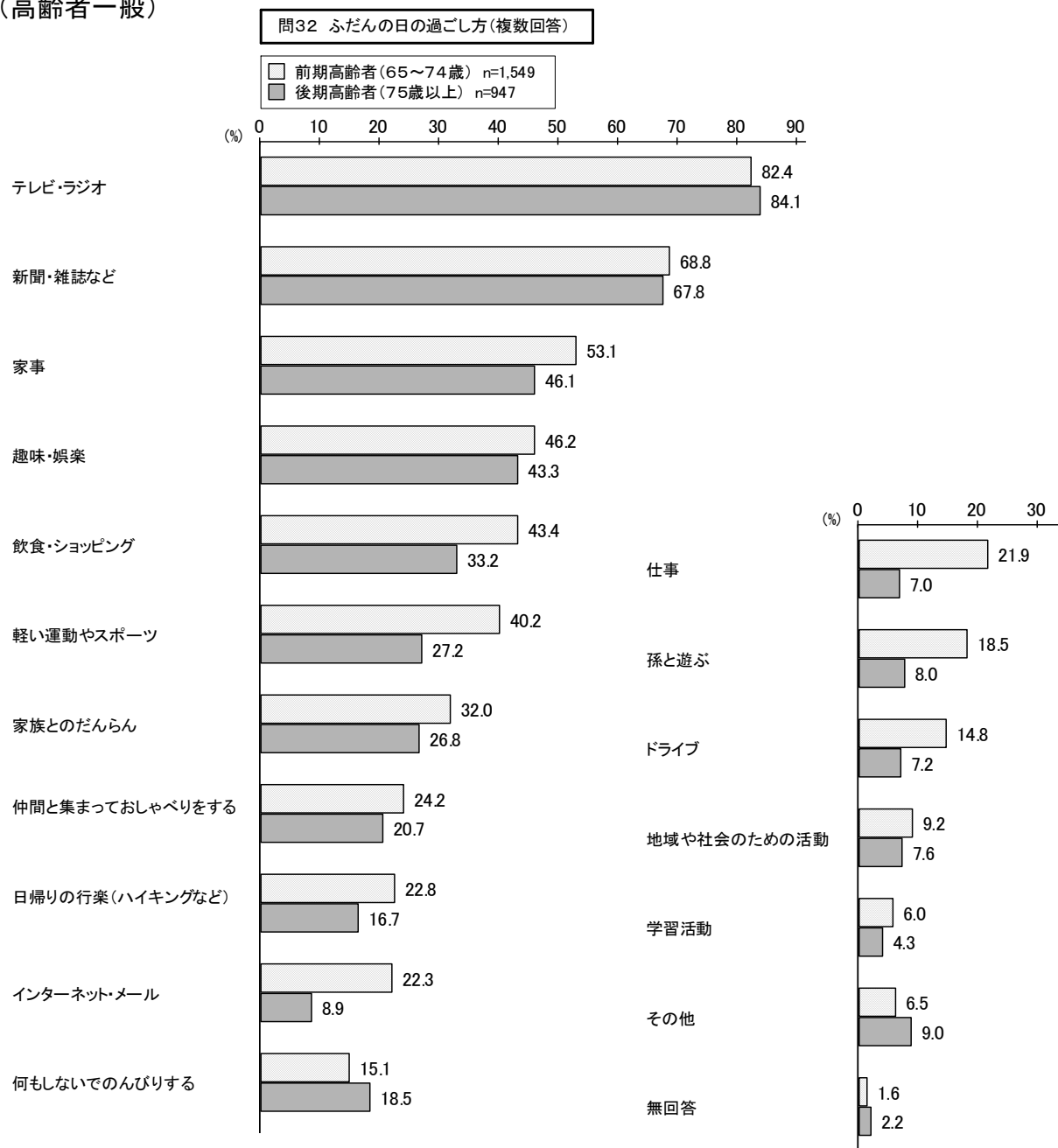
□ 55～59歳 n=419
■ 60～64歳 n=590



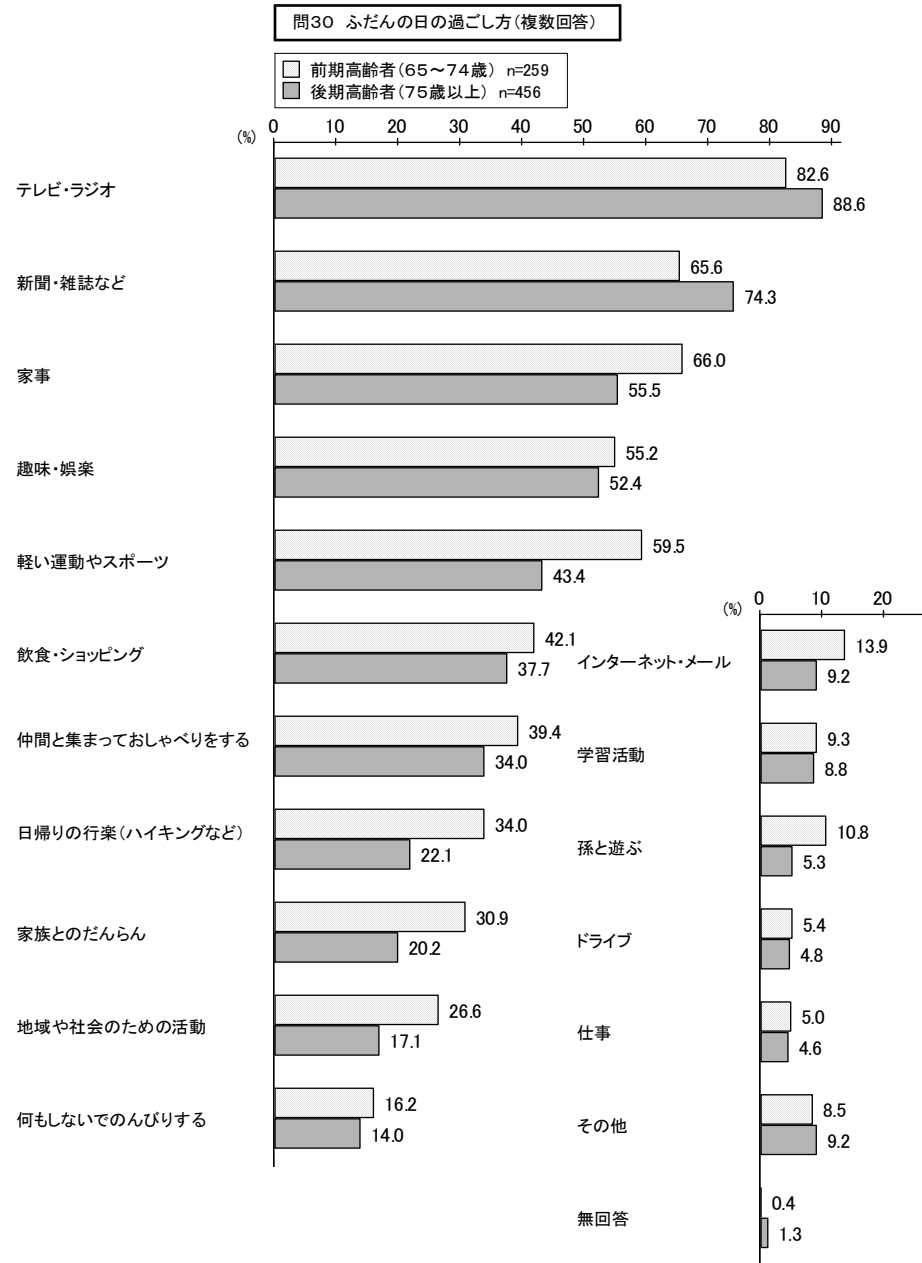
(4) ふだんの過ごし方

ふだんの過ごし方についてみると、介護予防の後期高齢者において、「テレビ・ラジオ」が88.6%、「新聞・雑誌など」が74.3%となっている。また、前期高齢者では、「軽い運動やスポーツ」が59.5%となっている。

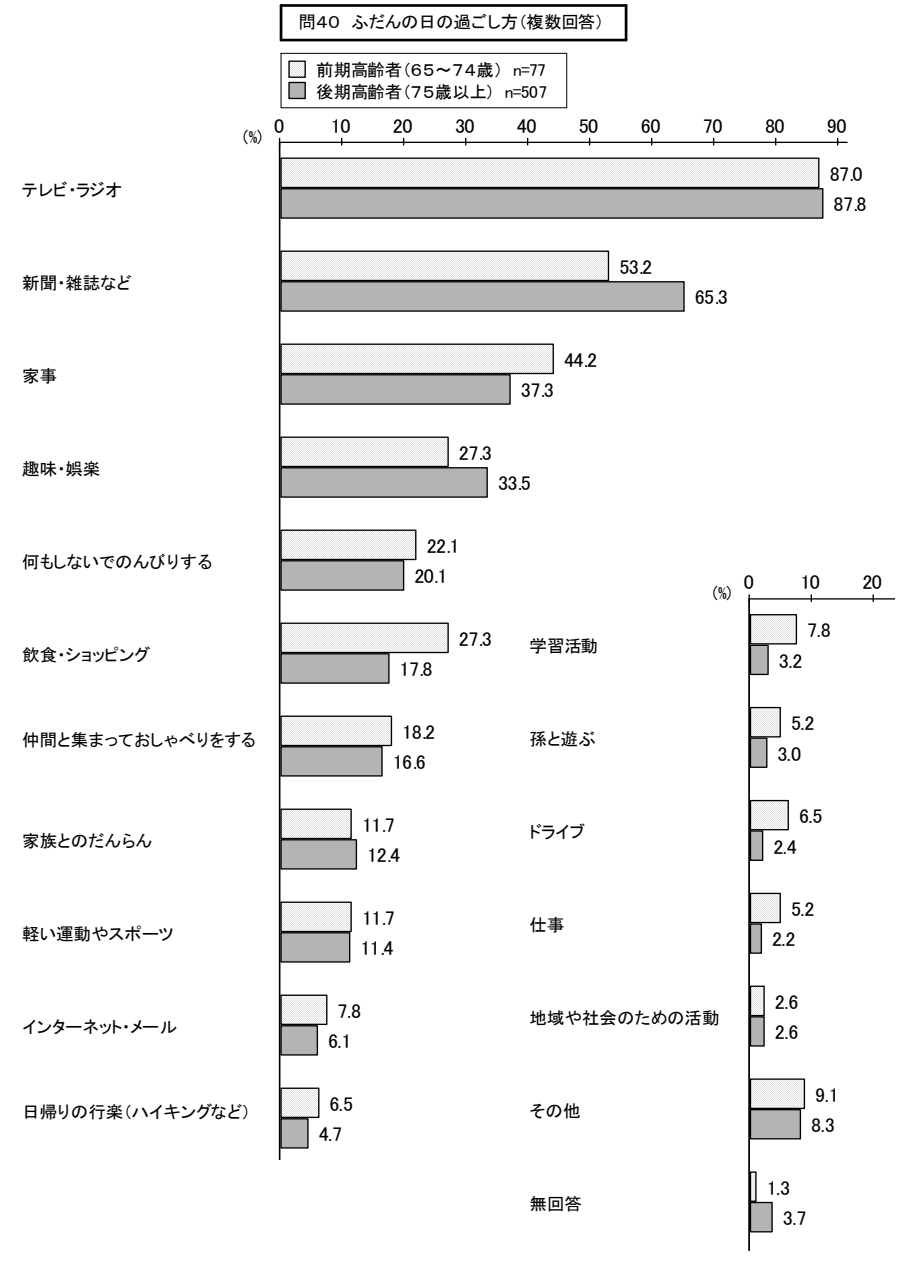
(高齢者一般)



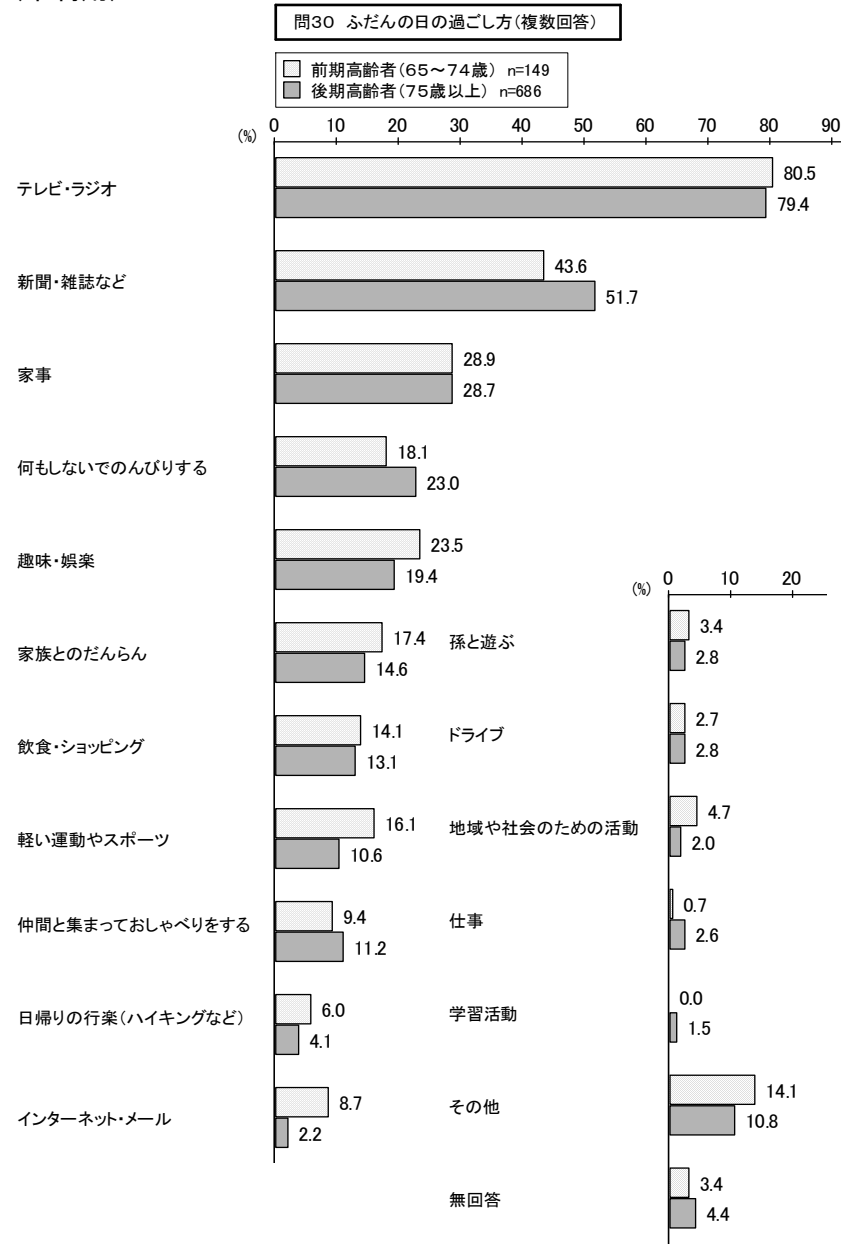
(介護予防)



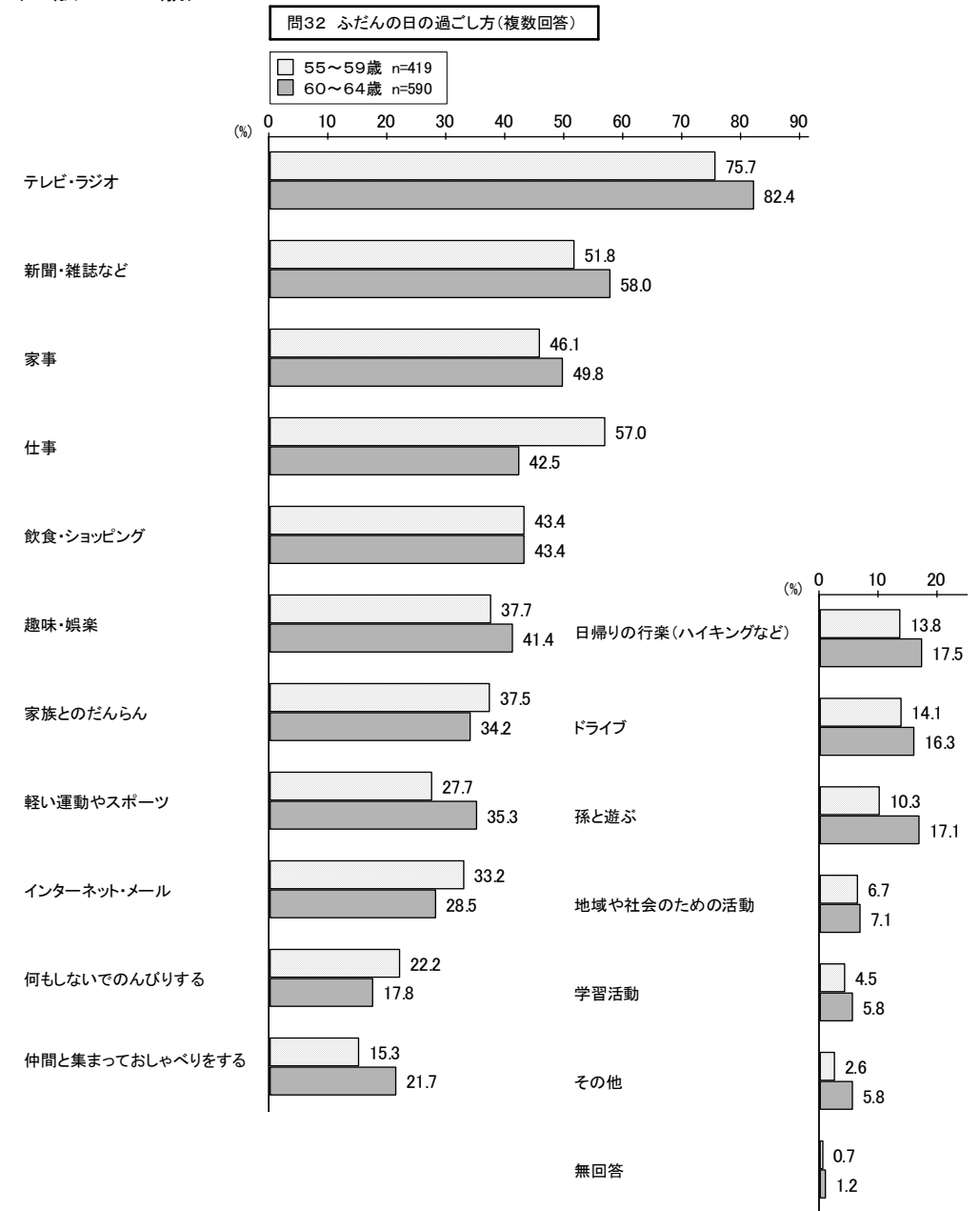
(要支援)



(未利用)



(一般55~64歳)

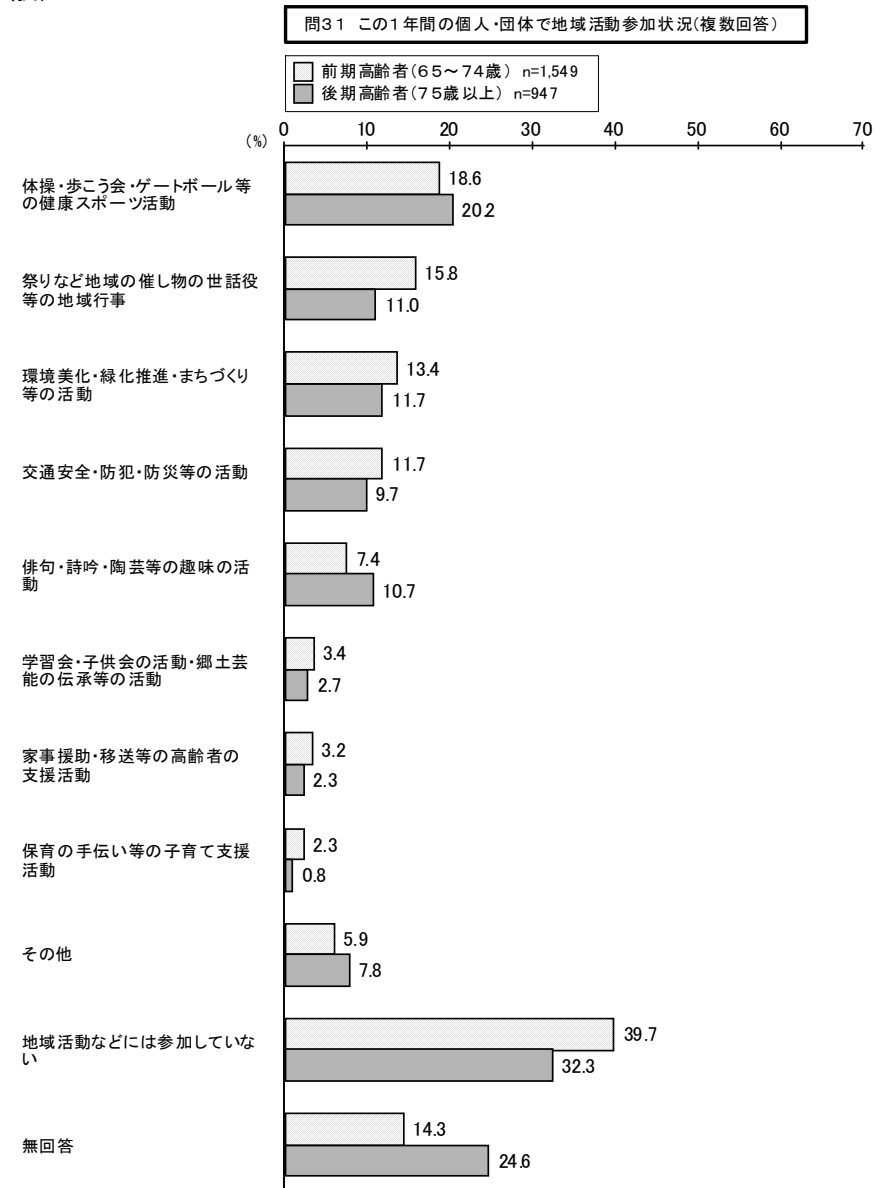


(5) 地域活動への参加状況

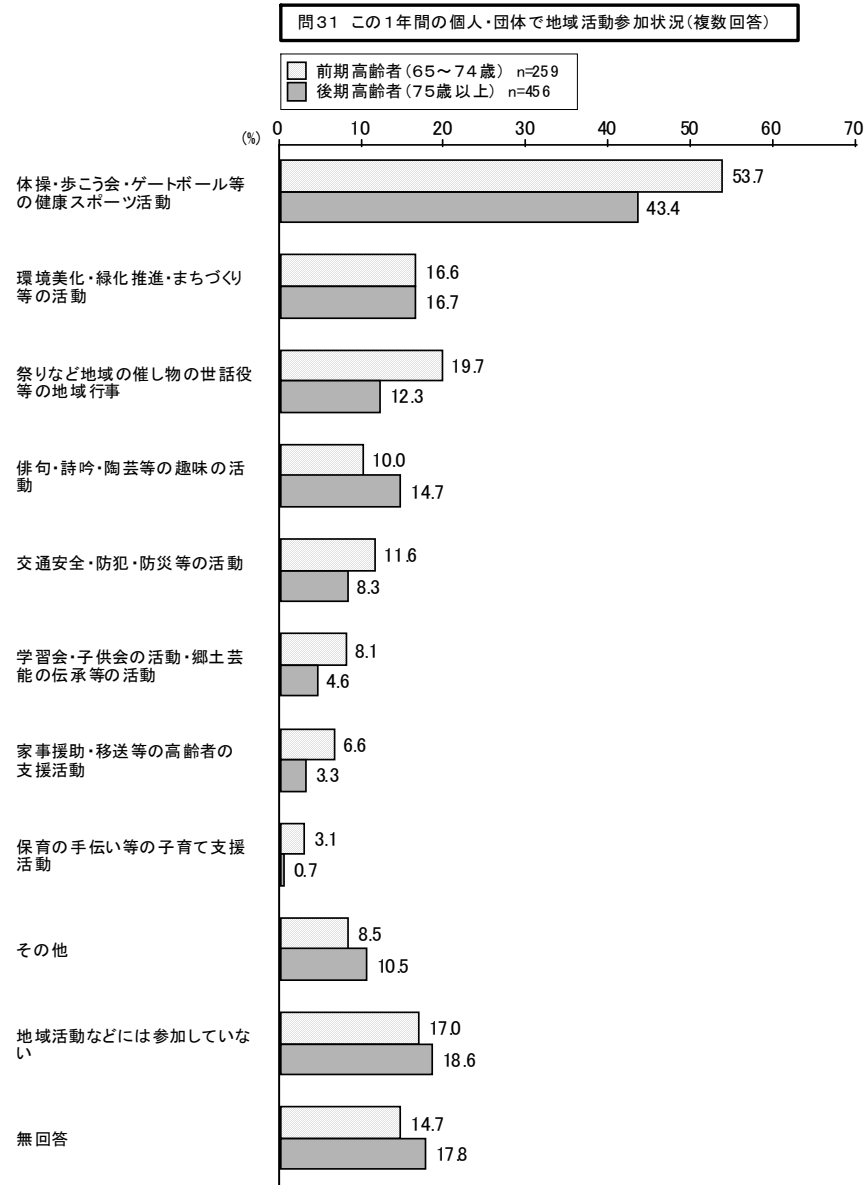
地域活動への参加状況を見ると、介護予防で「体操・歩こう会・ゲートボール等の健康スポーツ活動」が前期高齢者で53.7%、後期高齢者で43.4%となっている。

高齢者一般では、前期高齢者の39.7%、後期高齢者の32.3%が「地域活動などには参加していない」となっている。

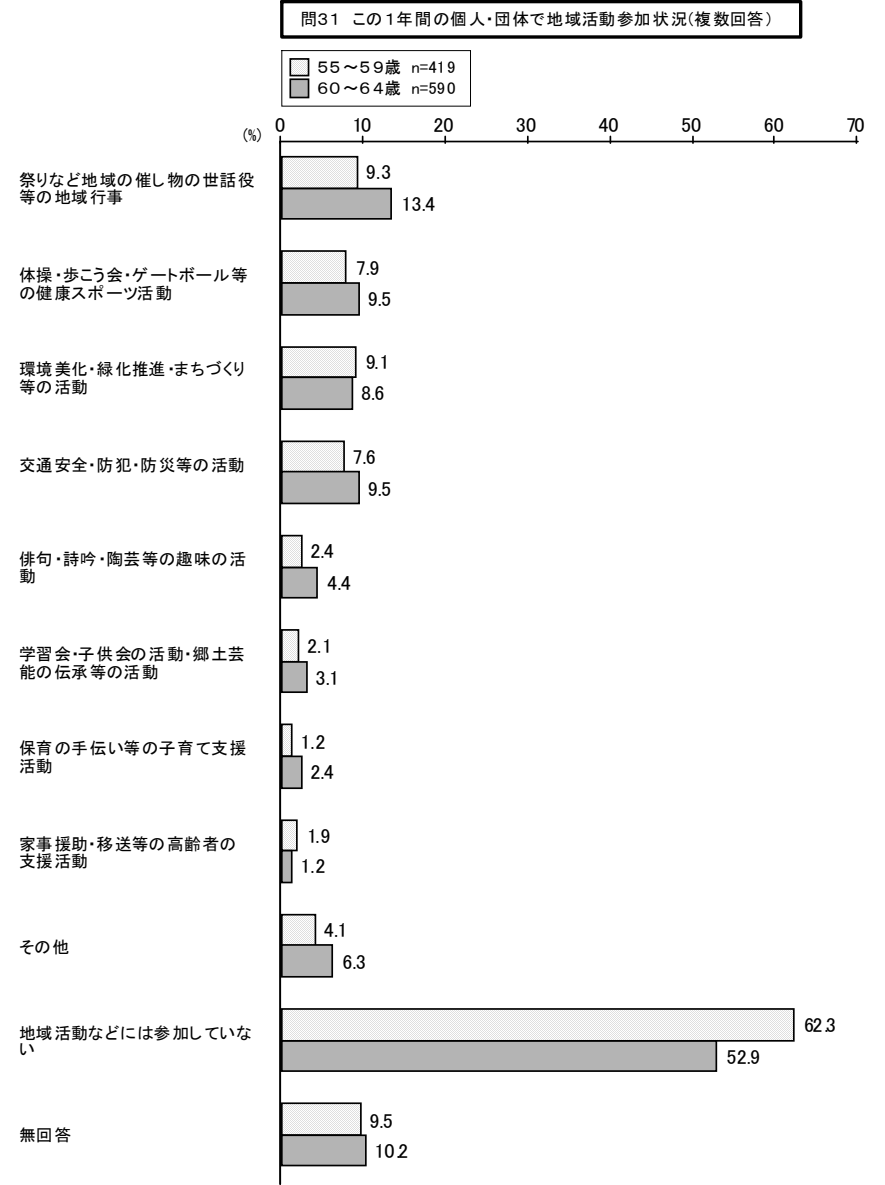
(高齢者一般)



(介護予防)



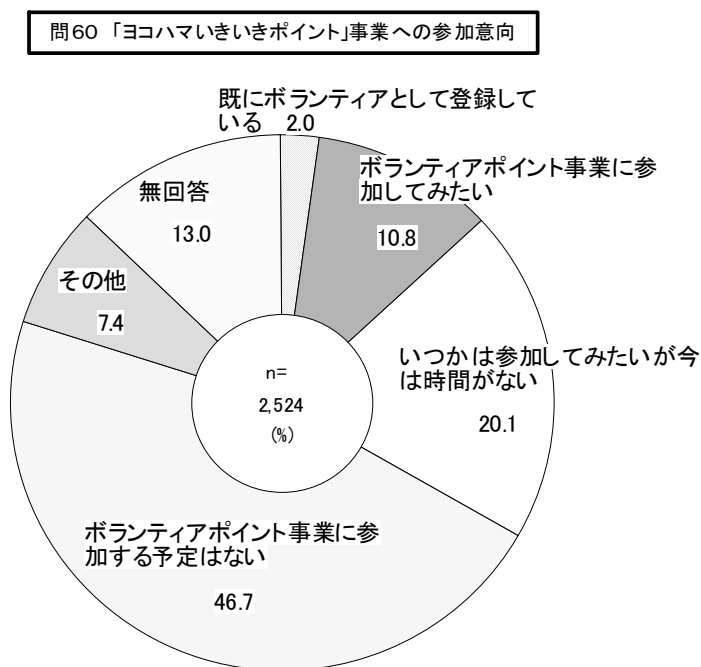
(一般55~64歳)



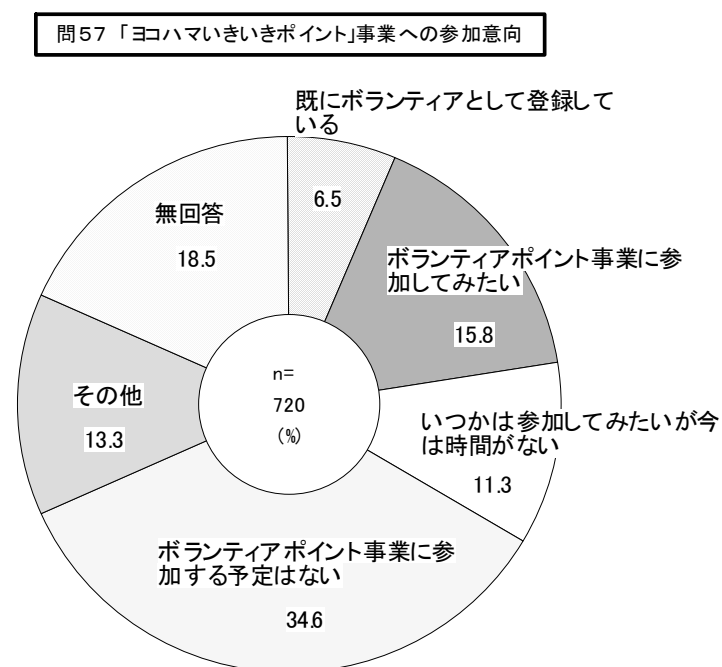
(6) 「ヨコハマいきいきポイント」事業への参加意向

「ヨコハマいきいきポイント」事業については、「ボランティアポイント事業に参加してみたい」は、高齢者一般では10.8%、介護予防では15.8%となっている。「いつかは参加してみたいが今は時間がない」は、高齢者一般では20.1%、介護予防では11.3%となっている。(グラフは単純集計結果を表している。)

(高齢者一般)



(介護予防)

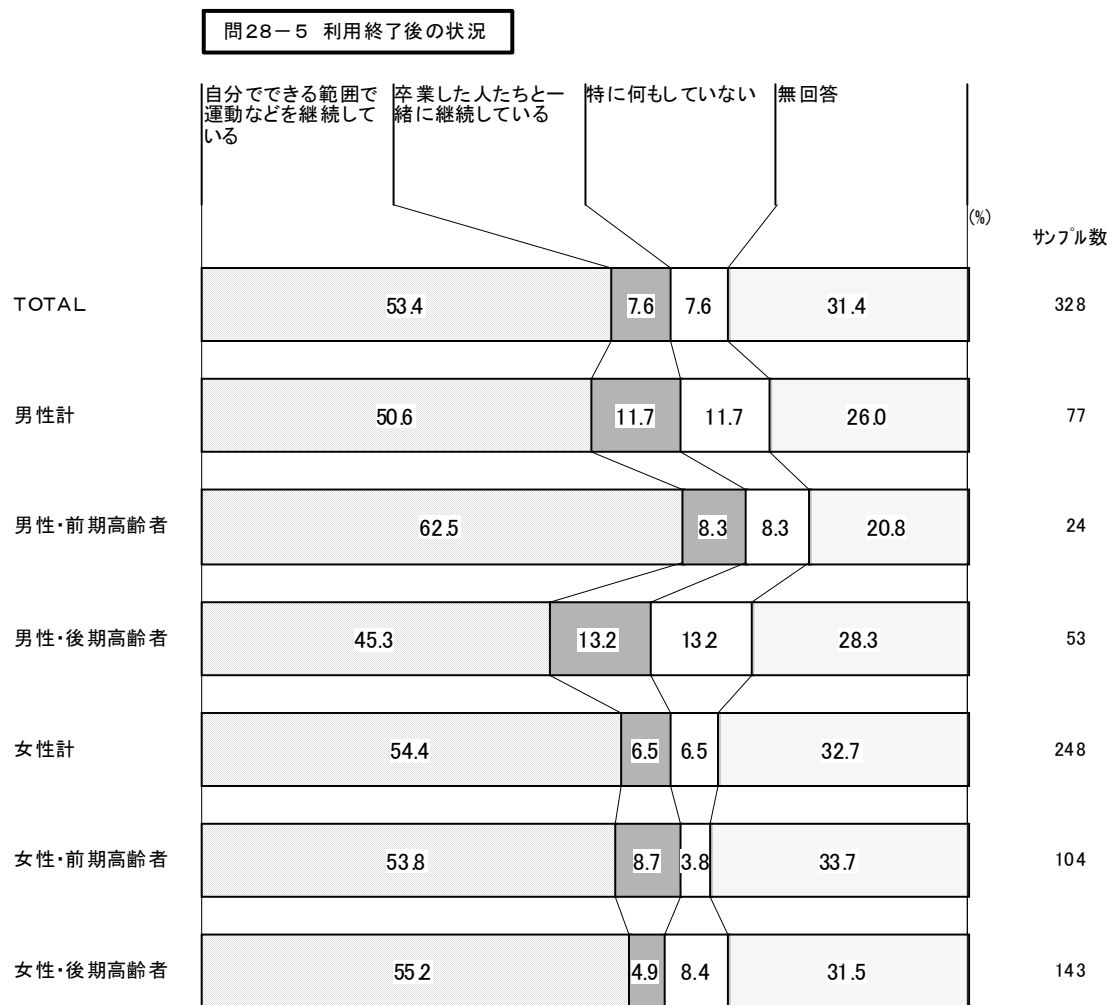


3 健康・予防

(1) 介護予防事業利用終了後の状況

介護予防事業利用終了後の状況をみると、「自分でできる範囲で運動などを継続している」が53.4%で最も多く、男性前期高齢者では62.5%と回答者全体の割合を上回っている。

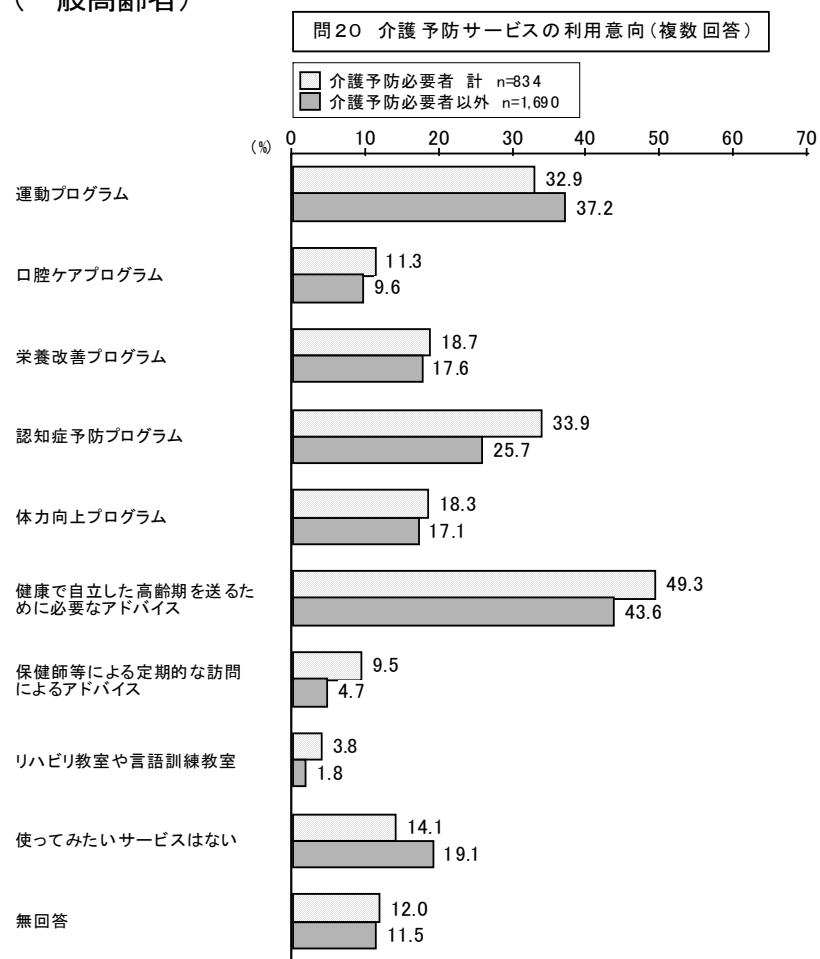
(介護予防)



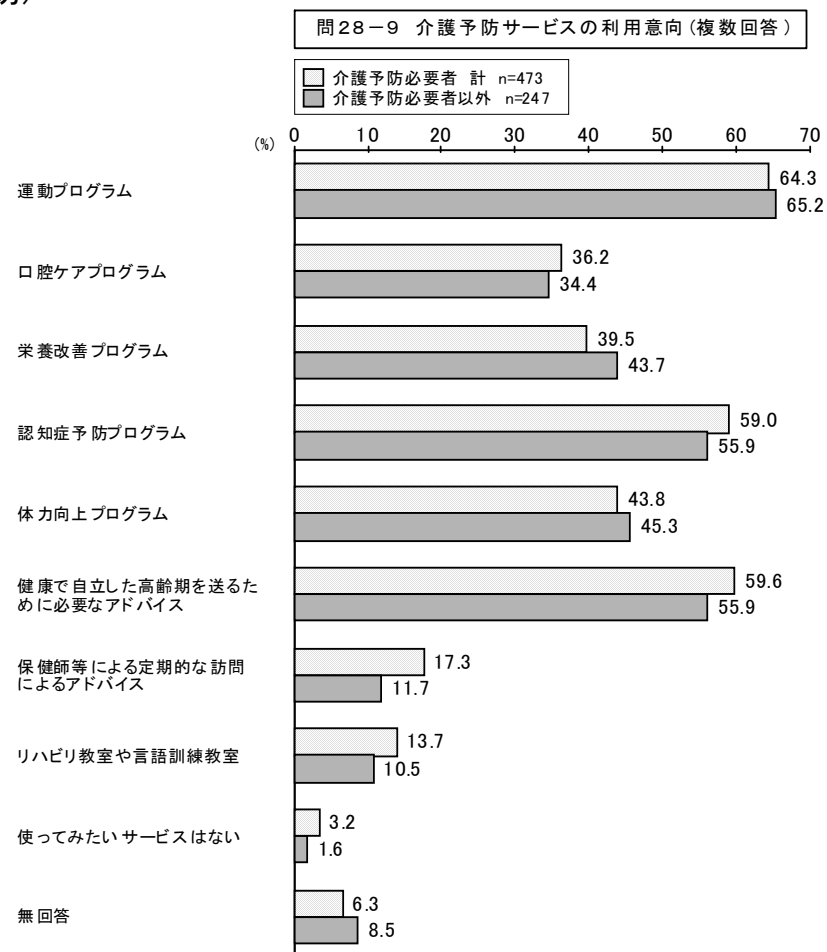
(2) 介護が必要とならないためのサービス利用

介護が必要とならないためのサービス利用意向をみると、介護予防対象者では「運動プログラム」が介護予防必要者以外で 65.2%、認知症予防プログラムが介護予防必要者で 59.0%、「健康で自立した高齢期を送るために必要なアドバイス」が介護予防必要者で 59.6%など、介護予防対象者においては、介護予防関連プログラムの利用意向が高くなっている。

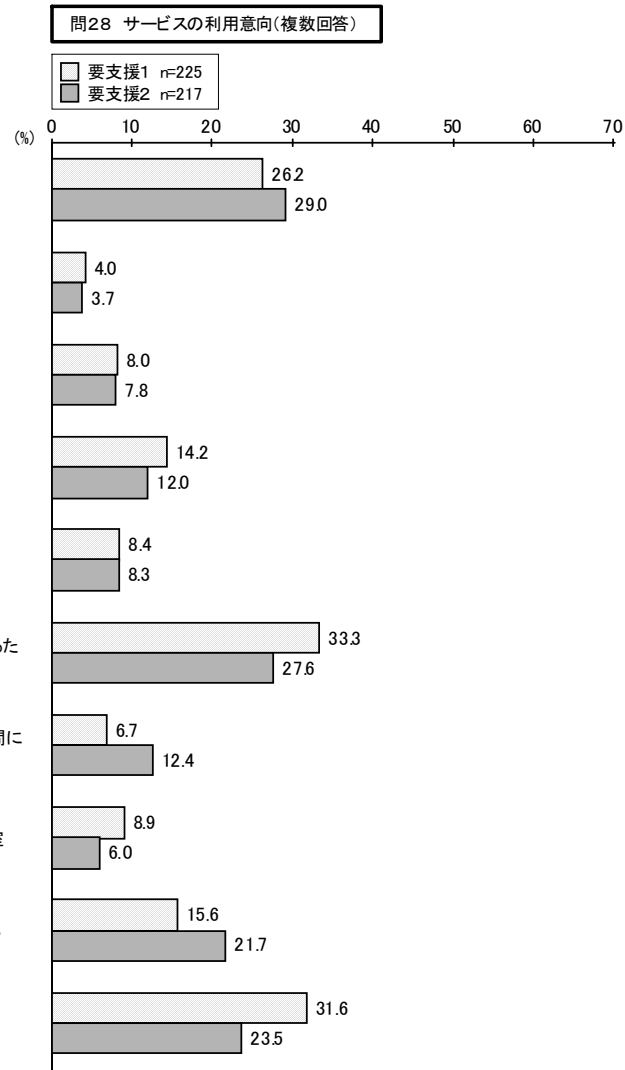
(一般高齢者)



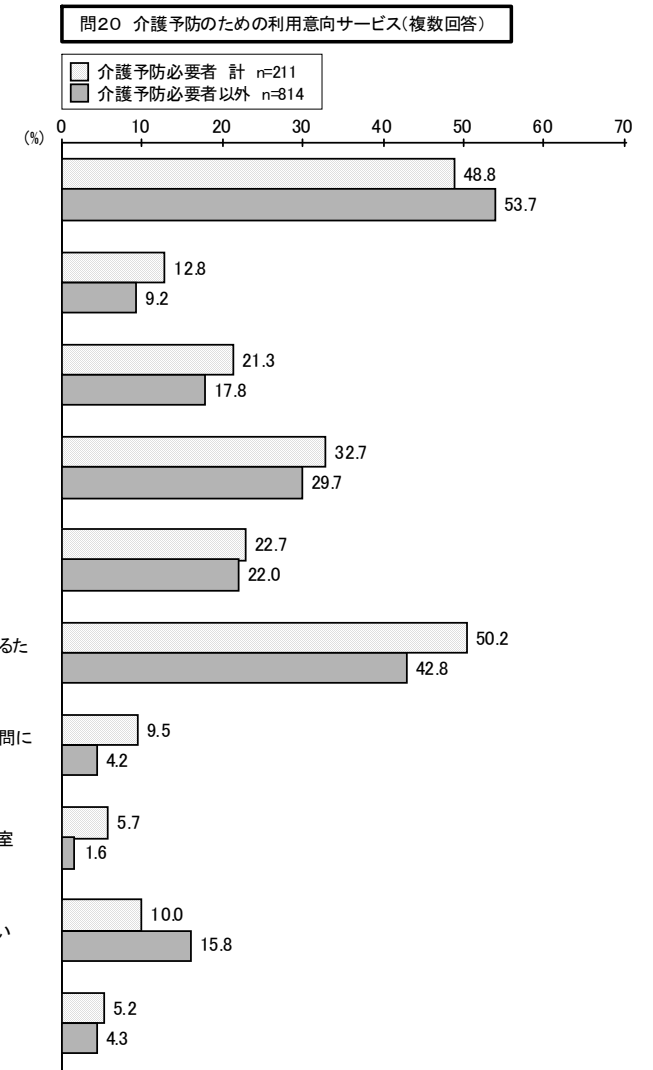
(介護予防)



(未利用)



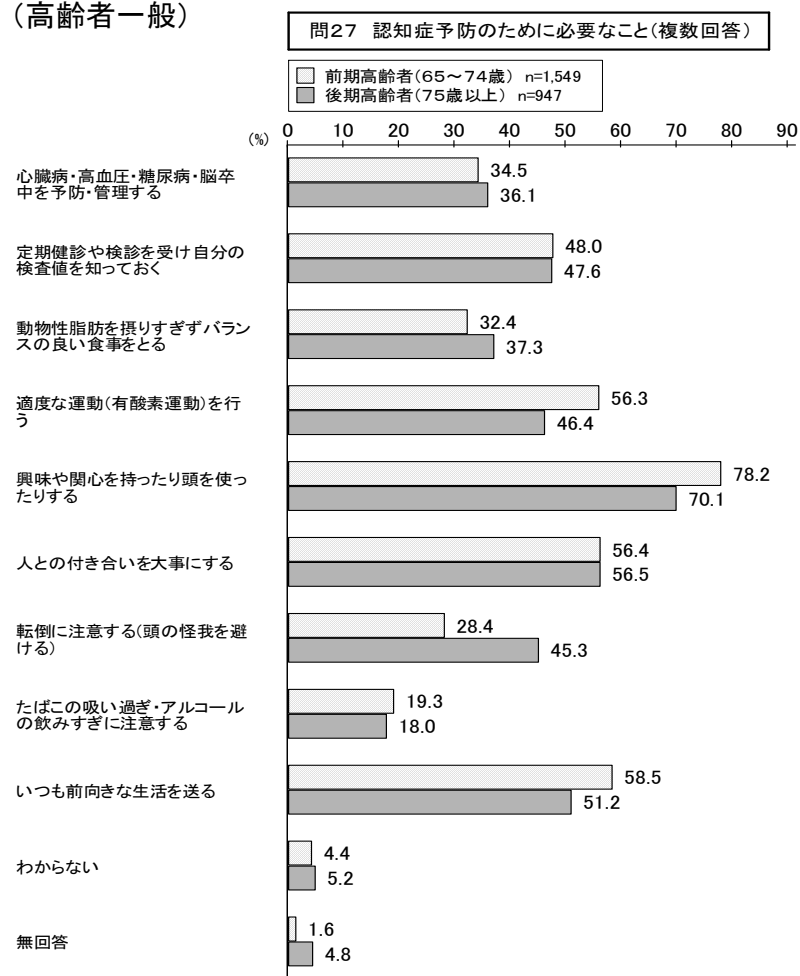
(一般55~64歳)



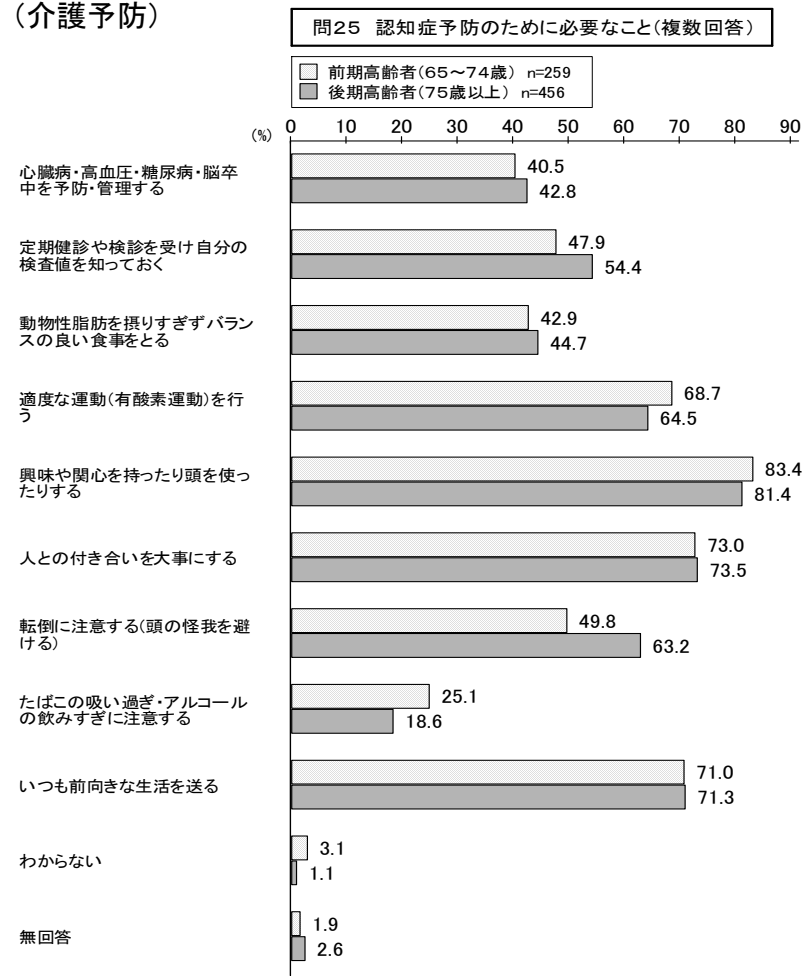
(3) 認知症予防について

認知症予防のために必要なことについては、高齢者一般、介護予防、一般 55～64 歳のいずれの対象者においても「興味や関心を持ったたり頭を使ったりする」をあげる割合がそれぞれで最も多く、介護予防の前期高齢者では 83.4%となっている。また、介護予防では「人との付き合いを大事にする」、「いつも前向きな生活を送る」、「適度な運動（有酸素運動）を行う」について、前期高齢者、後期高齢者とも 5 割を超えている。

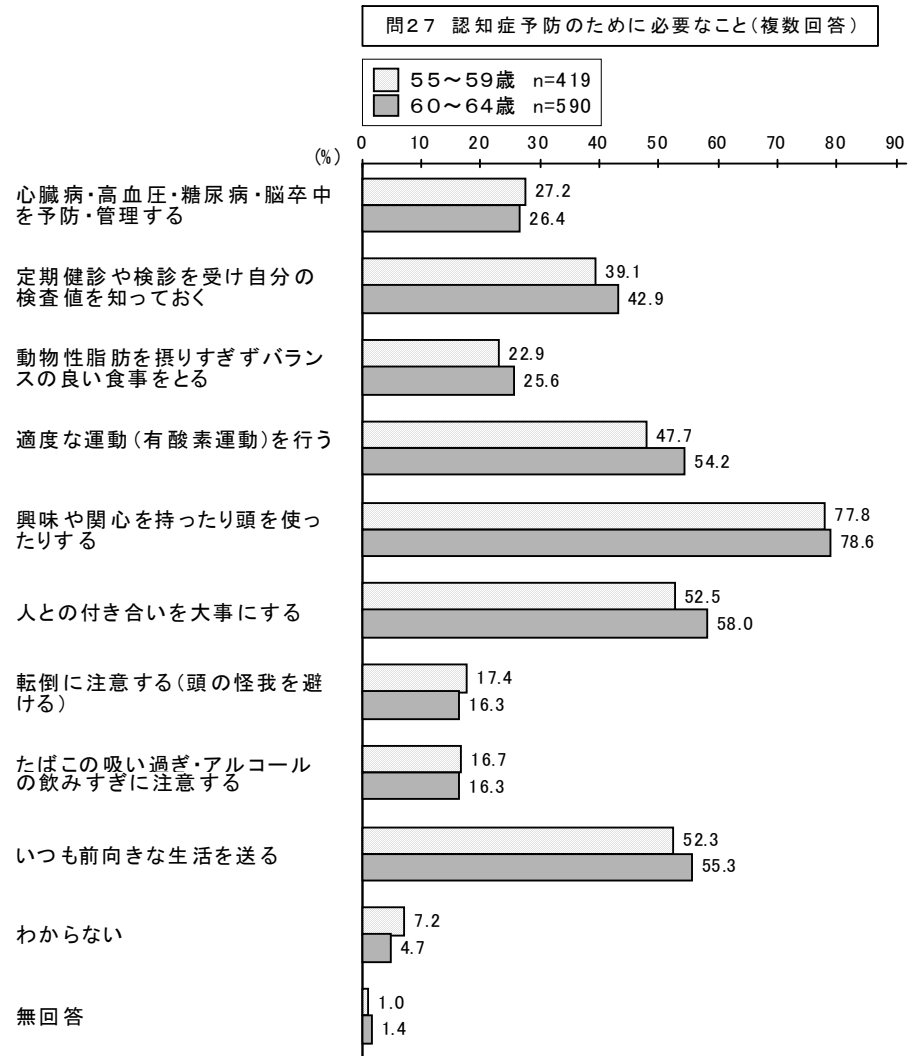
(高齢者一般)



(介護予防)



(一般55～64歳)



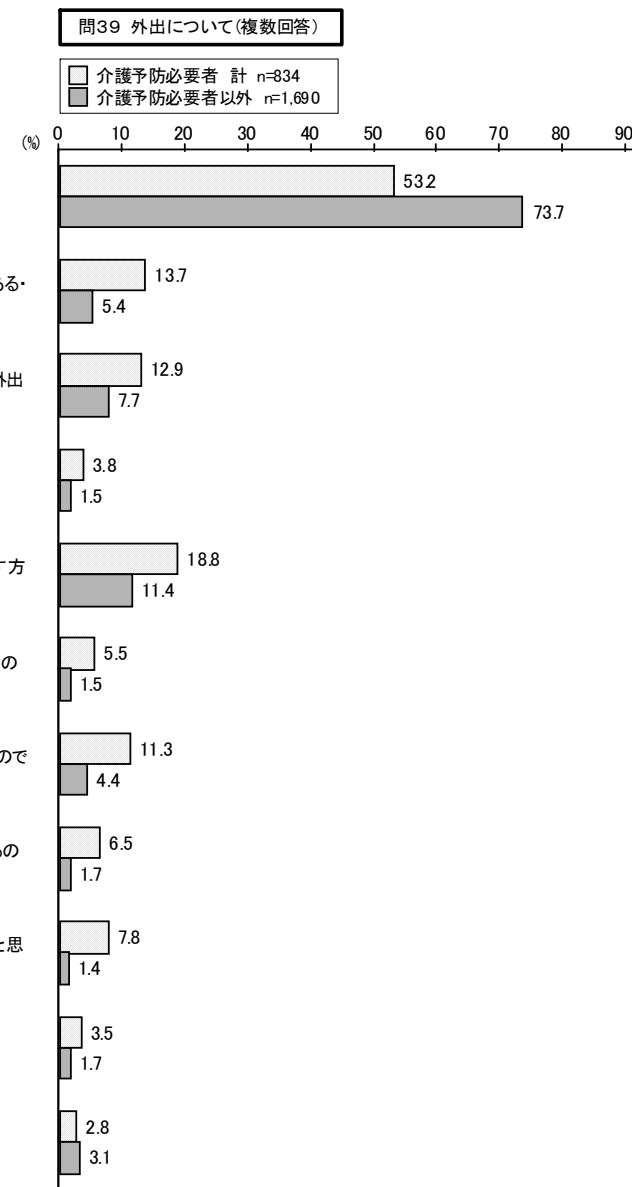
(4) 外出についての意識

外出行動については、高齢者一般では、介護予防必要者の18.8%が「外出するより家にいて過ごす方が好き」、11.3%が「自宅の周りに坂などが多いので外出は負担に感じる」となっている。

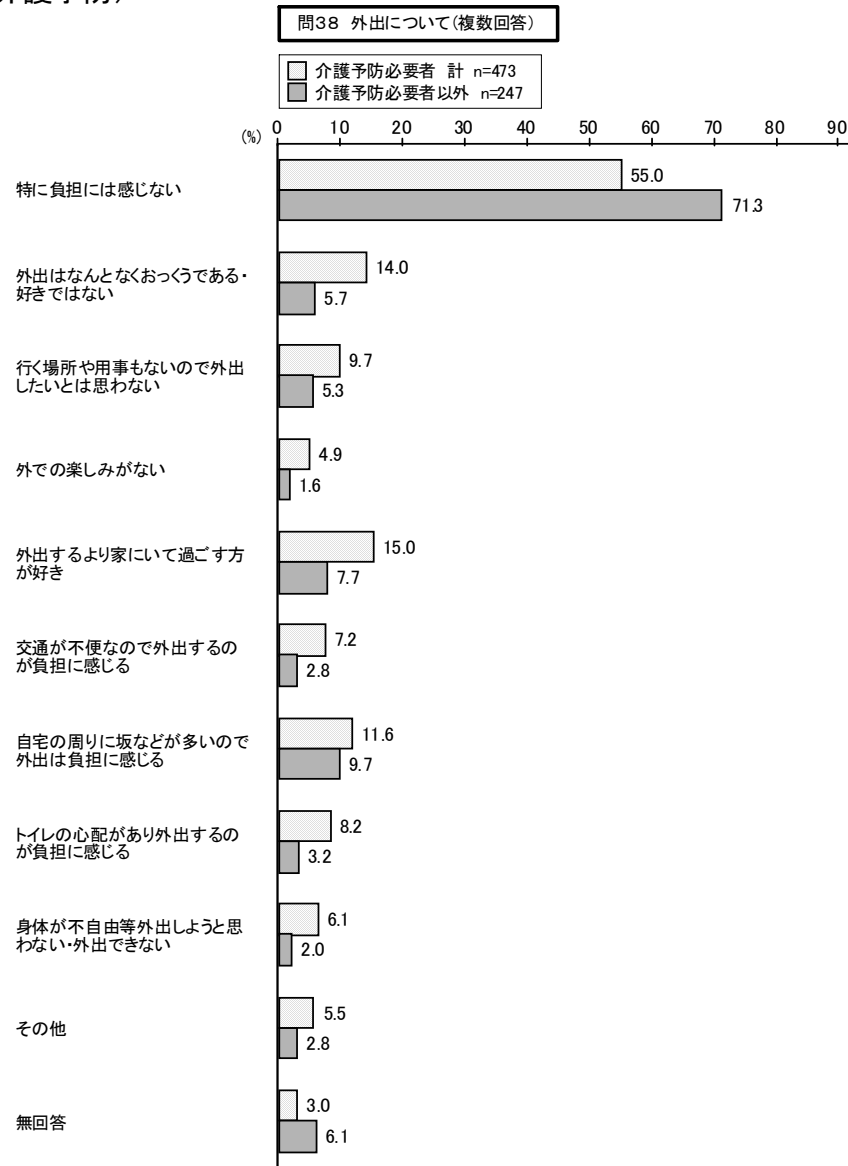
介護予防では、介護予防必要者の15.0%が「外出するより家にいて過ごす方が好き」、14.0%が「外出はなんとなくおっくうである・好きではない」、11.6%が「自宅の周りに坂などが多いので外出は負担に感じる」となっている。

一般55～64歳では、介護予防必要者の19.4%が「外出するより家にいて過ごす方が好き」となっている。

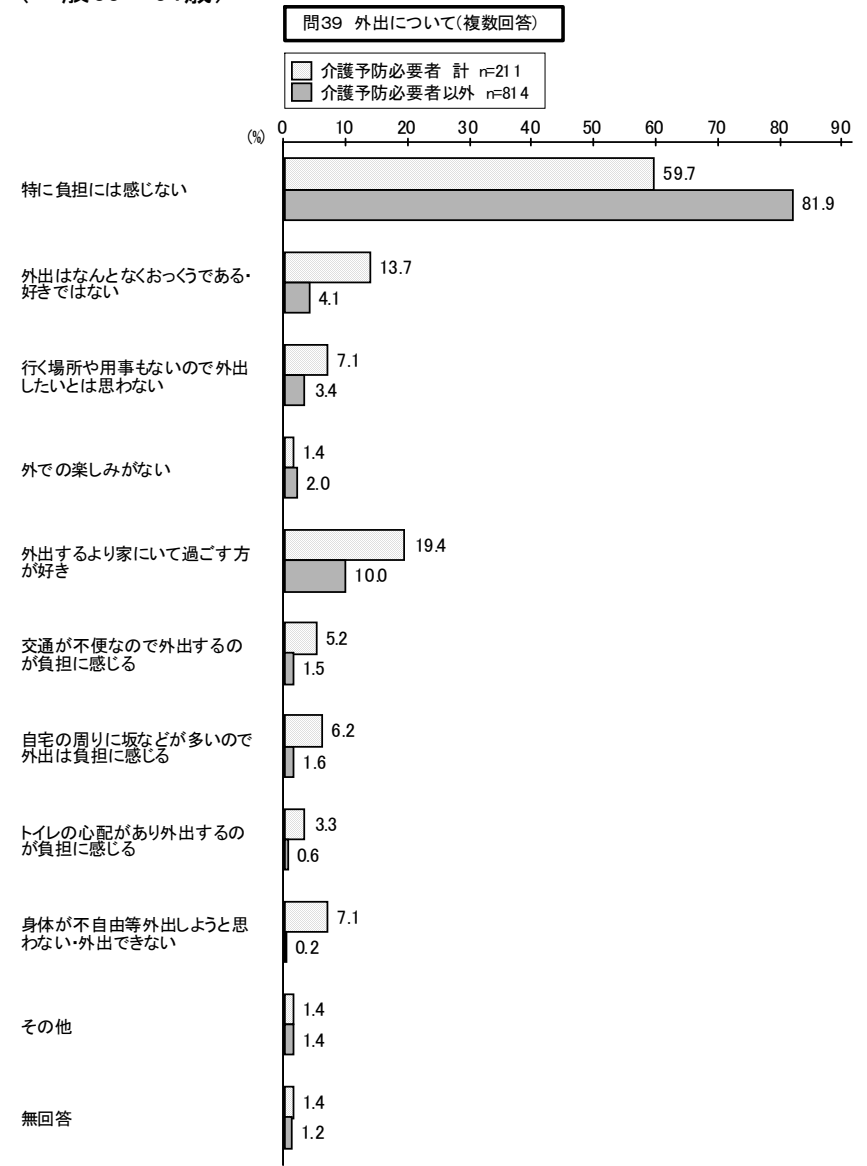
(高齢者一般)



(介護予防)



(一般55～64歳)

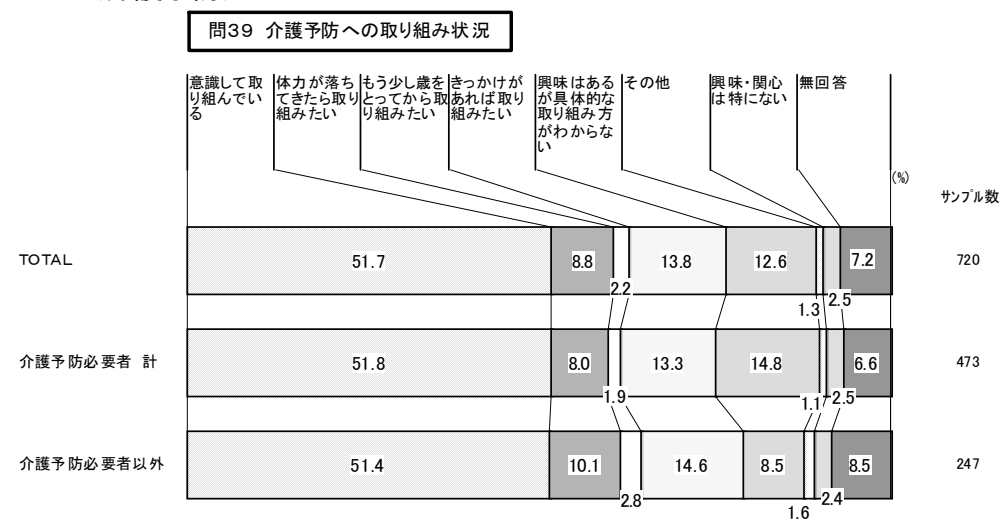


(5) 介護予防に対する意識・認識

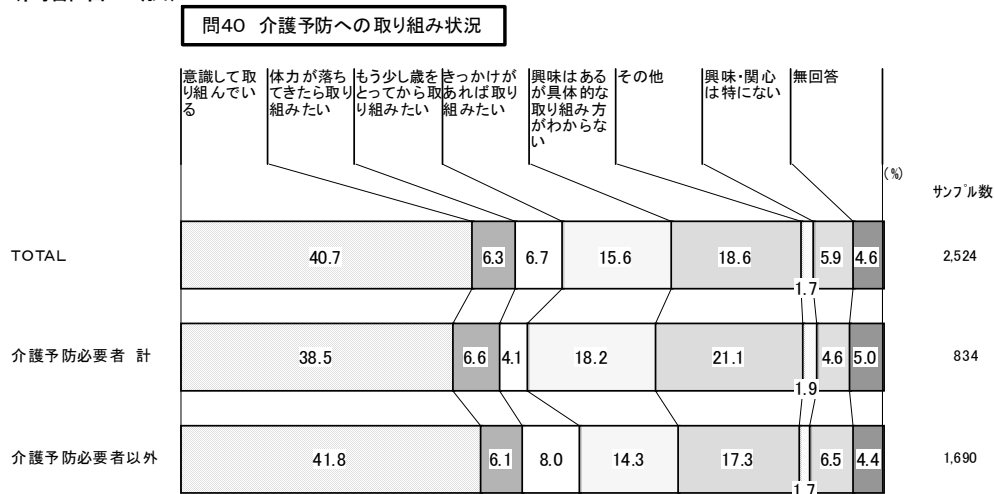
介護予防に対する意識・認識についてみると、要支援1，2では「(介護予防に)意識して取り組んでいる」がそれぞれ60.7%、62.2%と6割を超えている。

一方、高齢者一般の介護予防必要者では、21.1%が「興味はあるが具体的な取り組み方がわからない」となっている。

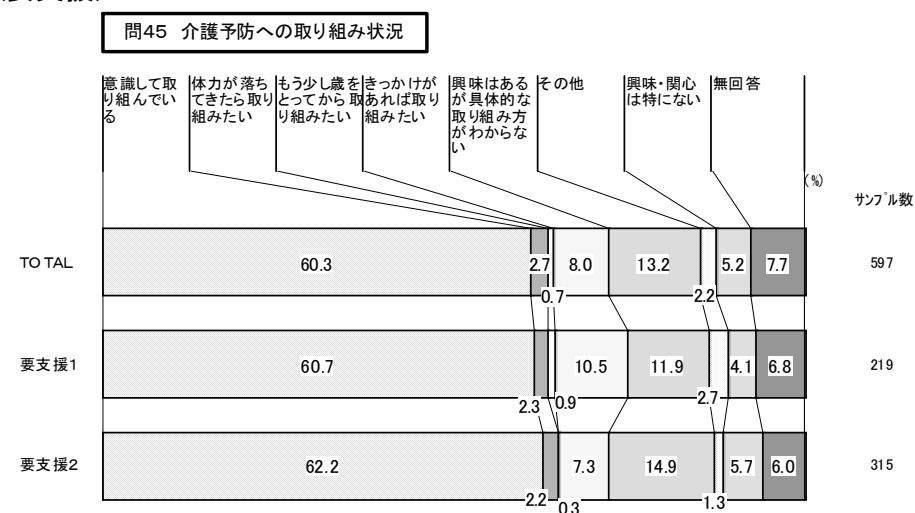
(介護予防)



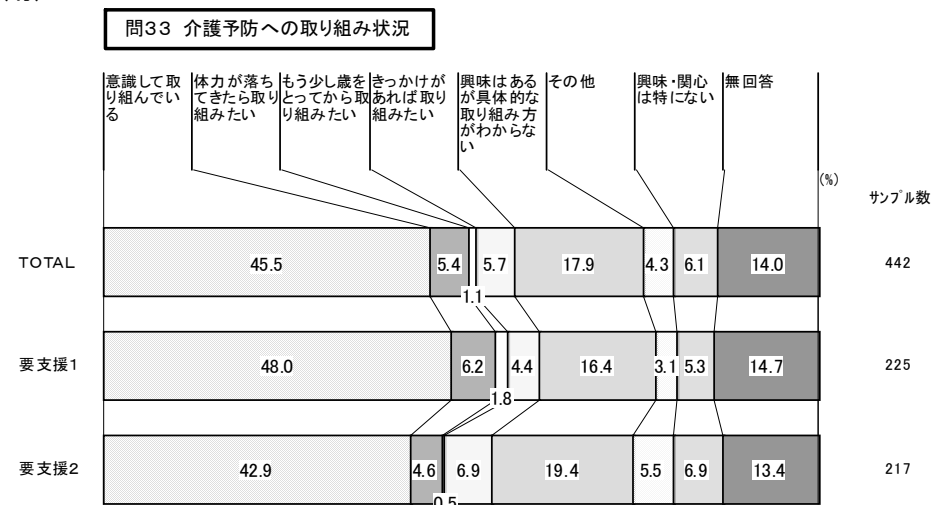
(高齢者一般)



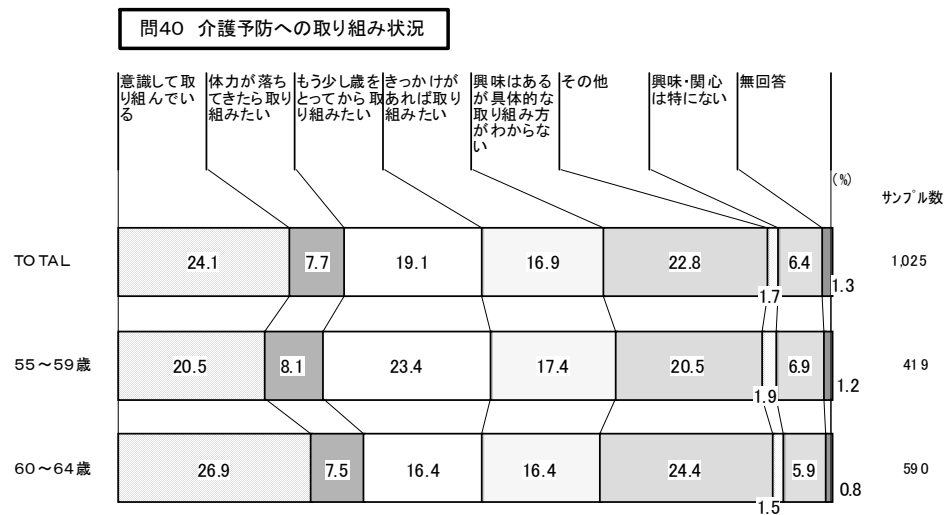
(要支援)



(未利用)



(一般55～64歳)



4 生活支援

(1) 介護保険サービス以外で今後利用したいサービス

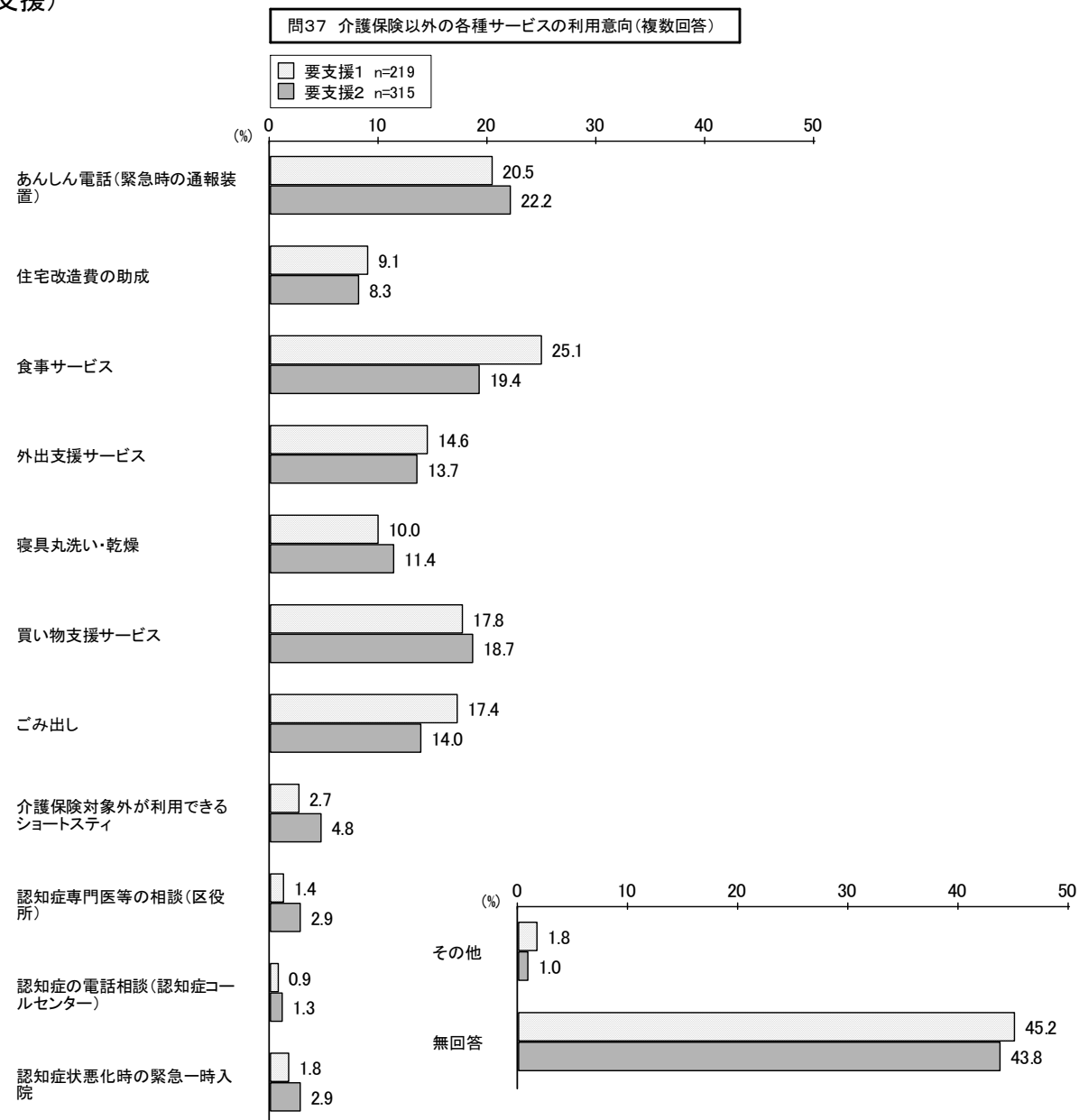
介護保険サービス以外で今後利用したいサービスをみると、要支援1では「食事サービス」が25.1%となっている。

要介護及び未利用の要介護5では、「紙おむつの支給」がそれぞれ3割(30.6%、30.3%)となっている。

さらに、未利用の要介護5では、「訪問理美容サービス」が27.3%となっている。

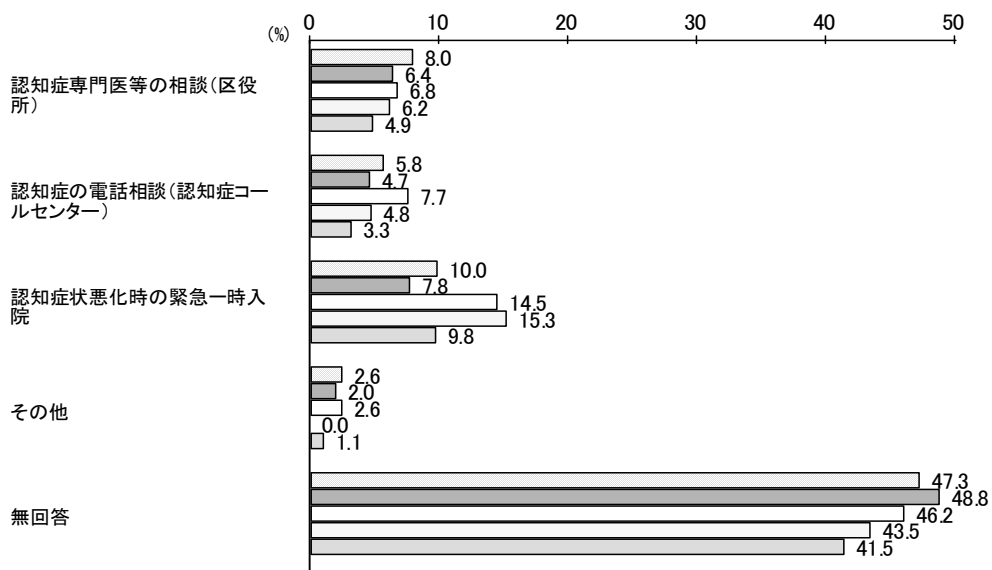
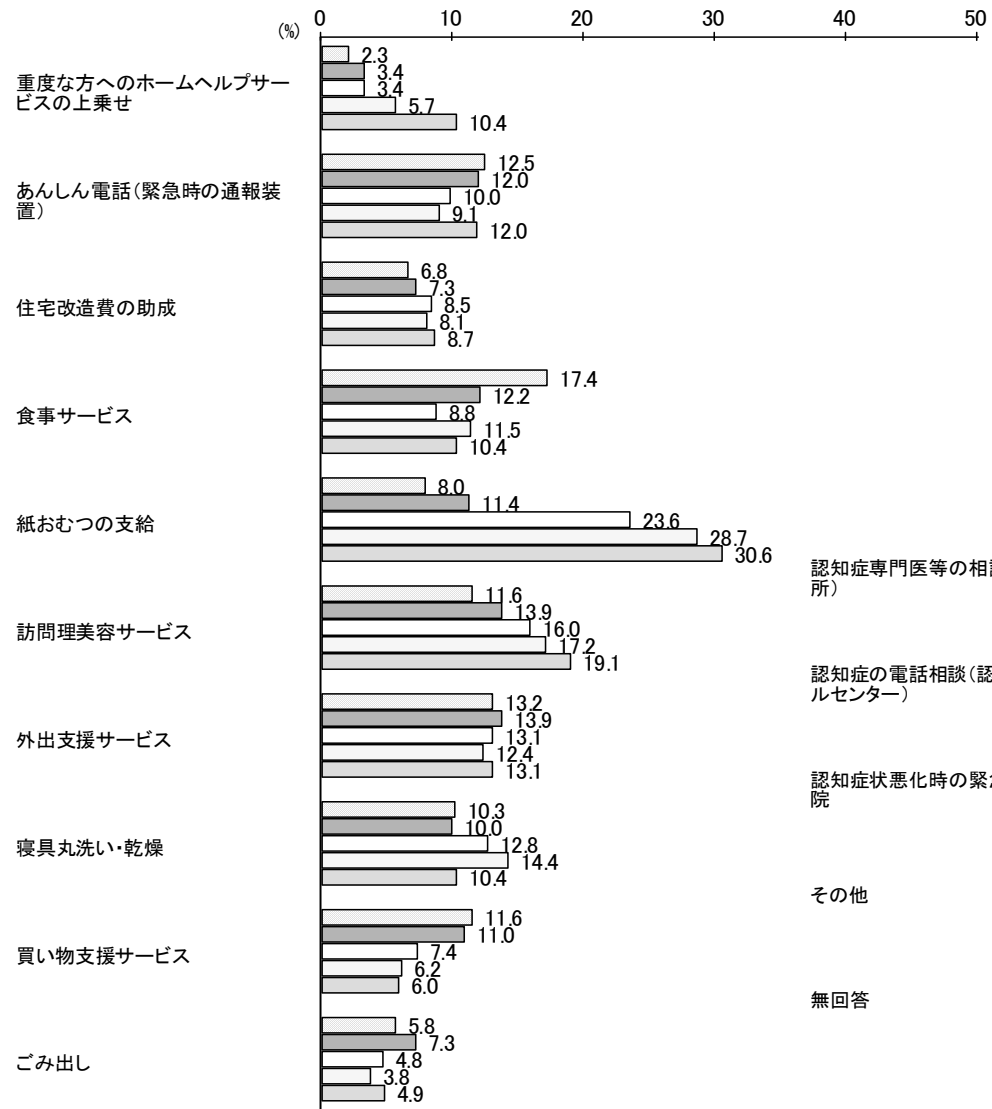
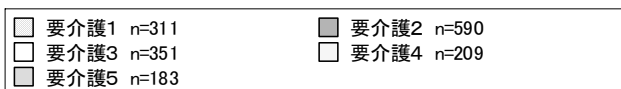
また、未利用の要介護4では、「住宅改造費の助成」が29.6%となっている。

(要支援)



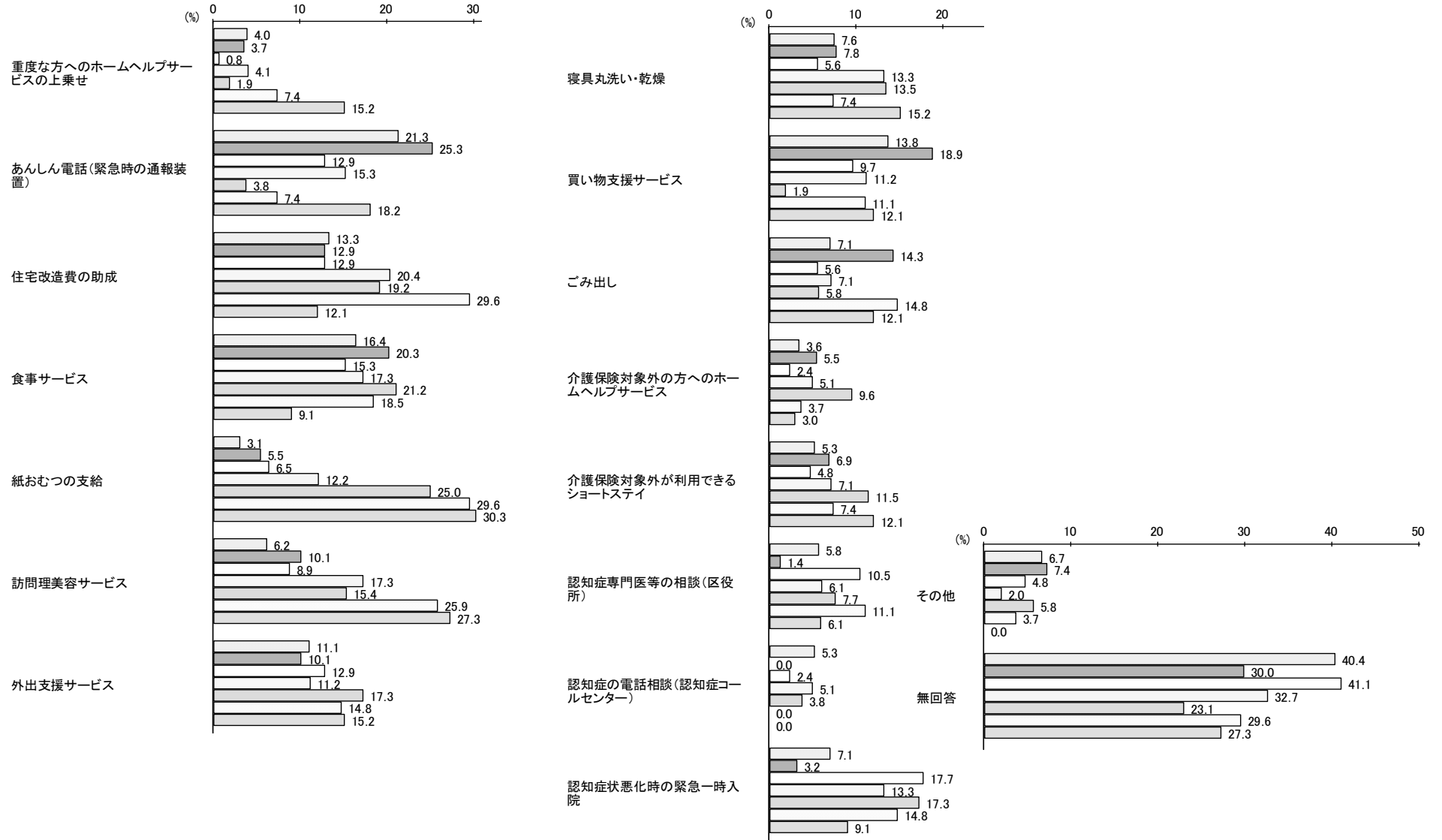
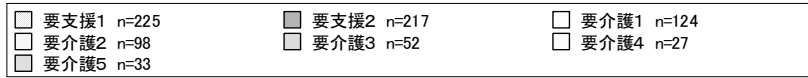
(要介護)

問36 介護保険以外の各種サービスの利用意向(複数回答)



(未利用)

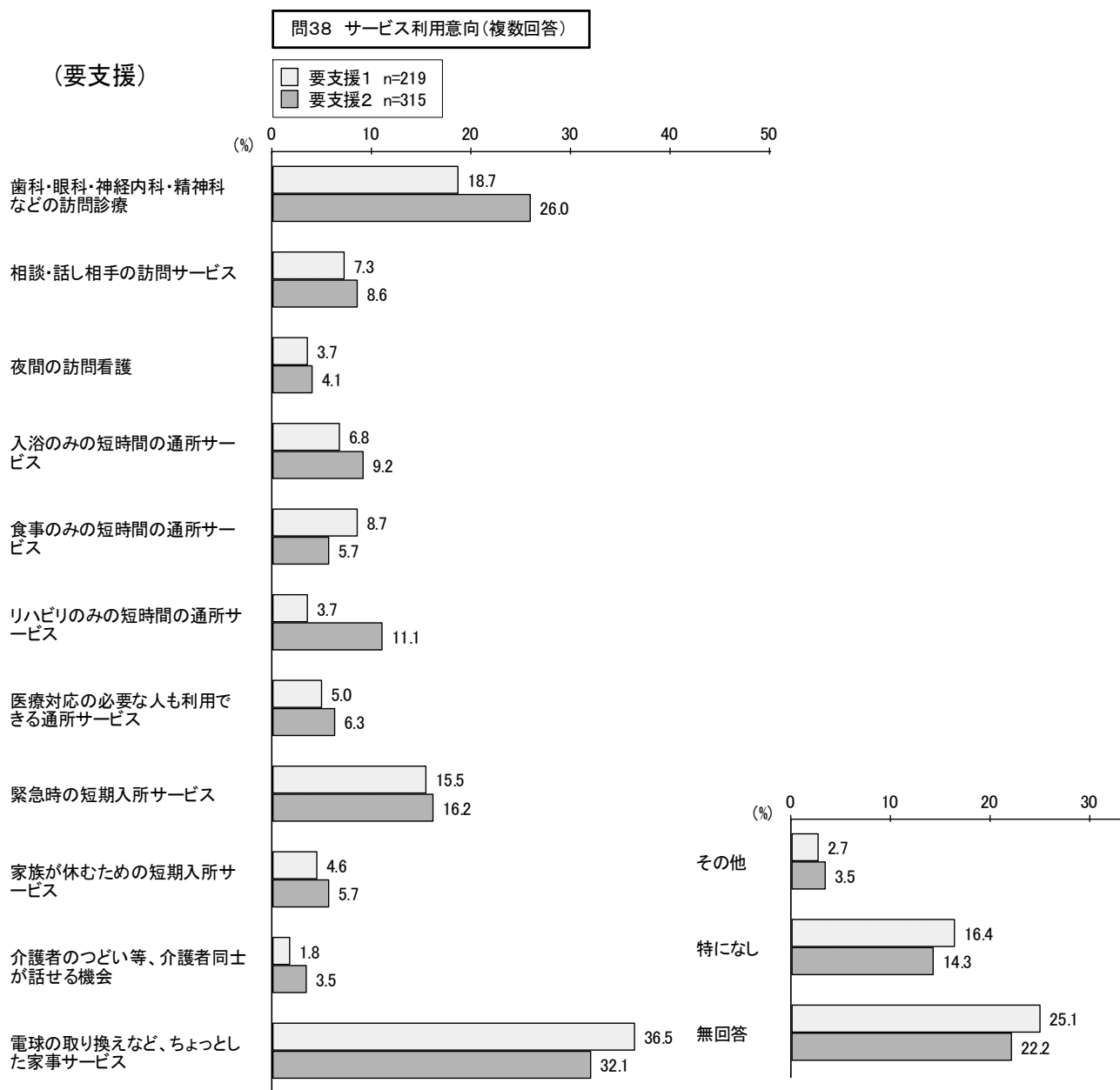
問27 介護保険以外の各種サービスの利用意向(複数回答)



(2) 今後利用したい給付外サービス

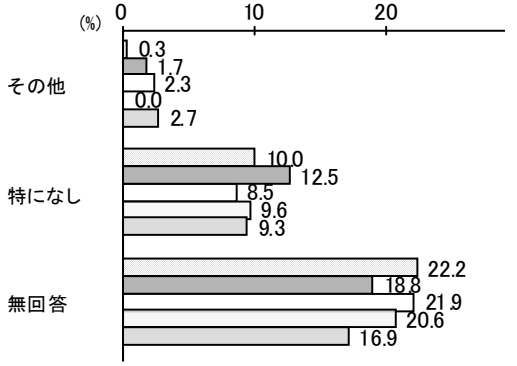
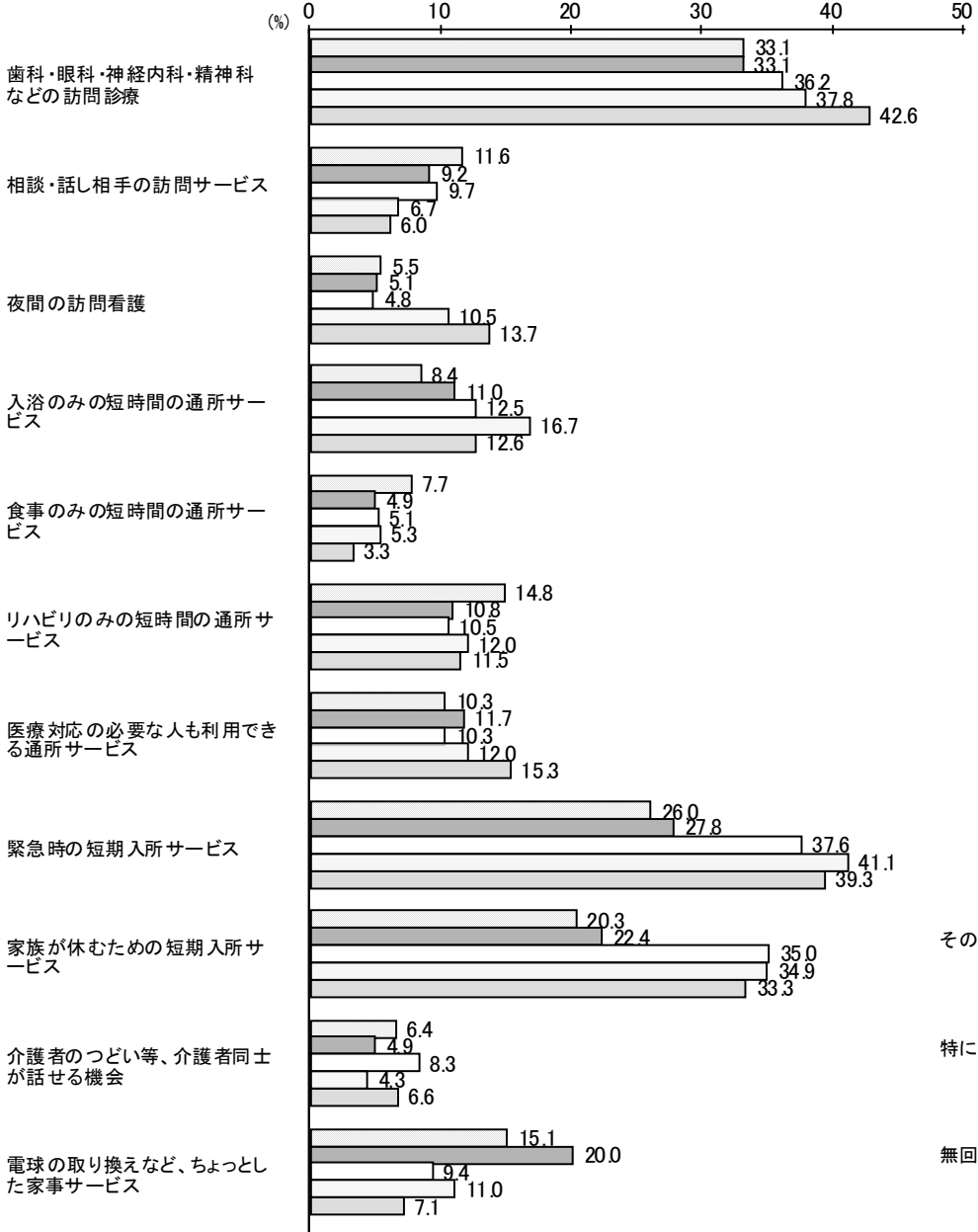
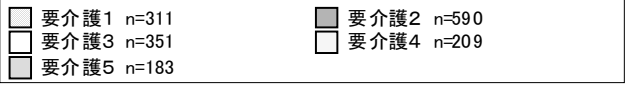
今後利用したい給付外サービスについてみると、要支援では、「電球の取替えなど、ちょっとした家事サービス」が要支援1で36.5%となっている。

要介護、特養申込者では、「歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療」、「緊急時の短期入所サービス」「家族が休むための短期入所サービス」について、利用意向が多くみられ、「緊急時の短期入所サービス」は要介護の要介護4で41.1%、特養申込者の要介護3で41.2%となっている。



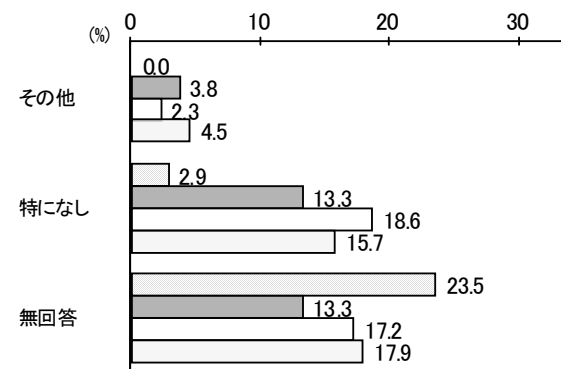
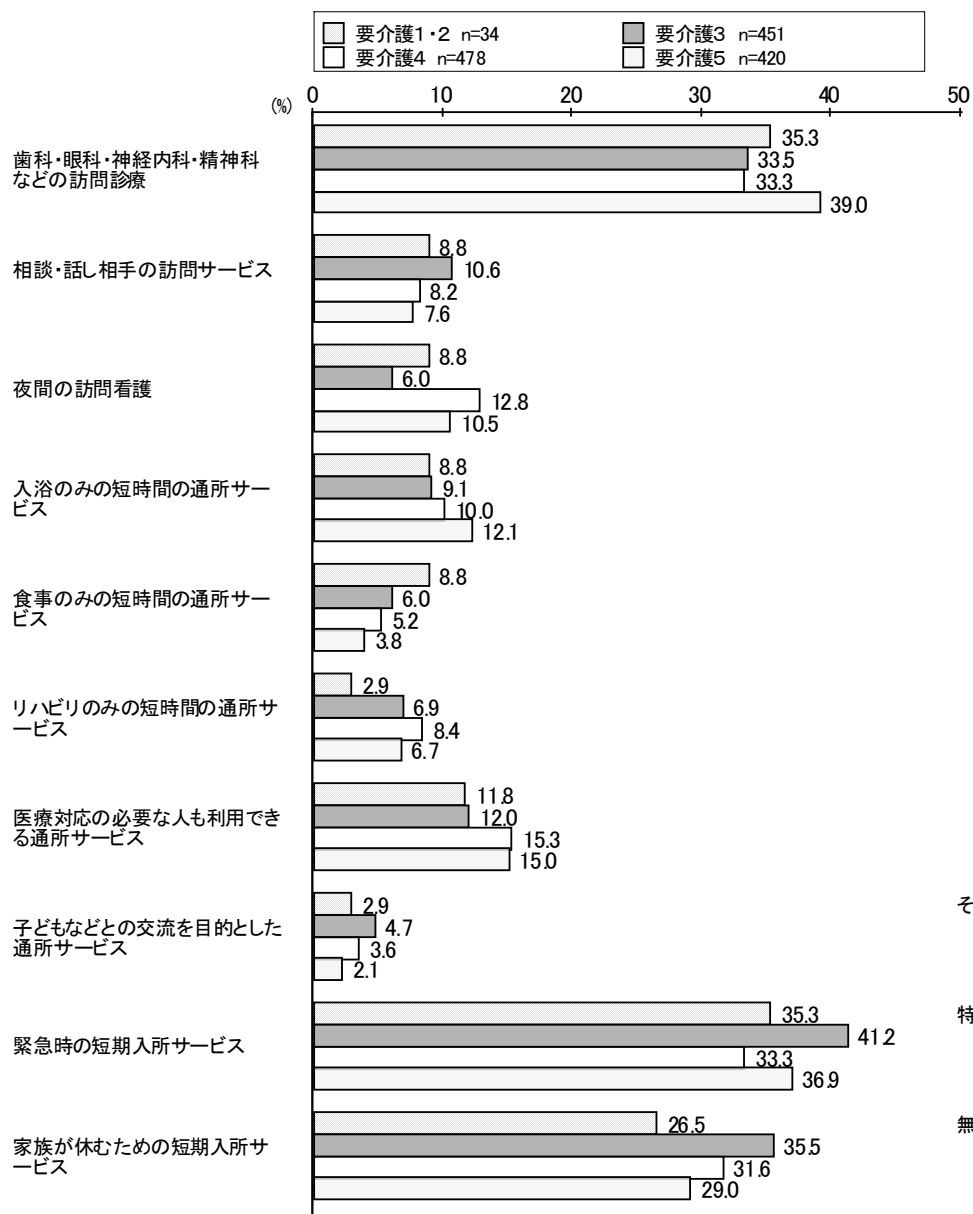
問 37 サービスの利用意向(複数回答)

(要介護)



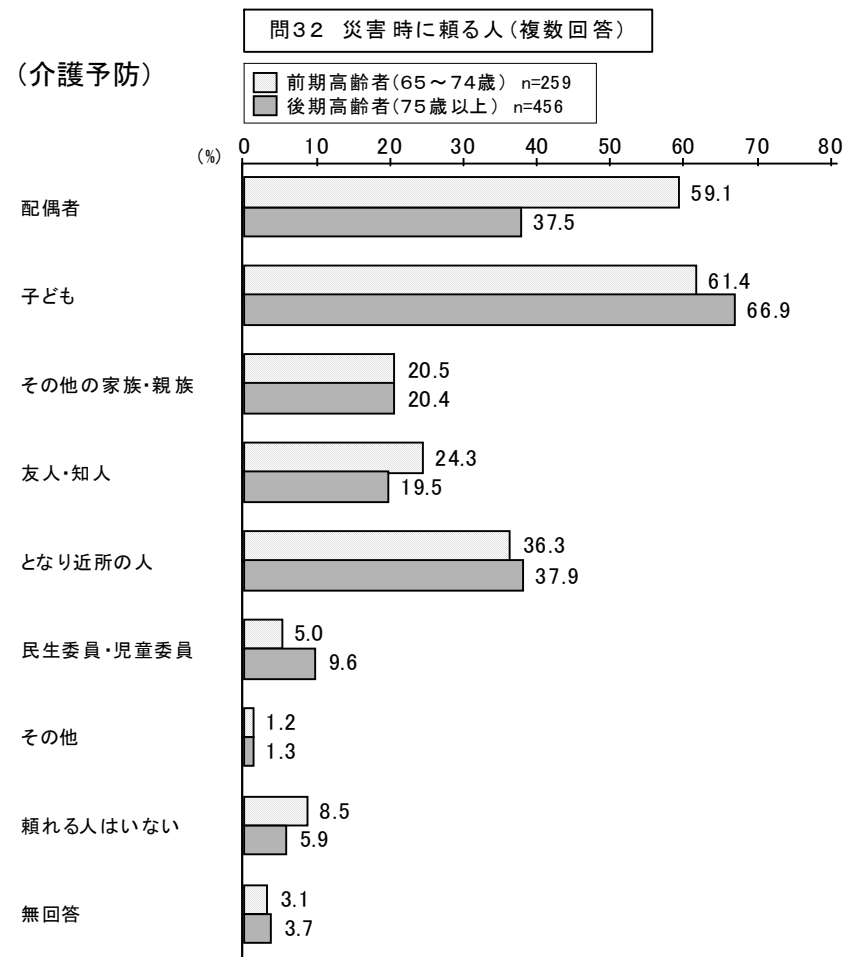
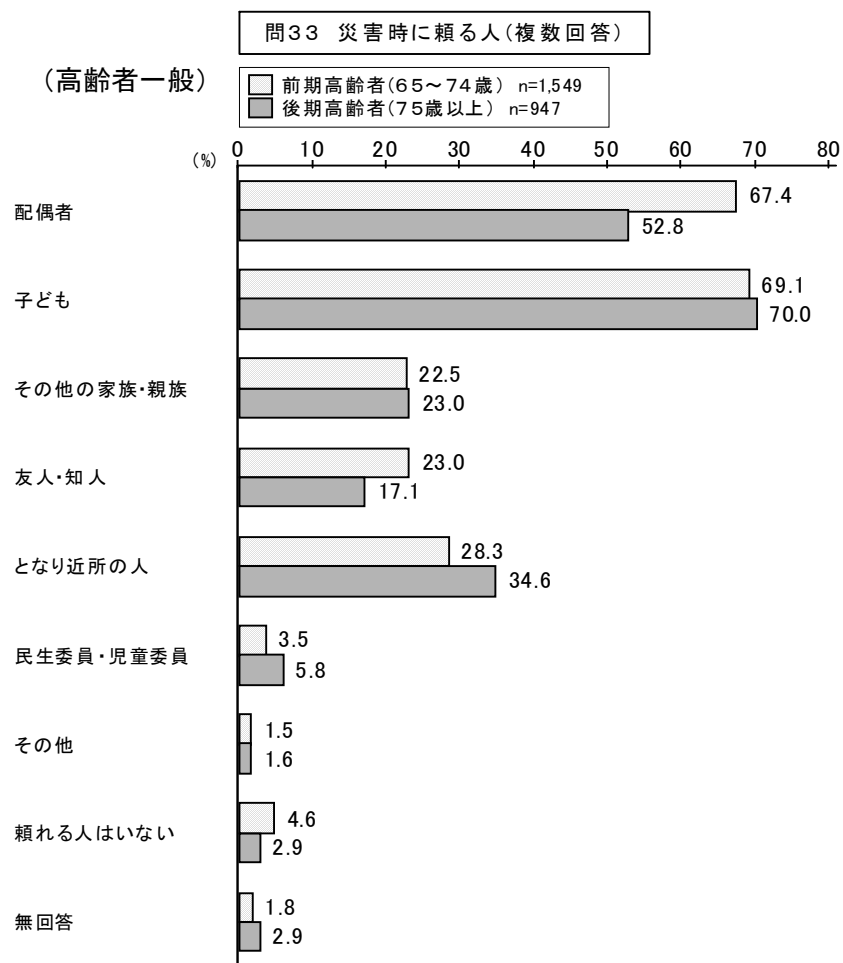
(特養申込者)

問41 サービス利用意向(複数回答)

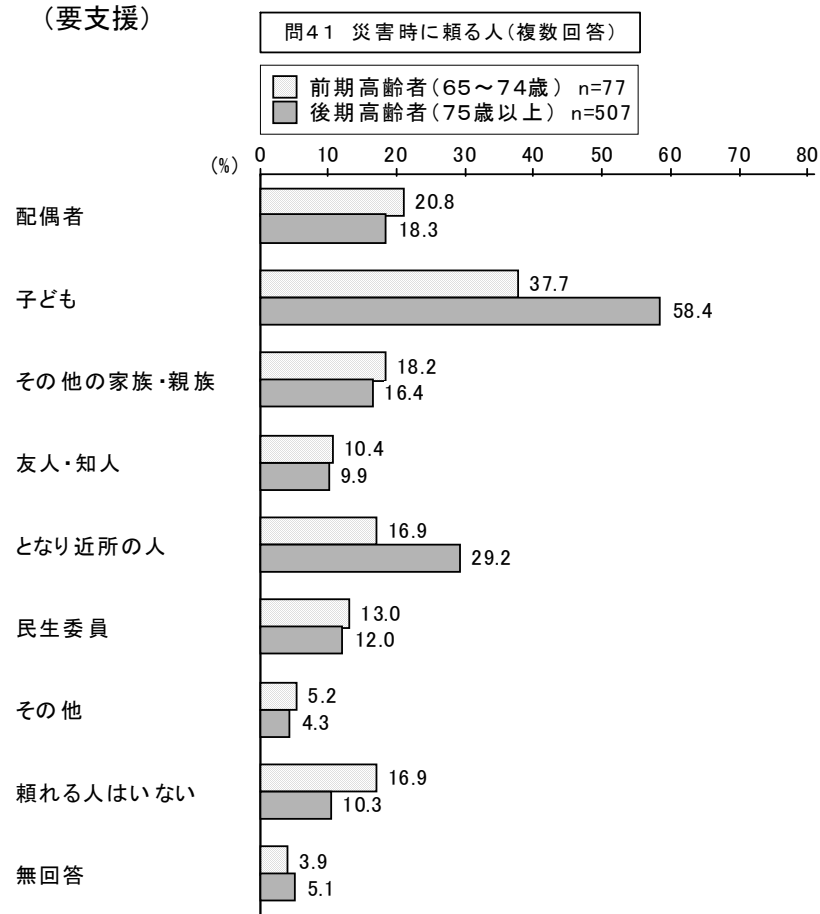


(3) 地震・災害時に頼れる人の有無

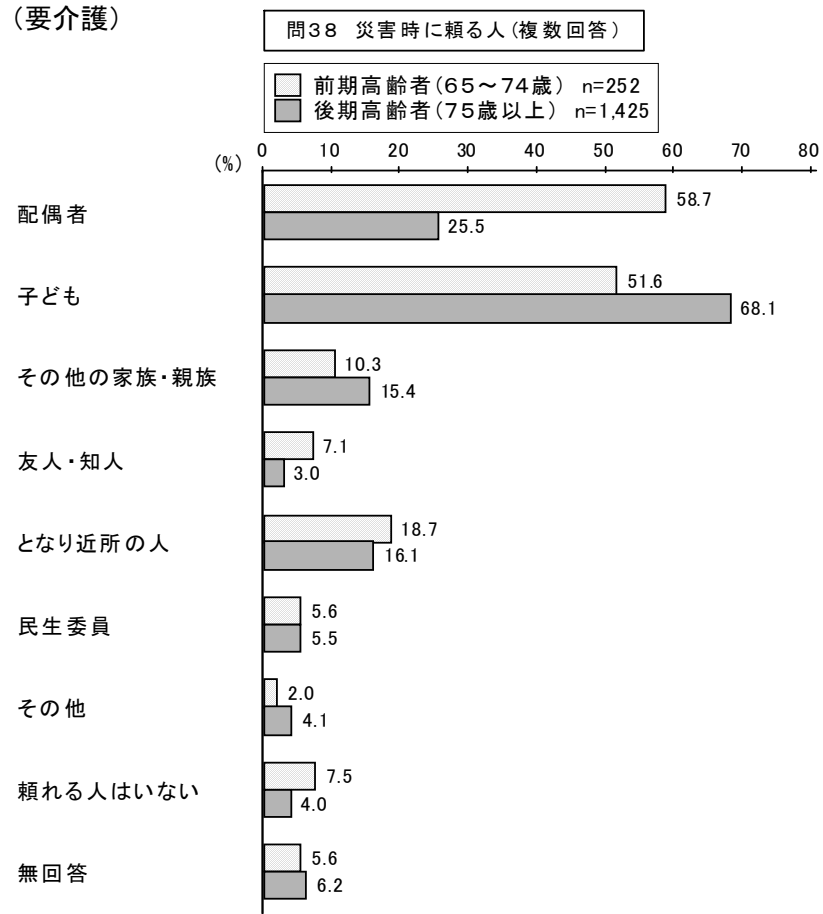
地震・災害時に頼れる人の有無をみると、「配偶者」は、一般 55～64 歳の 55～59 歳で 73.7%となっている。「子ども」は、特養申込者の後期高齢者で 70.2%となっている。また、「となり近所の人」は、介護予防の後期高齢者で 37.9%となっている。



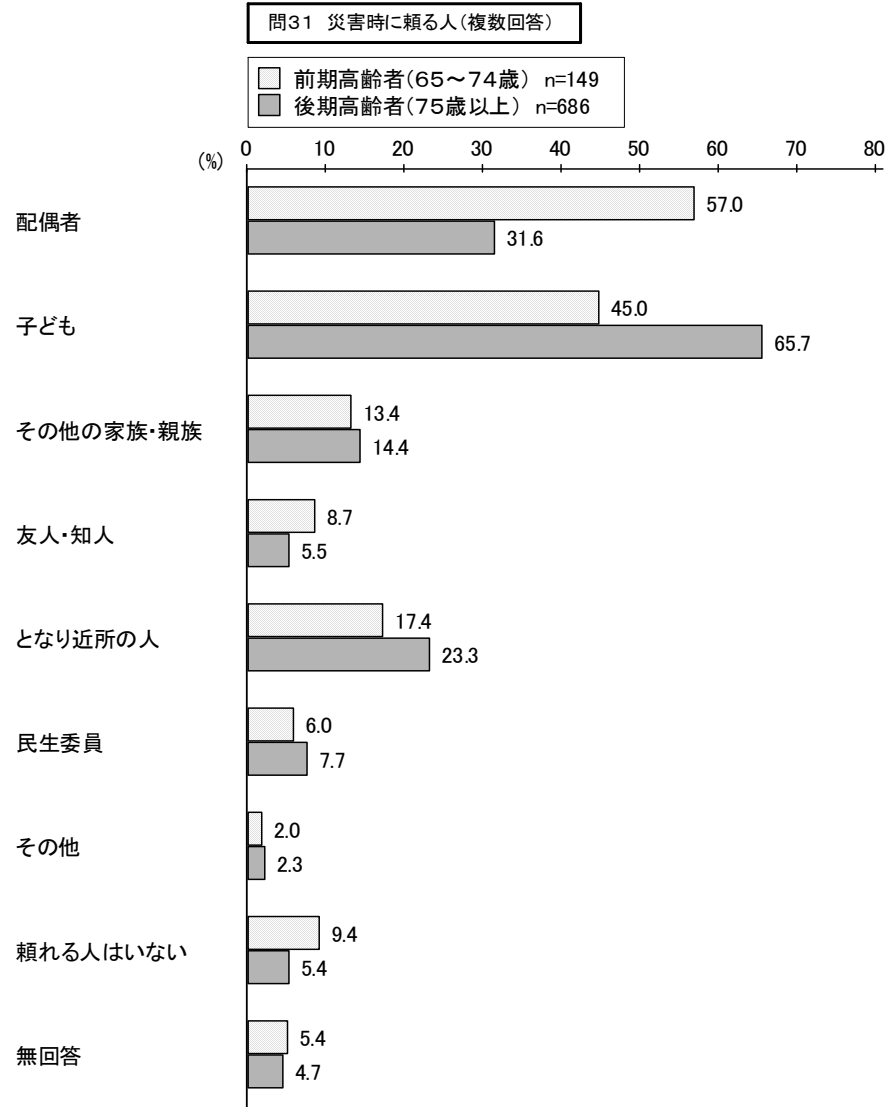
(要支援)



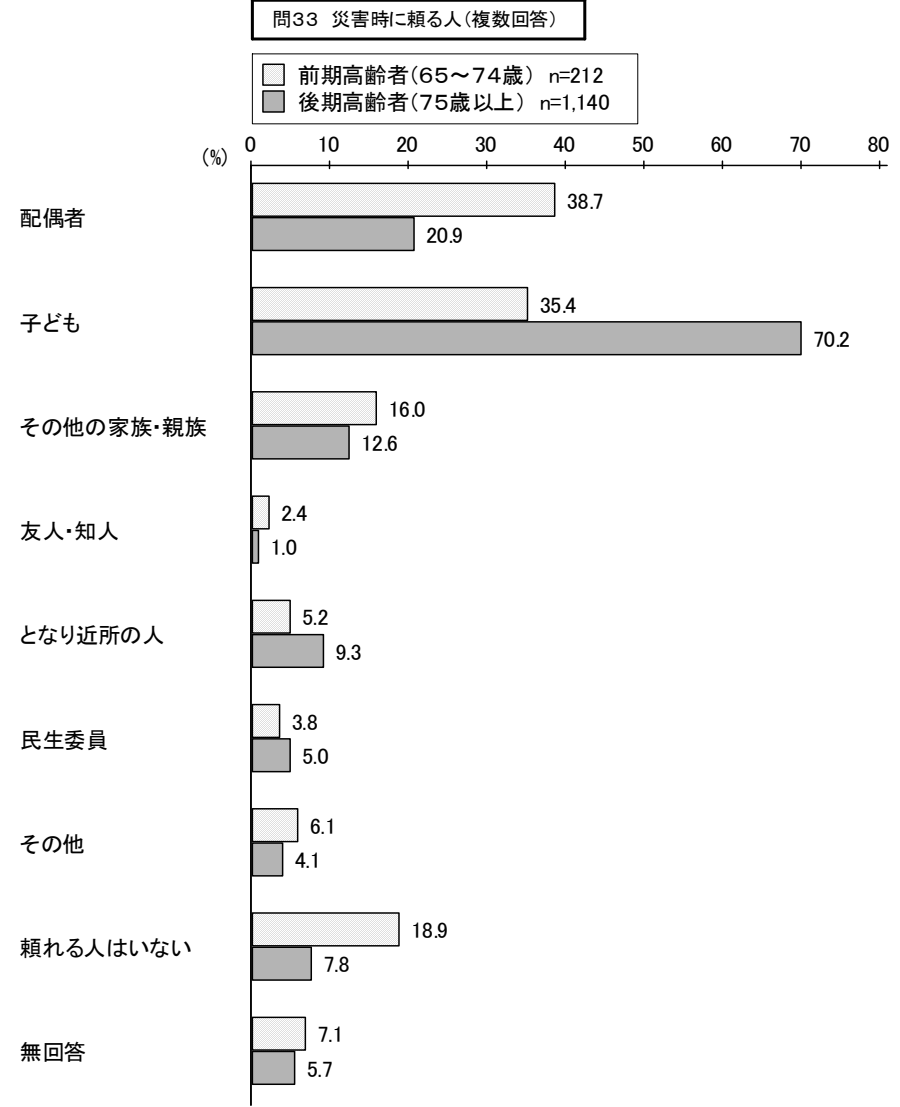
(要介護)



(未利用)



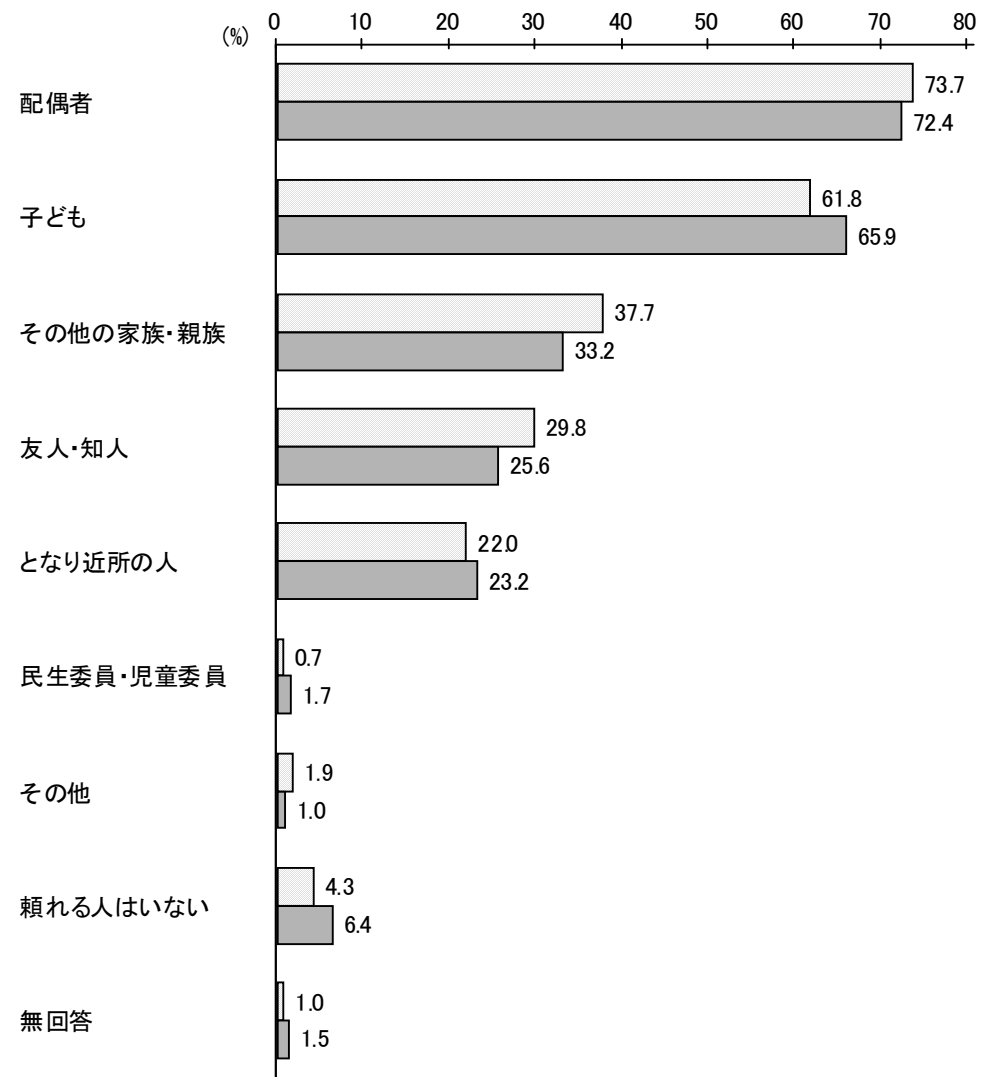
(特養申込者)



(一般 55~64 歳)

問33 災害時に頼る人(複数回答)

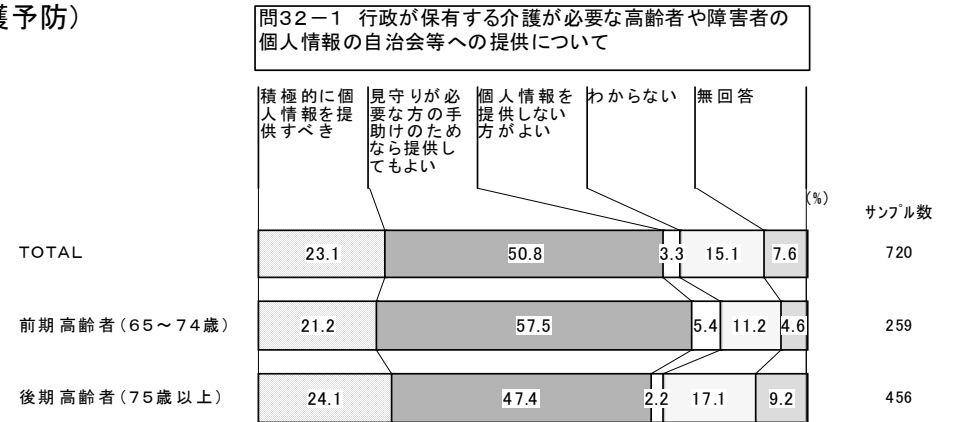
55~59歳 n=419
60~64歳 n=590



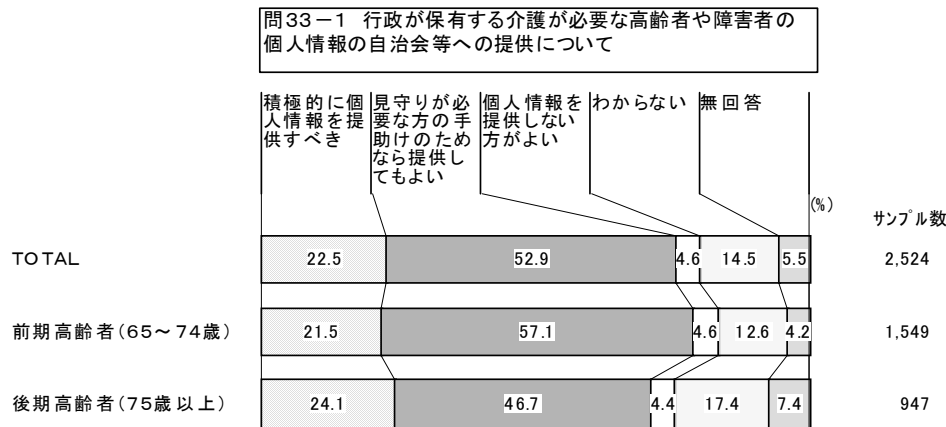
(4) 災害時の自治会町内会への個人情報提出

災害時の自治会町内会への個人情報提出については、「積極的に個人情報を提供すべき」「見守りが必要な方の手助けのためなら提供してもよい」を合わせた、提供に賛成する割合は、一般 55～64 歳で 81.3%、特養申込者で 77.0%となっている。

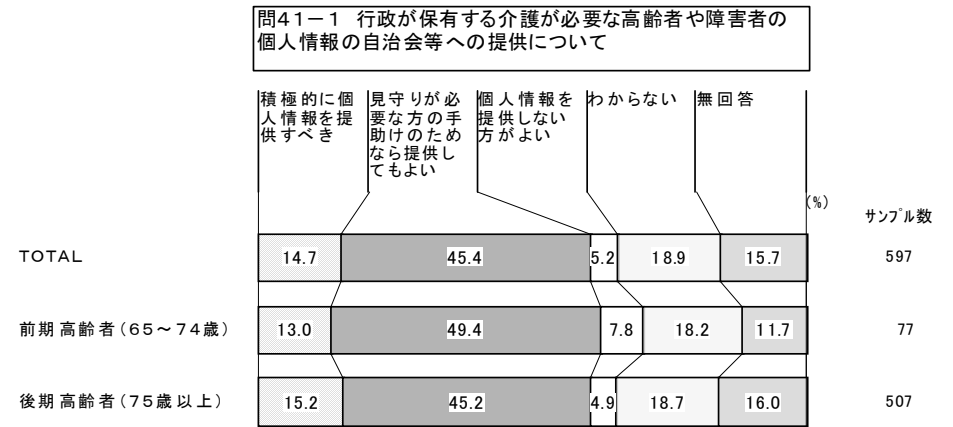
(介護予防)



(高齢者一般)



(要支援)



(要介護)

問38-1 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の自治会等への提供について

	積極的に個人情報を提供すべき	見守りが必要な方の手助けのためなら提供してもよい	個人情報を提供しない方がよい	わからない	無回答
TOTAL	14.6	49.1	6.2	17.8	12.2
前期高齢者(65~74歳)	13.9	43.7	11.9	19.8	10.7
後期高齢者(75歳以上)	14.6	50.3	5.3	17.4	12.4

サンプル数

1,691

252

1,425

(特養申込者)

問33-1 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の自治会等への提供について

	積極的に個人情報を提供すべき	見守りが必要な方の手助けするためなら提供してもよい	個人情報を提供しない方がよい	わからない	無回答
TOTAL	16.8	60.2	4.4	13.6	5.0
前期高齢者(65~74歳)	15.1	58.5	7.1	17.0	2.4
後期高齢者(75歳以上)	17.2	61.5	4.0	12.9	4.4

サンプル数

1,411

212

1,140

(未利用)

問31-1 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の自治会等への提供について

	積極的に個人情報を提供すべき	見守りが必要な方の手助けのためなら提供してもよい	個人情報を提供しない方がよい	わからない	無回答
TOTAL	15.3	45.3	5.3	19.2	14.9
前期高齢者(65~74歳)	12.8	55.0	3.4	17.4	11.4
後期高齢者(75歳以上)	15.9	43.3	5.5	19.5	15.7

サンプル数

838

149

686

(一般55~64歳)

問33-1 行政が保有する介護が必要な高齢者や障害者の個人情報の自治会等への提供について

	積極的に個人情報を提供すべき	見守りが必要な方の手助けのためなら提供してもよい	個人情報を提供しない方がよい	わからない	無回答
TOTAL	14.7	66.6	6.0	10.8	1.9
55~59歳	13.8	67.3	6.4	11.0	1.4
60~64歳	15.6	66.3	5.6	10.8	1.7

サンプル数

1,025

419

590

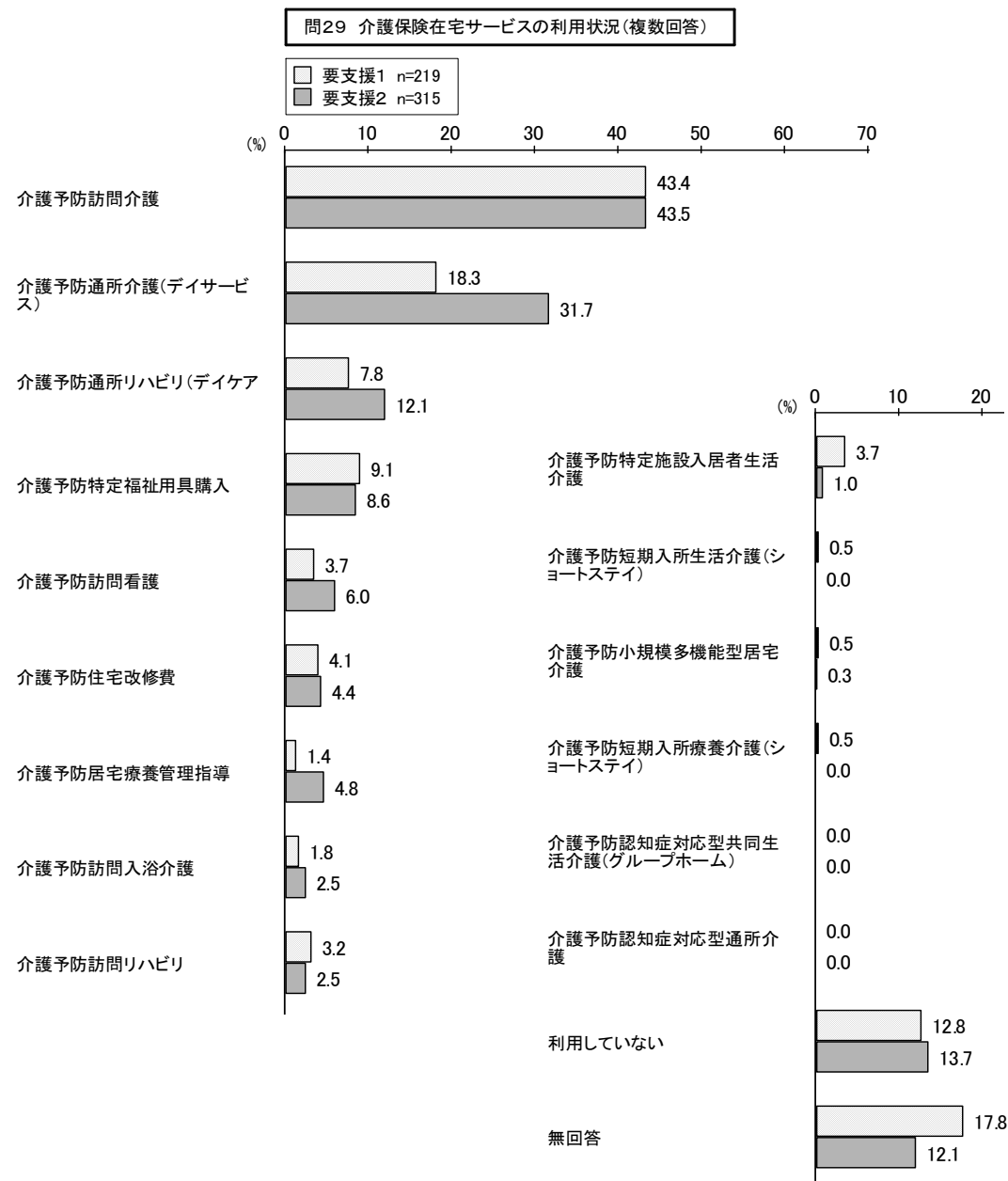
5 介護(医療)

(1) サービス利用状況

介護サービスの利用状況を見ると、要支援では、「介護予防訪問介護」が要支援1（43.4%）、要支援2（43.5%）で最も多い。

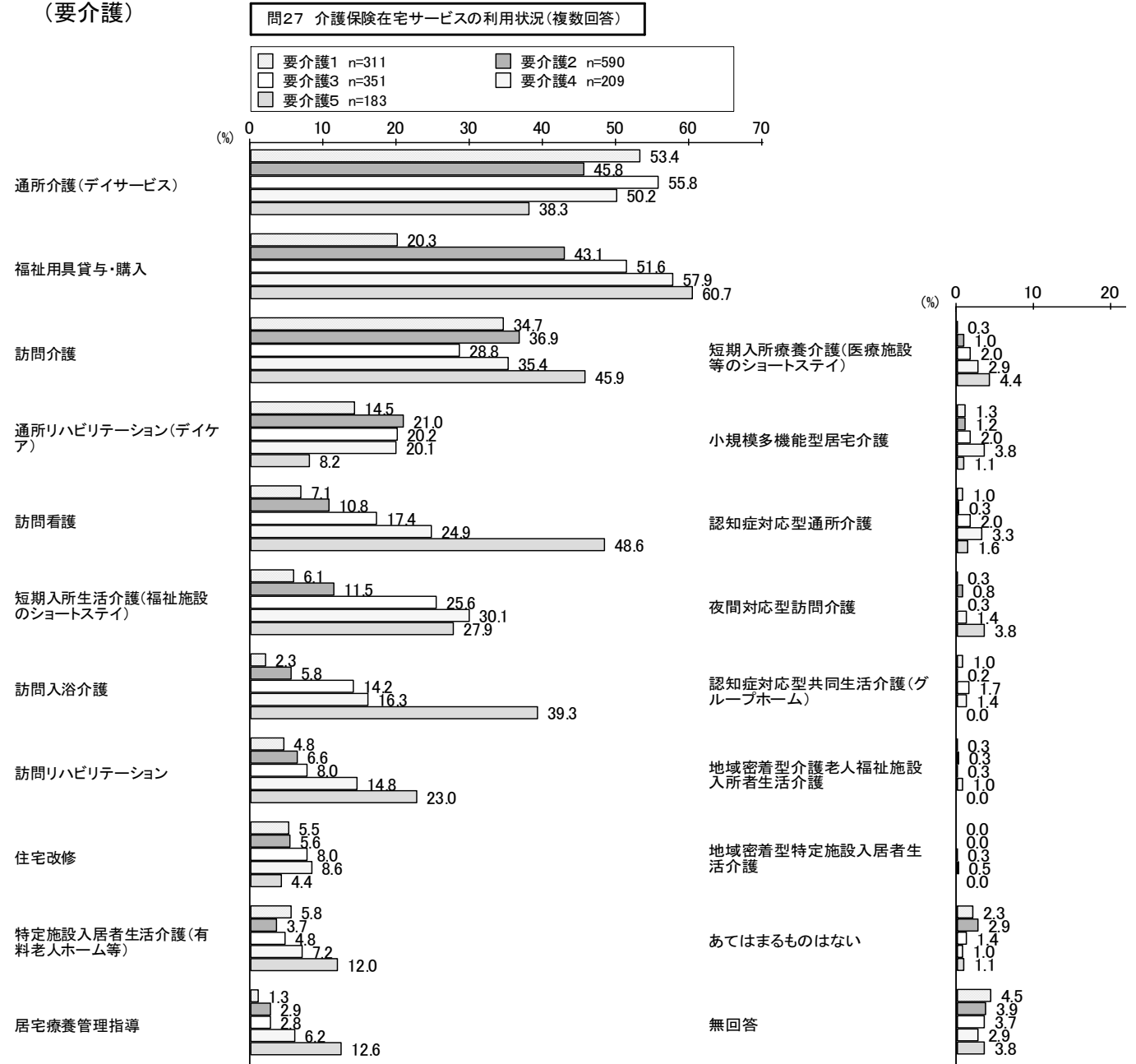
また、要支援2では「介護予防通所介護（デイサービス）」が31.7%となっている。

(要支援)



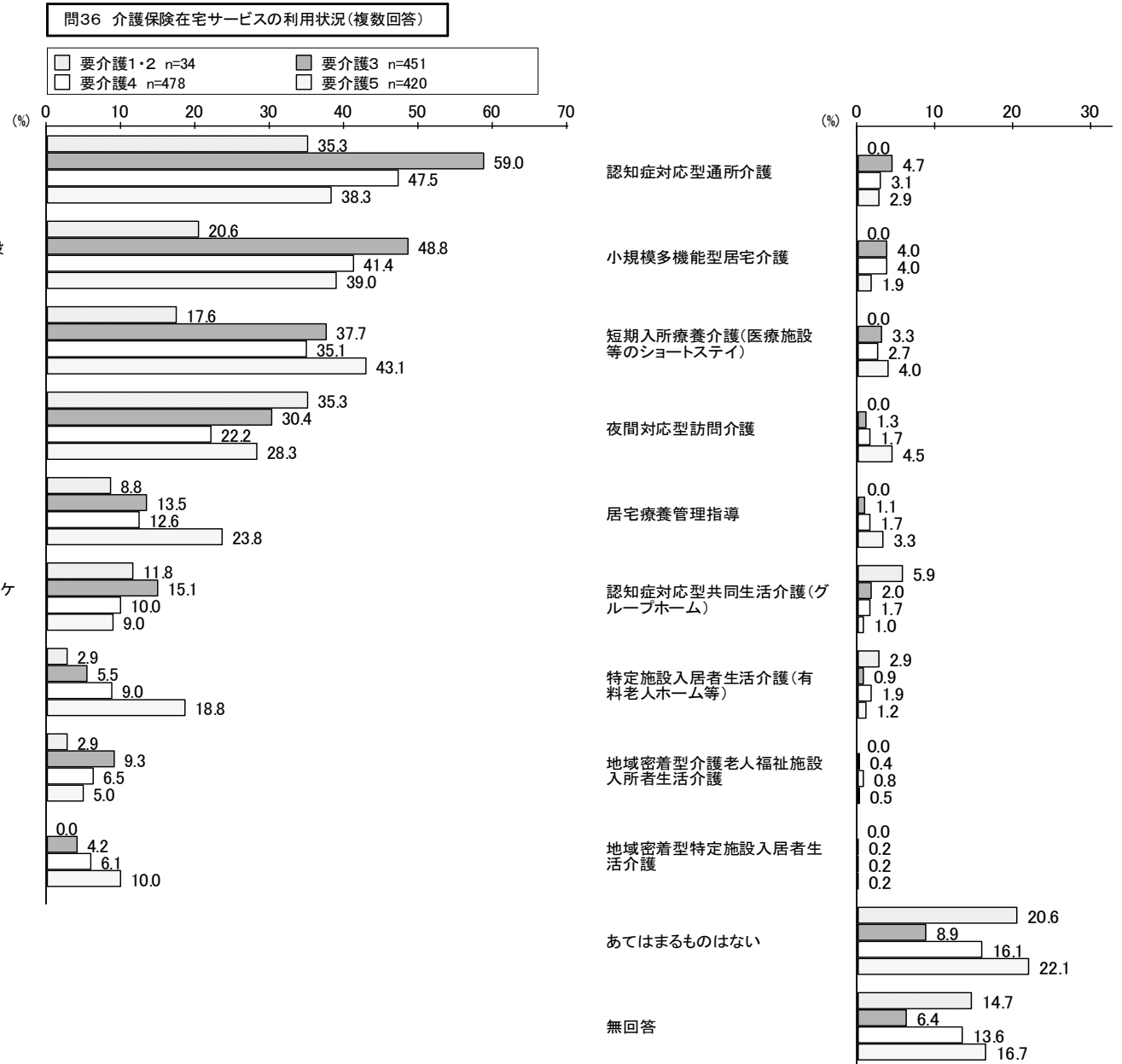
(要介護)

要介護の利用状況をみると、「福祉用具貸与・購入」が要介護5で60.7%となっている。このほか要介護5では、「訪問入浴介護」(39.3%)の利用割合が4割前後となっている。



(特養申込者)

特養申込者の利用状況を見ると、要介護3において「通所介護」(59.0%)、「短期入所生活介護」(48.8%)の利用割合となっている。



(2) 限度額に対する利用状況

限度額に対する利用状況をみると、要支援では、「上限まで利用した」は要支援1、2とも1割（要支援1 13.2%、要支援2 13.3%）となっている。

要介護では、「上限まで利用した」は要介護4、5とも3割前後（要介護4 29.7%、要介護5 33.3%）となっている。

特養申込者では、「上限まで利用した」は要介護3～5で3割前後（要介護3 30.8%、要介護4 30.5%、要介護5 28.1%）となっている。

(要支援)

問30 介護保険サービス利用金額の上限利用の有無					
	上限まで利用した	上限まで利用していない	わからない	無回答	
TOTAL	12.2	48.6	25.8	13.4	597
要支援1	13.2	50.2	23.3	13.2	219
要支援2	13.3	50.8	26.0	9.8	315

(要介護)

問28 介護保険サービス利用金額の上限利用の有無					
	上限まで利用した	上限まで利用していない	わからない	無回答	
TOTAL	19.2	56.2	17.3	7.4	1,691
要介護1	13.2	62.1	17.7	7.1	311
要介護2	14.9	59.3	19.7	6.1	590
要介護3	19.7	56.1	16.5	7.7	351
要介護4	29.7	49.8	14.4	6.2	209
要介護5	33.3	47.5	12.6	6.6	183

(特養申込者)

問38 介護保険サービス利用金額の上限利用の有無					
	上限まで利用した	上限まで利用していない	わからない	無回答	
TOTAL	28.9	36.6	21.0	13.5	1,411
要介護1・2	11.8	47.1	26.5	14.7	34
要介護3	30.8	43.5	17.7	8.0	451
要介護4	30.5	36.6	21.8	11.1	478
要介護5	28.1	30.5	23.1	18.3	420

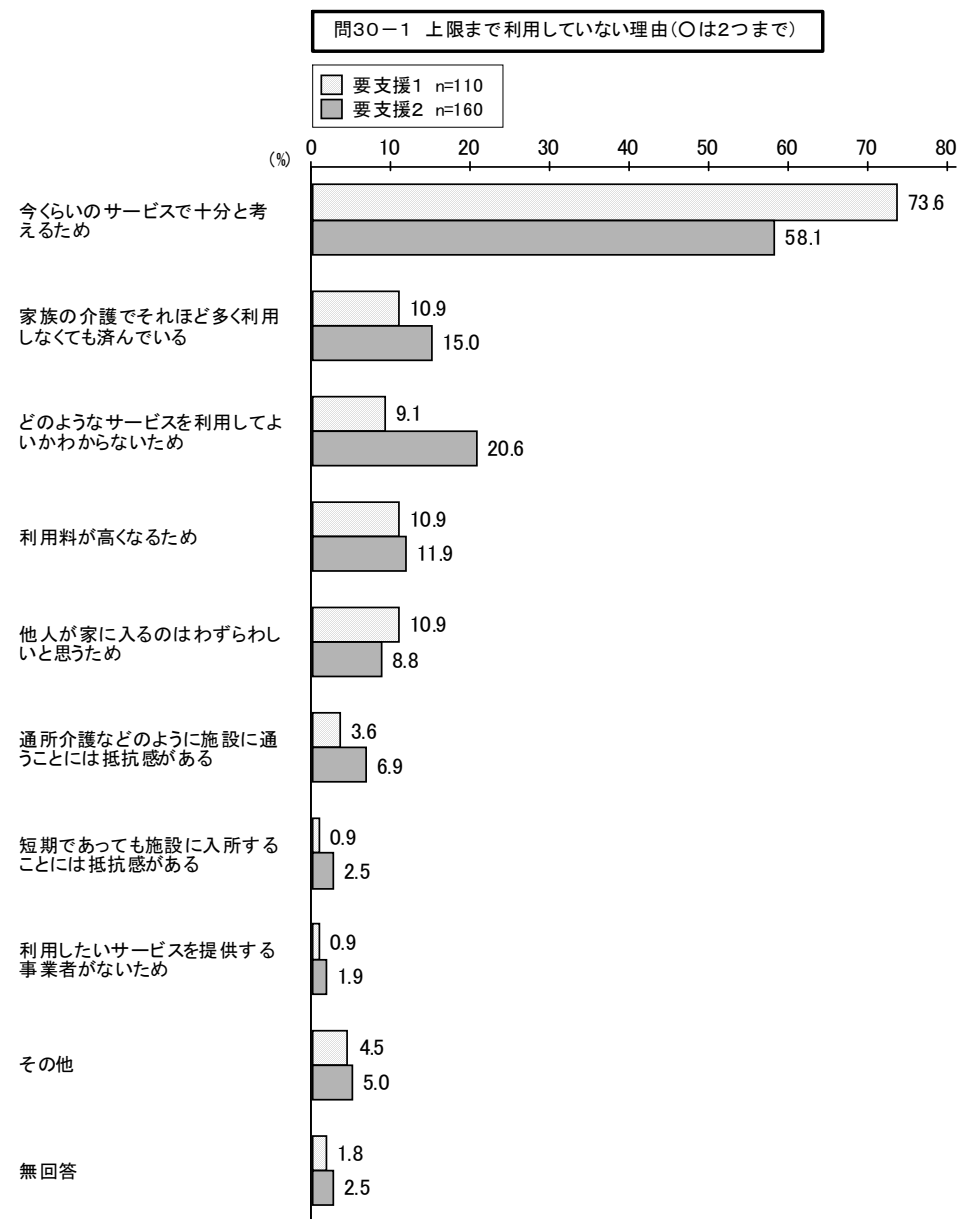
(3) 上限まで利用していない理由

介護サービスを上限まで利用していない理由をみると、要支援では、「今くらいのサービスで十分と考えるため」が要支援1で73.6%、要支援2で58.1%となっている。

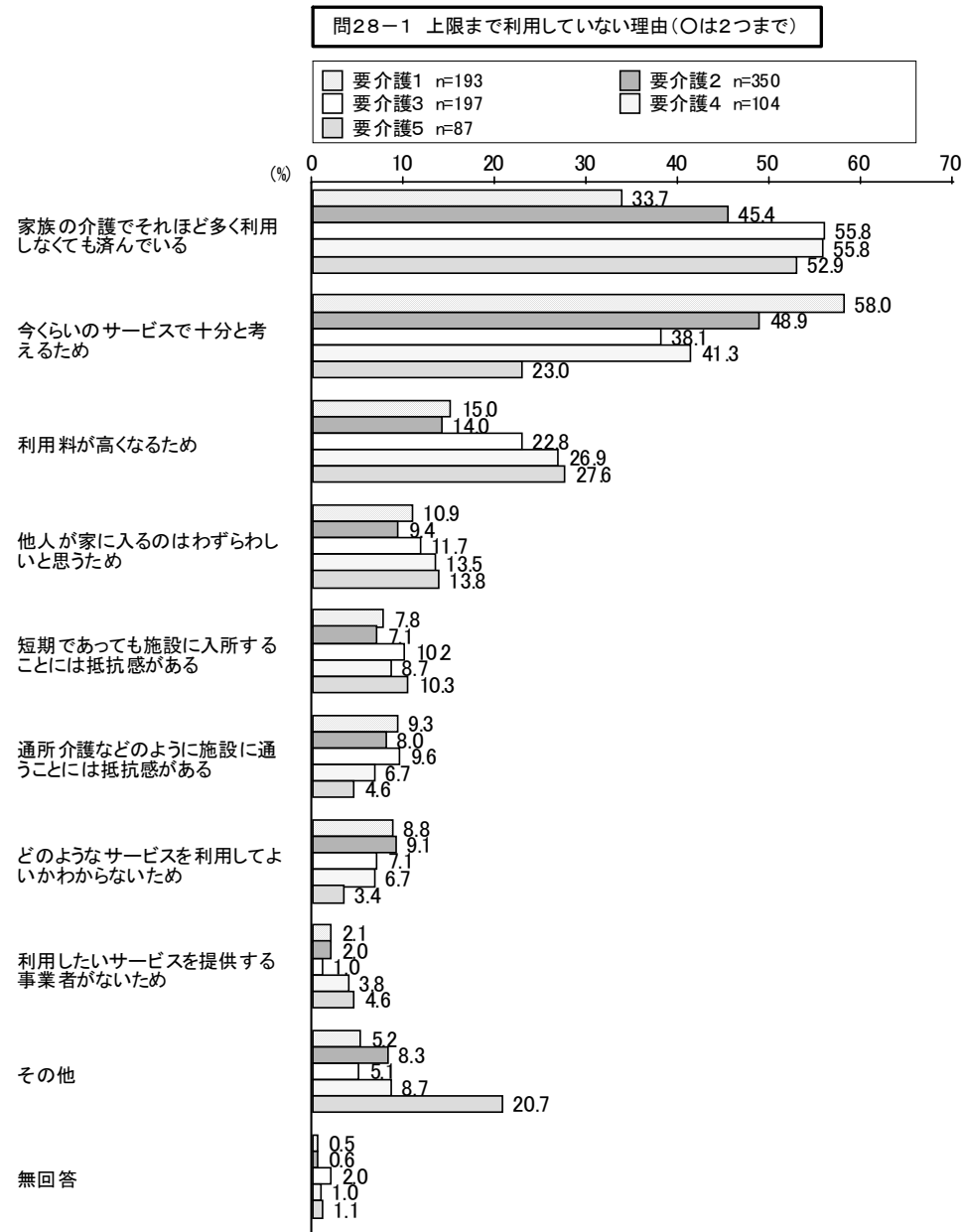
要介護では、「今くらいのサービスで十分と考えるため」が要介護1で58.0%であるほか、「家族の介護でそれほど多く利用しなくても済んでいる」が要介護3、4ともに55.8%となっている。

特養申込者では、「家族の介護でそれほど多く利用しなくても済んでいる」が要介護3で33.7%、また、「今くらいのサービスで十分と考えるため」が要介護3で34.2%となっている。

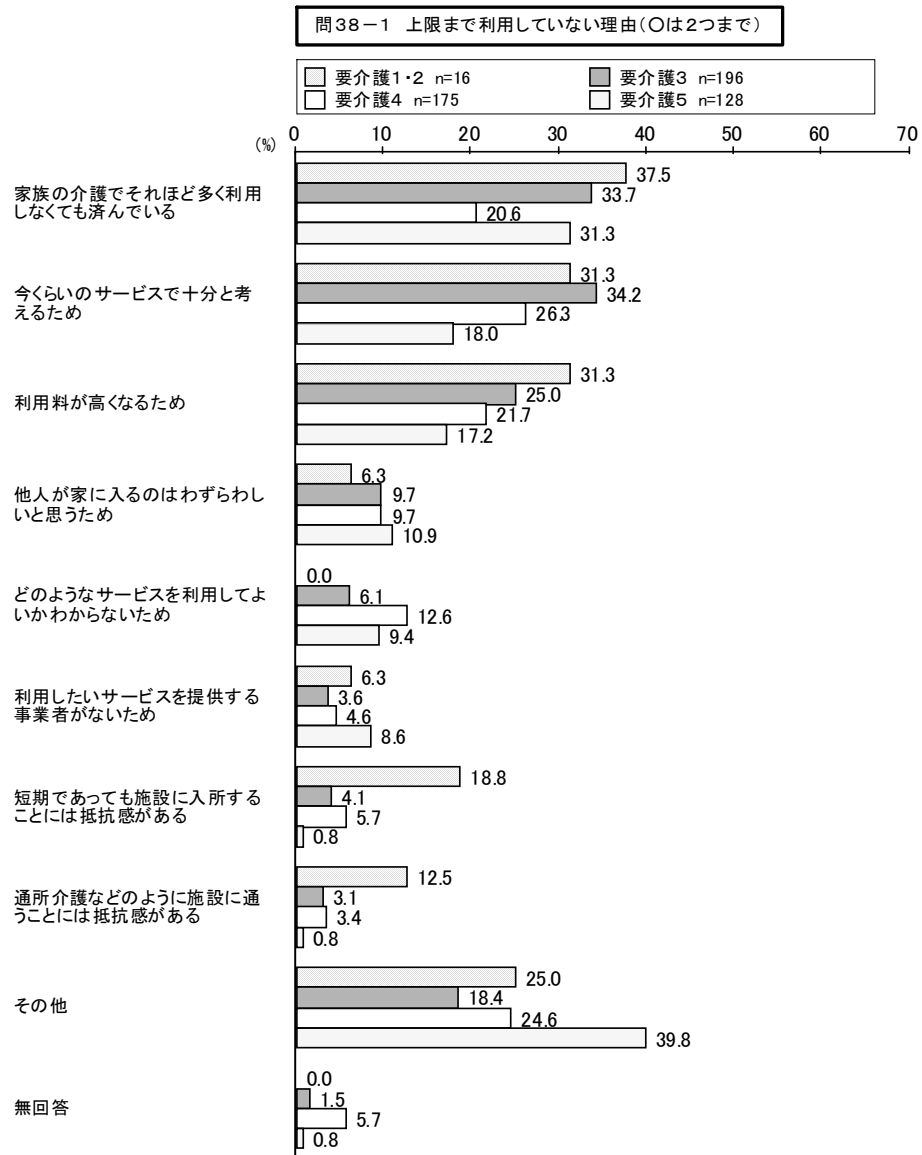
(要支援)



(要介護)



(特養申込者)

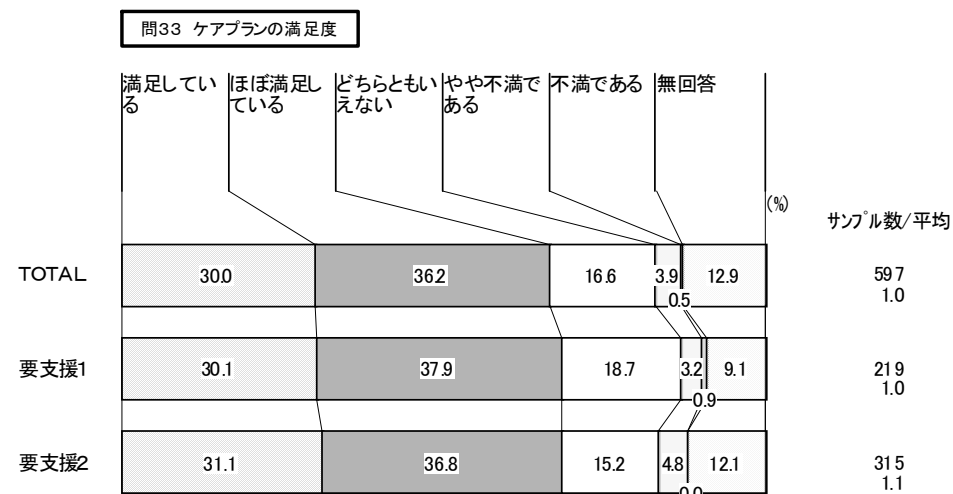


※ 特養申込者のうち「要介護1・2」の回答母数は 16 人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

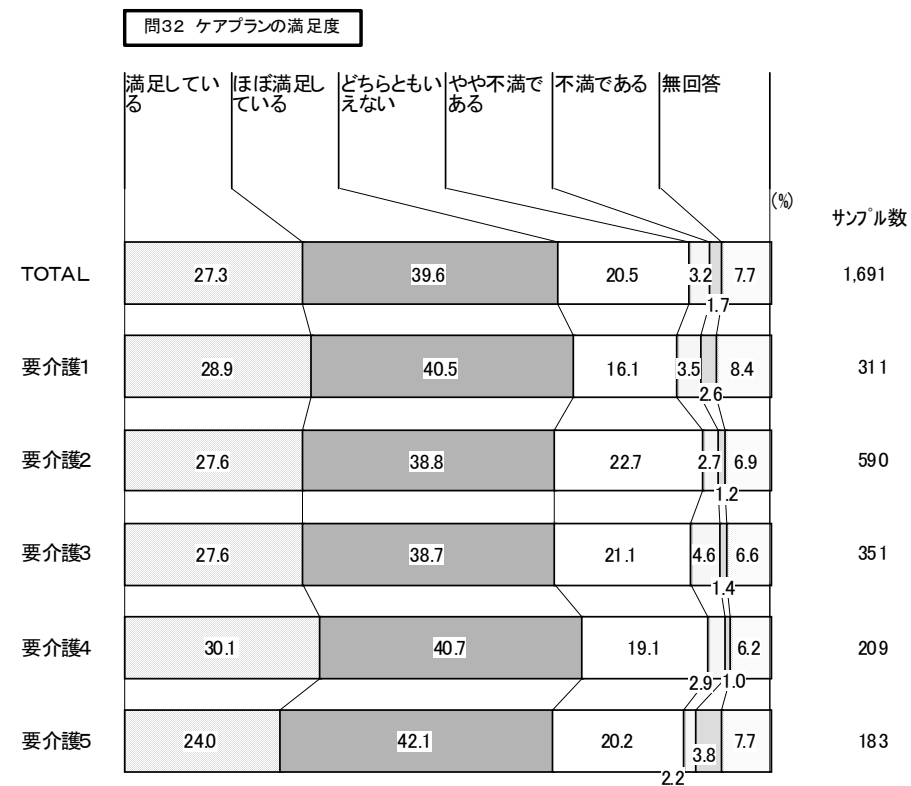
(4) ケアプランの満足度

ケアプランの満足度をみると、「満足している」「ほぼ満足している」を合わせた、満足しているとする割合は、要支援では 66.2%、要介護では、要介護4で 70.8%となっている。

(要支援)



(要介護)

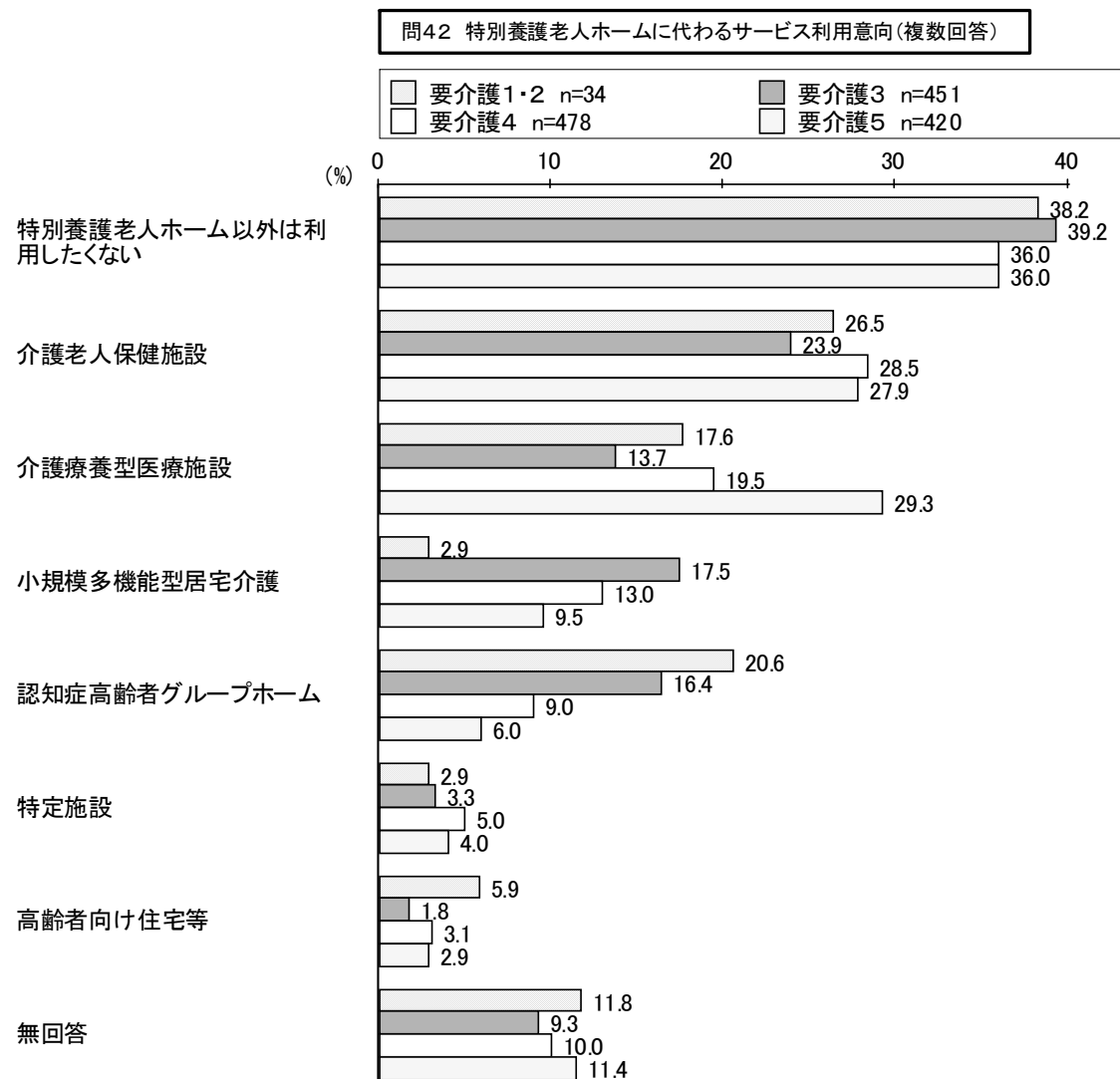


(5) 特養に代わるサービスの利用意向

特養申込者について、特養に代わるサービスの利用意向をみると、「介護療養型医療施設」が要介護5で29.3%、介護老人保健施設が要介護4で28.5%となっている。

一方、「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」とする割合は要介護3で39.2%となっている。

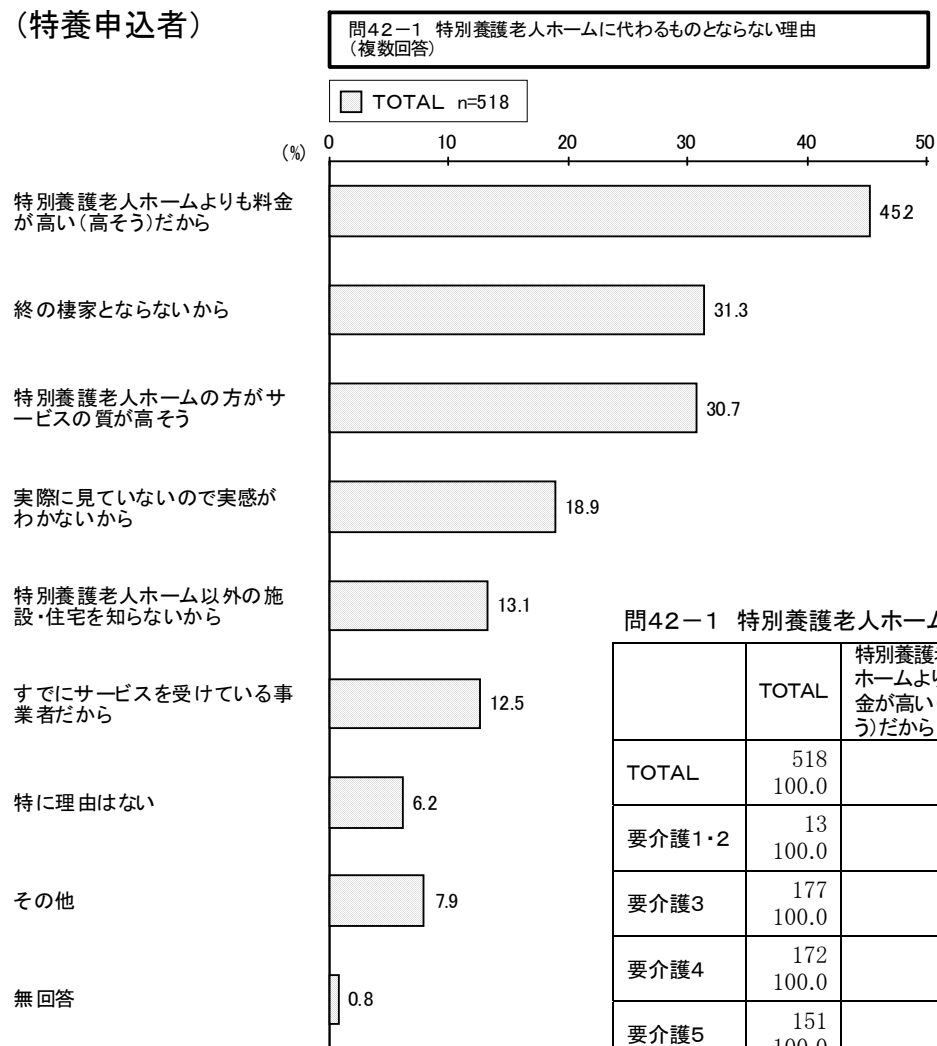
(特養申込者)



※ 特養申込者のうち「要介護1・2」の回答母数は34人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

(6) 特養に代わるものとならない理由

(特養申込者)



特養申込者について、特養に代わるものとならない理由をみると、「特別養護老人ホームよりも料金が高い(高そう)だから」が要介護5で47.7%、要介護3で46.9%となっている。

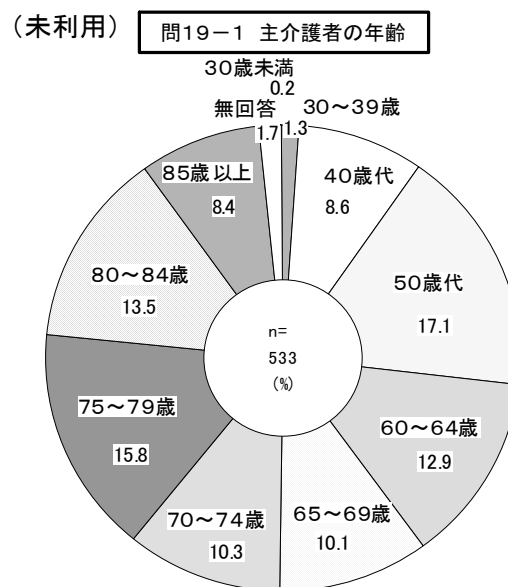
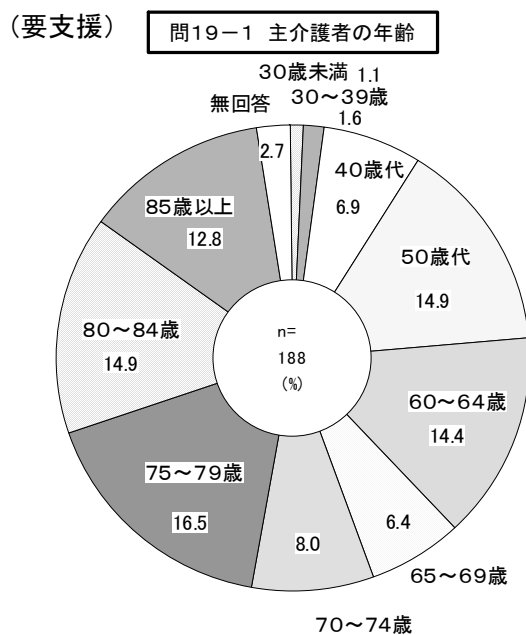
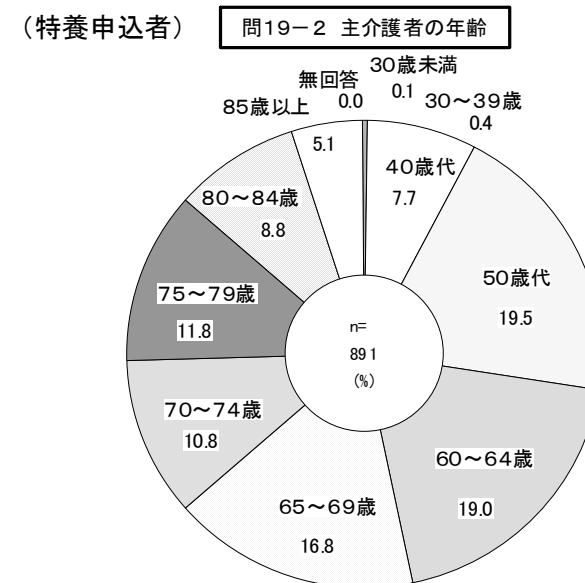
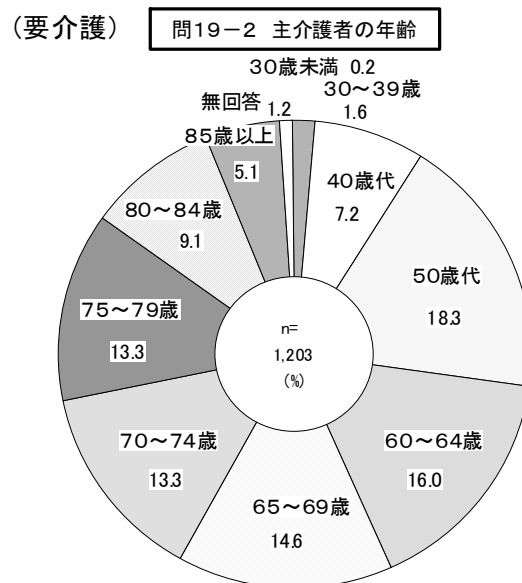
問42-1 特別養護老人ホームに代わるものとならない理由(複数回答)(要介護度別)

	TOTAL	特別養護老人ホームよりも料金が高い(高そう)だから	終の棲家とならないから	特別養護老人ホームの方がサービスの質が高そう	実際に見ていないので実感がわからないから	特別養護老人ホーム以外の施設・住宅を知らないから	すでにサービスを受けている事業者だから	特に理由はない	その他	無回答
TOTAL	518 100.0	45.2	31.3	30.7	18.9	13.1	12.5	6.2	7.9	0.8
要介護1・2	13 100.0	69.2	30.8	53.8	15.4	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0
要介護3	177 100.0	46.9	33.9	27.7	20.3	18.1	13.6	5.1	6.8	0.6
要介護4	172 100.0	39.0	30.8	28.5	18.6	10.5	11.0	8.7	7.0	1.2
要介護5	151 100.0	47.7	29.8	33.8	17.9	10.6	13.2	5.3	9.3	0.7

※ 特養申込者のうち「要介護1・2」の回答母数は13人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

(7) 主たる介護者の年齢と健康状況 〔年齢〕

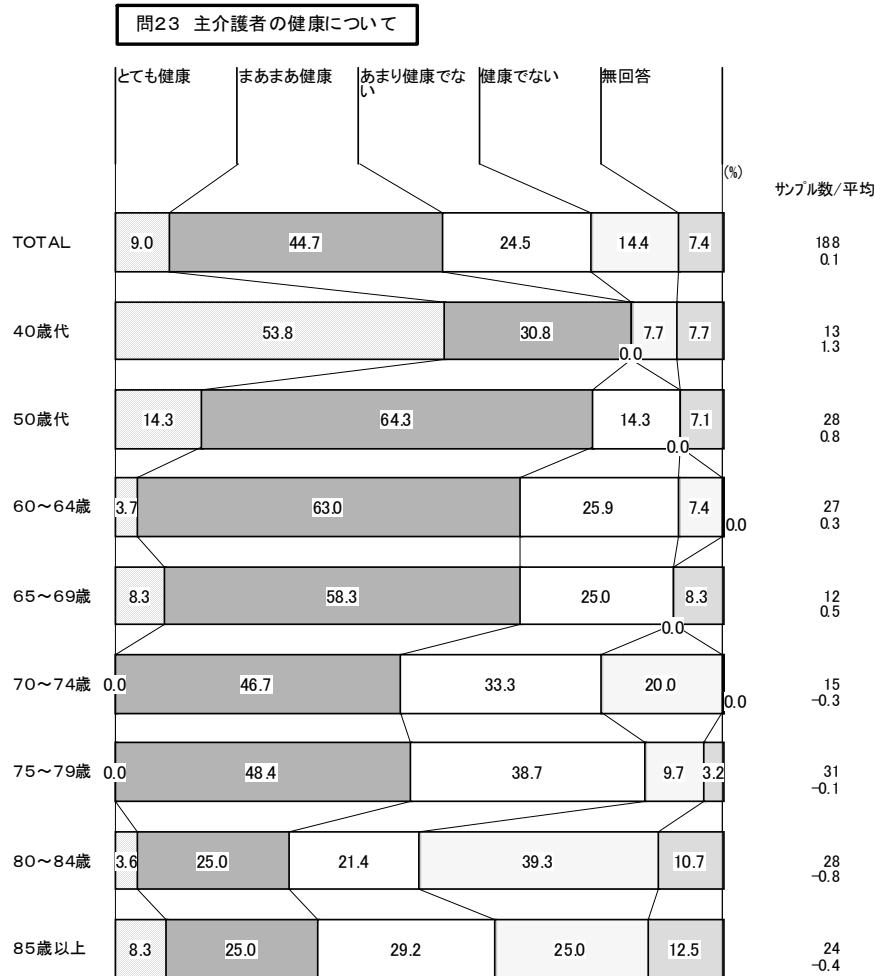
主たる介護者の年齢をみると、要支援の介護者については、75歳以上が44.2%となっている。また85歳以上が12.8%となっている。



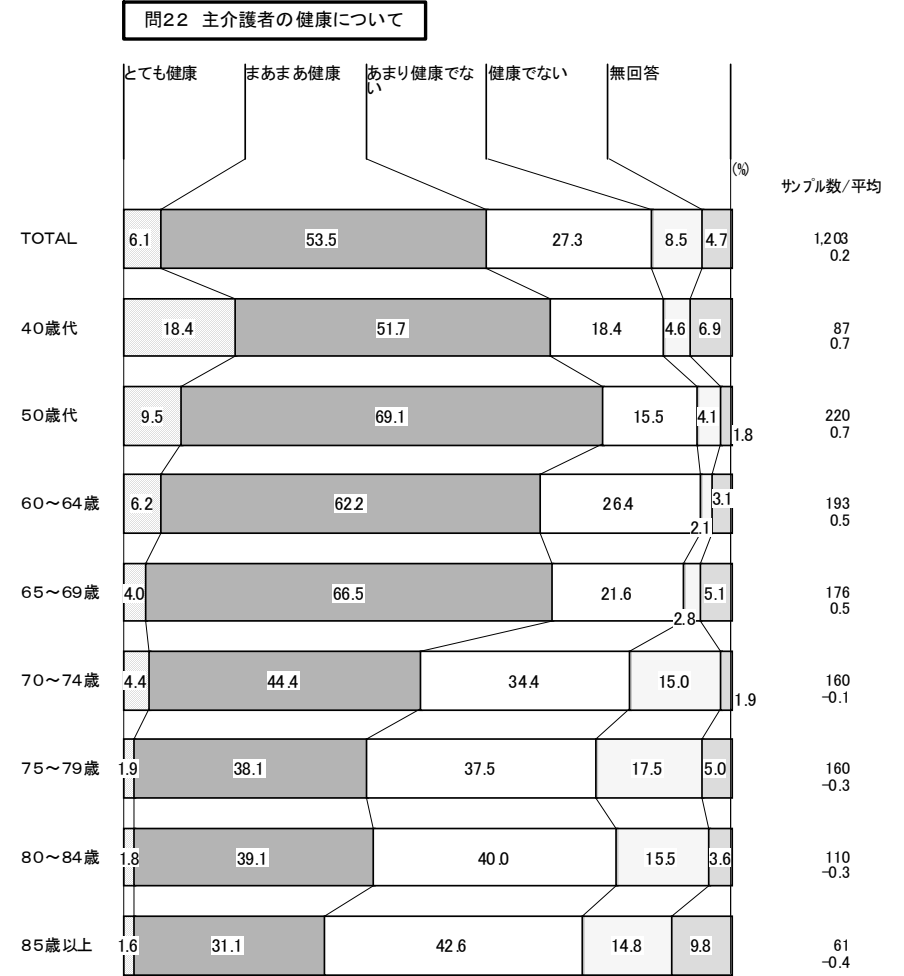
〔健康状況〕

主たる介護者の健康状況をみると、70歳以降になると、「とても健康」「まあまあ健康」であるとする割合が5割を下回る傾向にあり、特養申込者の介護者の85歳以上では、「健康でない」が37.8%となっている。

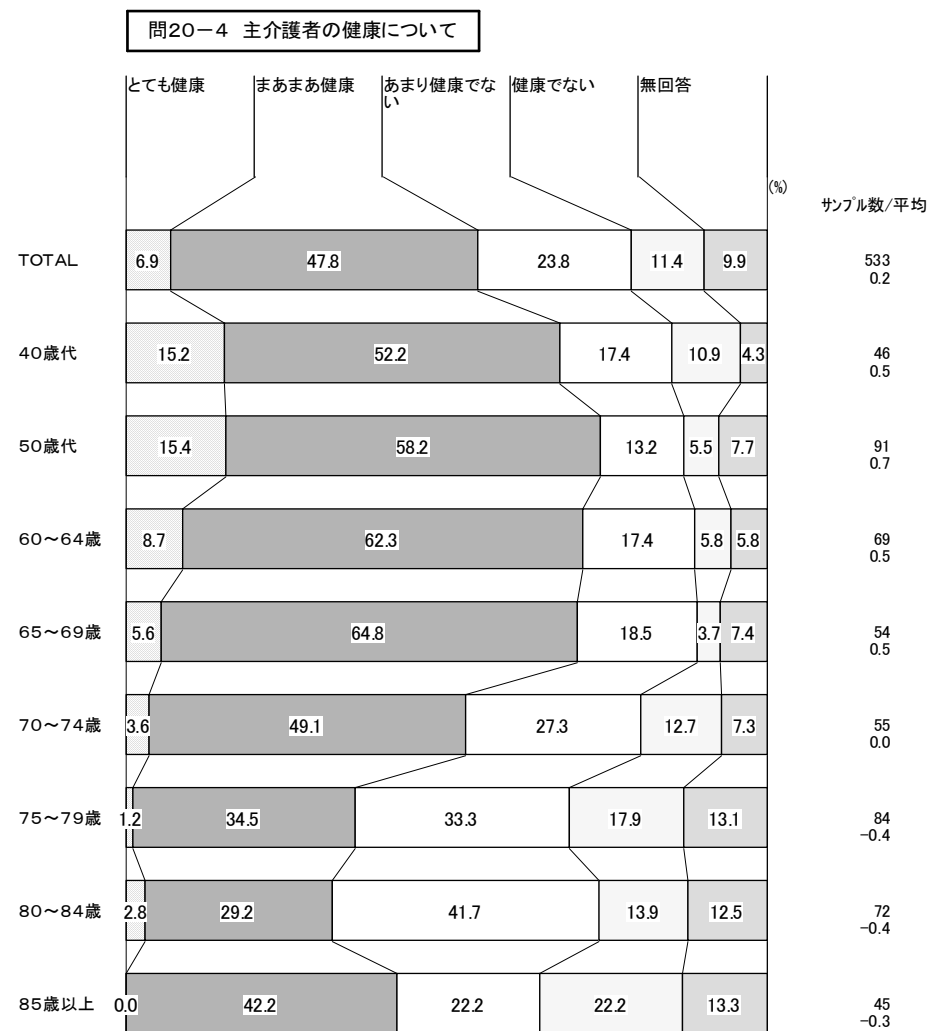
(要支援)



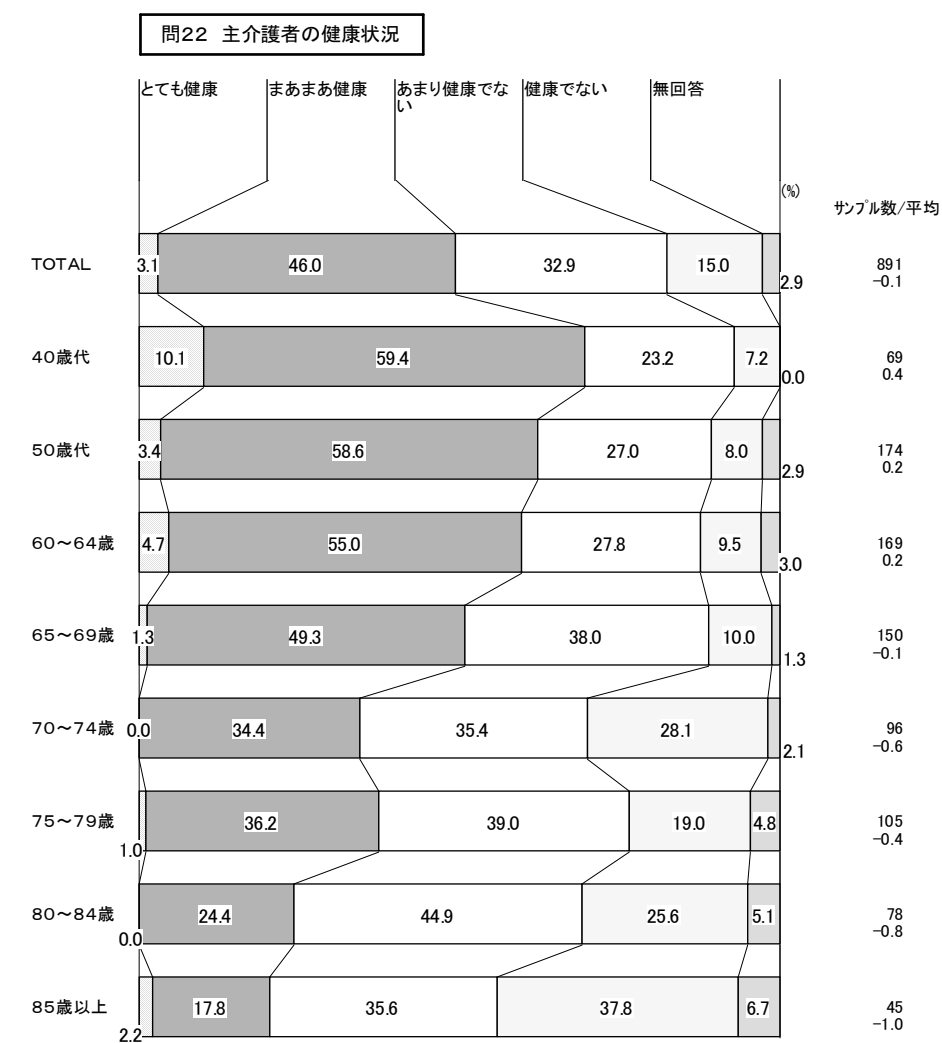
(要介護)



(未利用者)

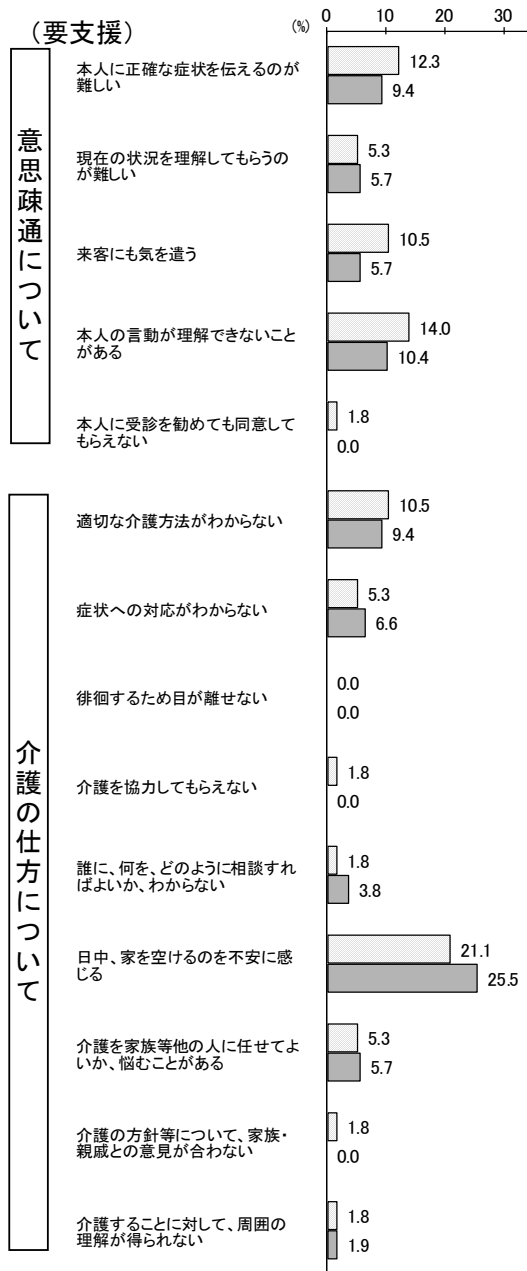


(特養申込者)



(8) 介護負担・困りごと

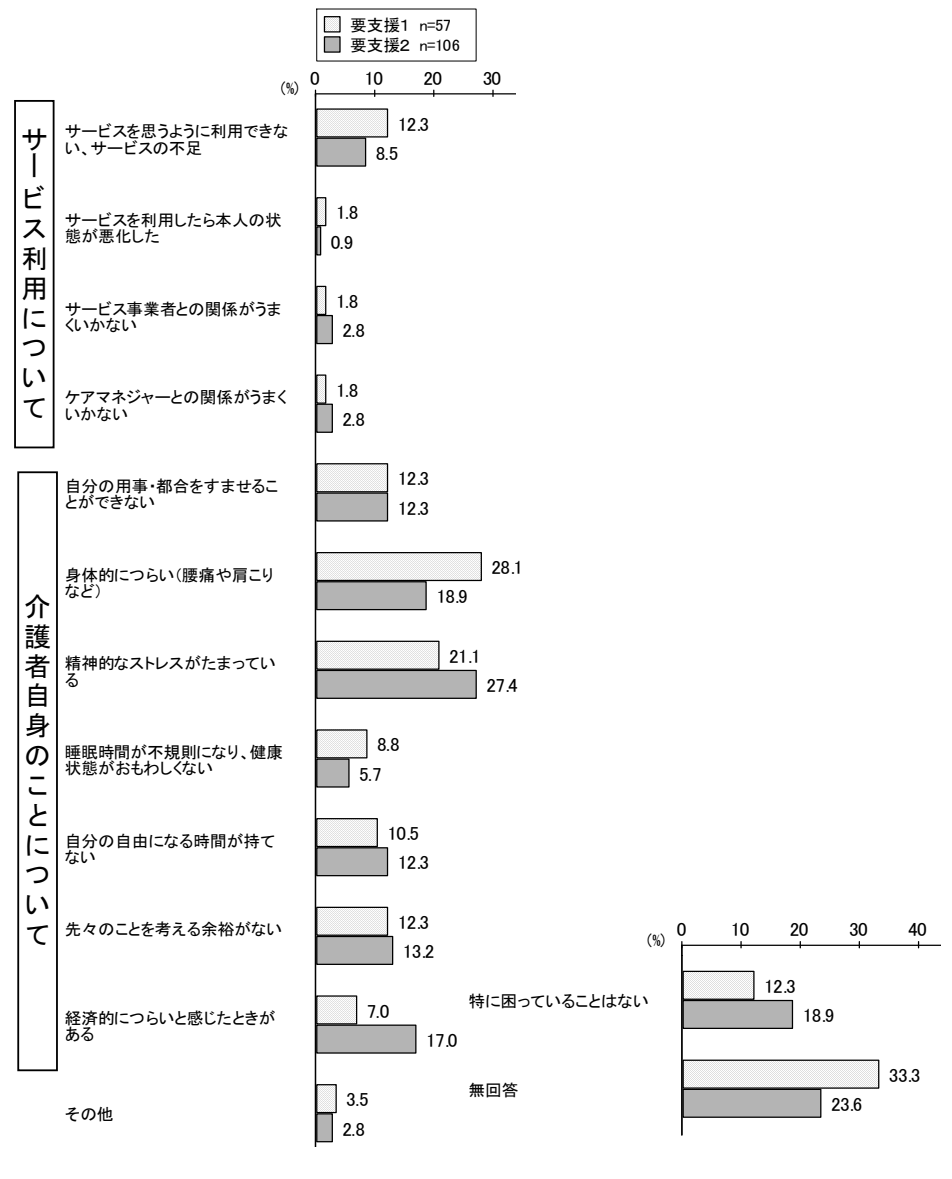
介護者の介護負担・困りごとをみると、要支援では、介護者自身のこと(「身体的につらい」、「精神的なストレスがたまっている」)、介護の仕方(「日中、家を空けるのを不安に感じる」)をあげる割合が高くなっている。



意思疎通について

介護の仕方について

問25 在宅介護の困難や負担点(複数回答)



サービス利用について

介護者自身のことについて

(意思疎通について)

要介護では、要介護5の介護者で「本人に正確な症状を伝えるのが難しい」が40.6%となっている。特養申込者では、要介護3の介護者で、「現在の状況を理解してもらるのが難しい」が58.9%となっている。

(介護の仕方について)

要介護では、要介護4の介護者で「日中、家を空けるのを不安に感じる」が56.8%となっている。特養申込者では、要介護3の介護者で「日中、家を空けるのを不安に感じる」が60.4%となっている。

(サービス利用について)

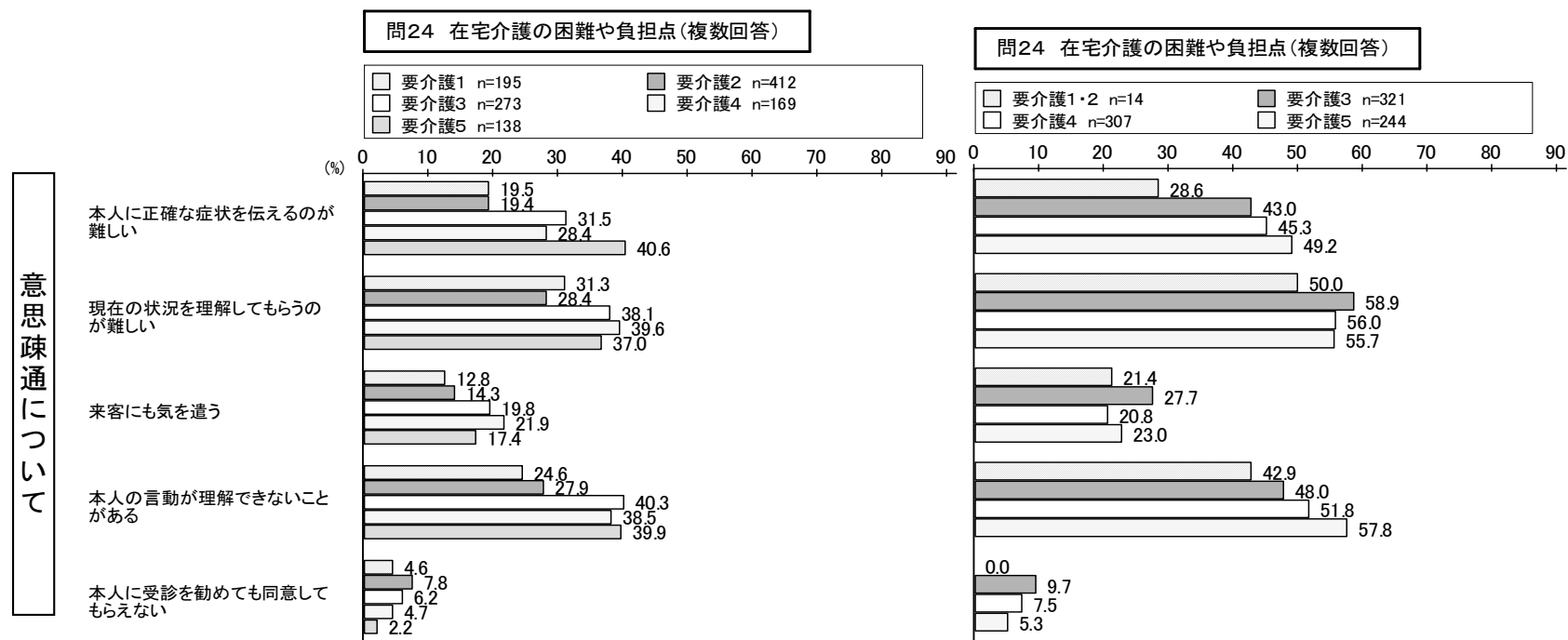
要介護では、要介護5の介護者で「サービスを思うように利用できない、サービスの不足」が16.7%となっている。特養申込者では、要介護5の介護者で「サービスを思うように利用できない、サービスの不足」が20.9%となっている。

(介護者自身のことについて)

要介護では、要介護3、4の介護者で「精神的なストレスがたまっている」が59.7%、59.8%となっている。特養申込者では、要介護3の介護者で「精神的なストレスがたまっている」が80.1%となっている。

(要介護)

(特養申込者)



※ 特養申込者の介護者のうち「要介護1・2」の回答母数は14人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

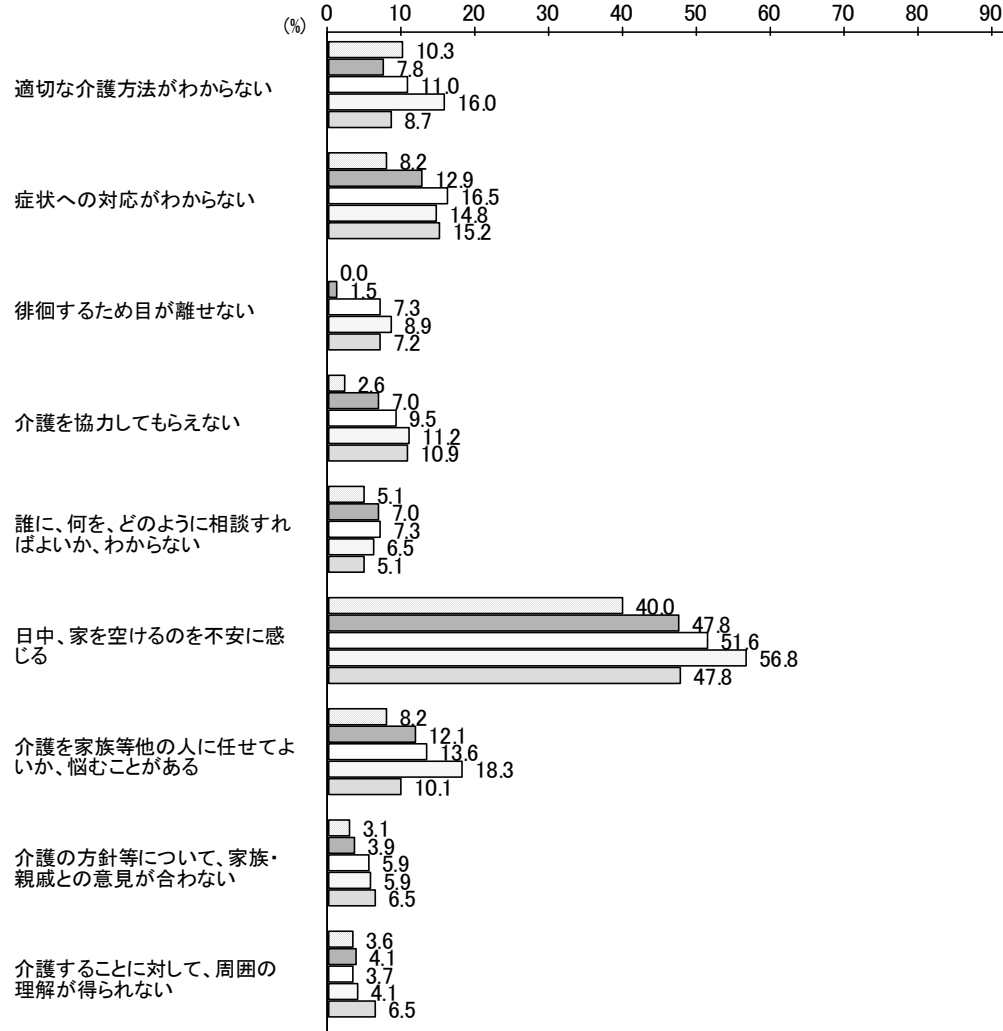
(要介護)

(特養申込者)

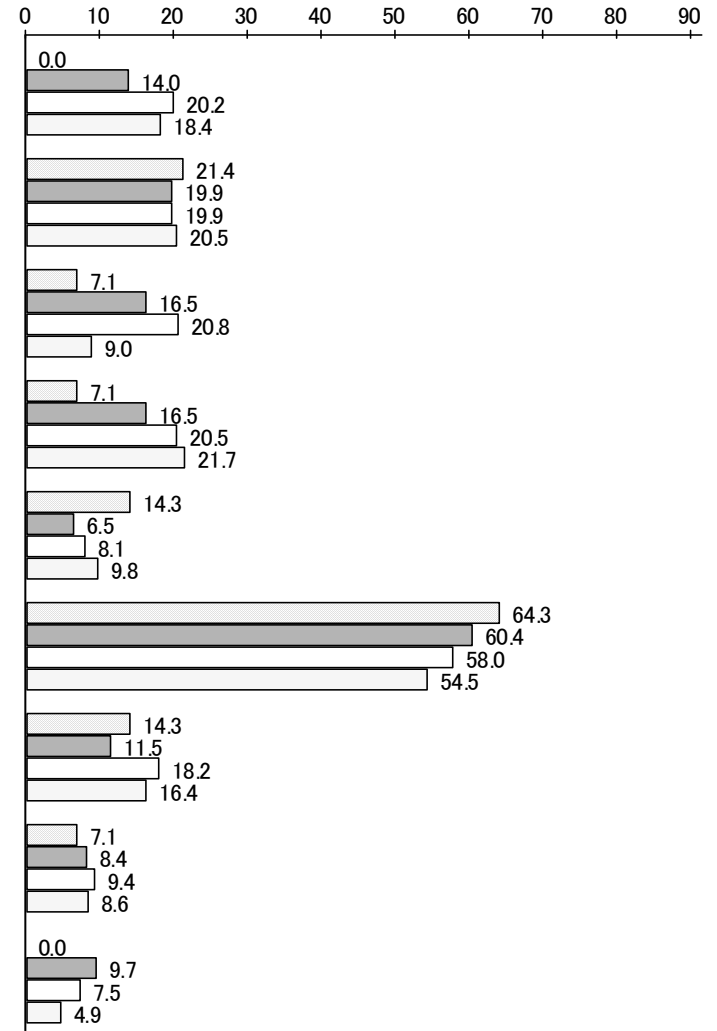
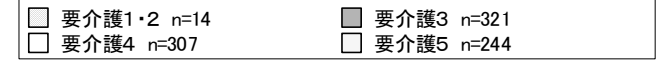
問24 在宅介護の困難や負担点(複数回答)



介護の仕方について



問24 在宅介護の困難や負担点(複数回答)



(要介護)

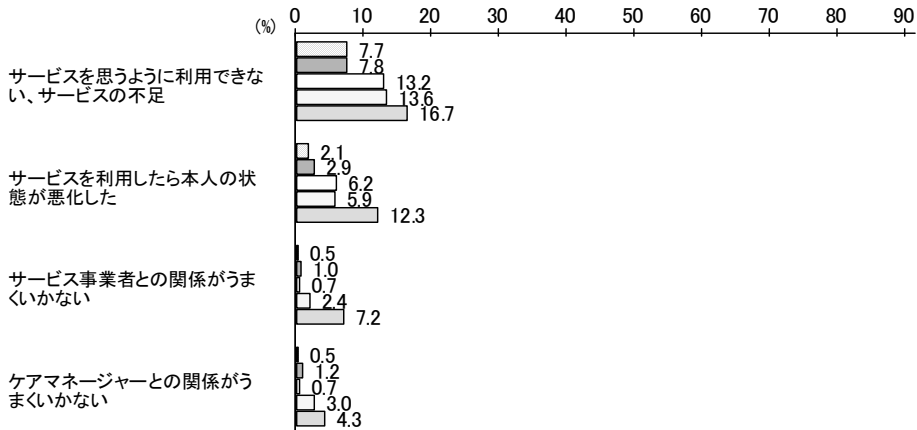
(特養申込者)

問24 在宅介護の困難や負担点(複数回答)

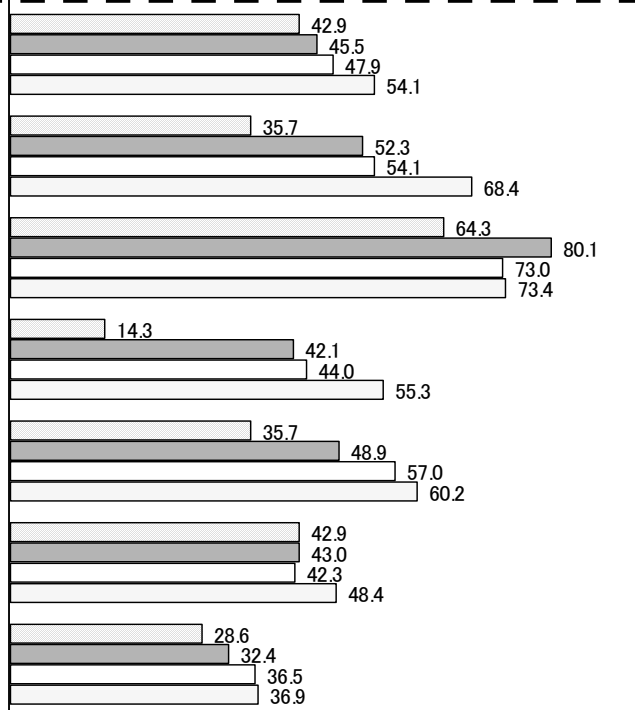
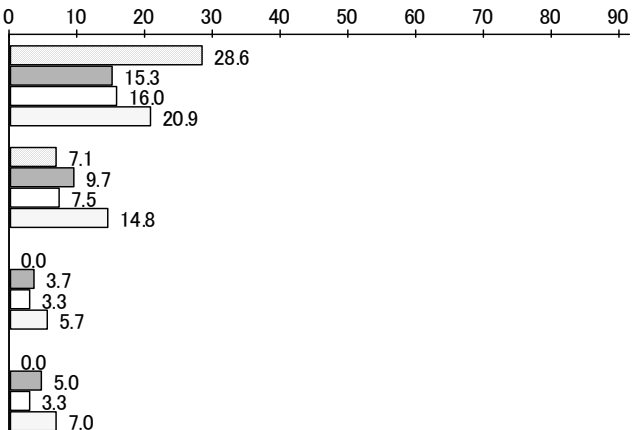
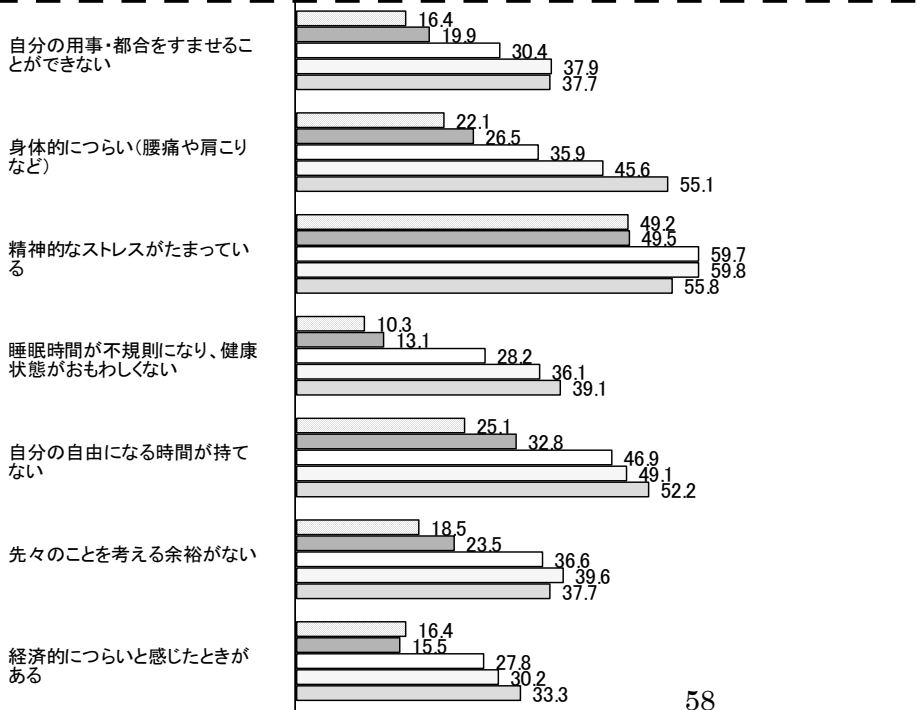
問24 在宅介護の困難や負担点(複数回答)



サービス利用について



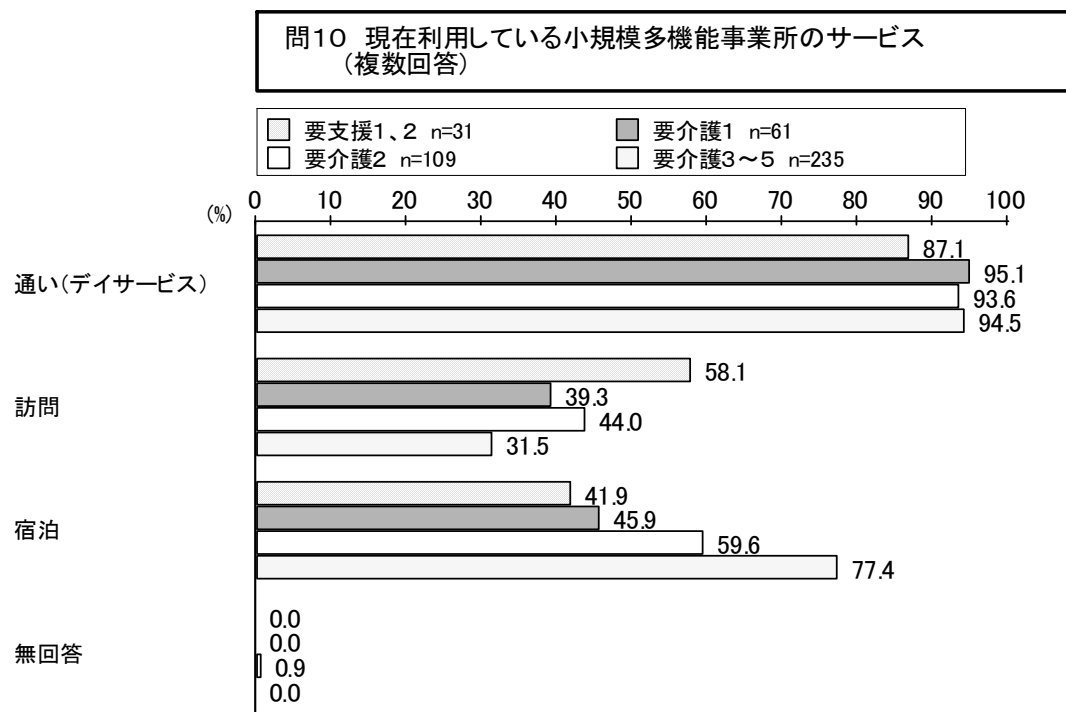
介護者自身のことについて



6 小規模多機能利用者調査

(1) 利用状況(通い、訪問、宿泊)

小規模多機能型サービスの利用者について、利用状況を見ると、「通い(デイサービス)」は利用者の8～9割が利用しており、要介護1で95.1%となっている。「訪問」は要介護2で44.0%、「宿泊」は要介護4で81.1%となっている。



問10 現在利用している小規模多機能事業所のサービス
(複数回答)
(上段 回答者数 人 下段 回答 成)

	TOTAL	通い(デイサービス)	訪問	宿泊	無回答
TOTAL	453 100.0	425 93.8	172 38.0	297 65.6	1 0.2
要支援1	12 100.0	10 83.3	6 50.0	5 41.7	0 0.0
要支援2	19 100.0	17 89.5	12 63.2	8 42.1	0 0.0
要介護1	61 100.0	58 95.1	24 39.3	28 45.9	0 0.0
要介護2	109 100.0	102 93.6	48 44.0	65 59.6	1 0.9
要介護3	115 100.0	109 94.8	32 27.8	85 73.9	0 0.0
要介護4	74 100.0	70 94.6	26 35.1	60 81.1	0 0.0
要介護5	46 100.0	43 93.5	16 34.8	37 80.4	0 0.0

※ 要支援1、2の回答母数は12人、19人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

(2) 利用し始めた理由

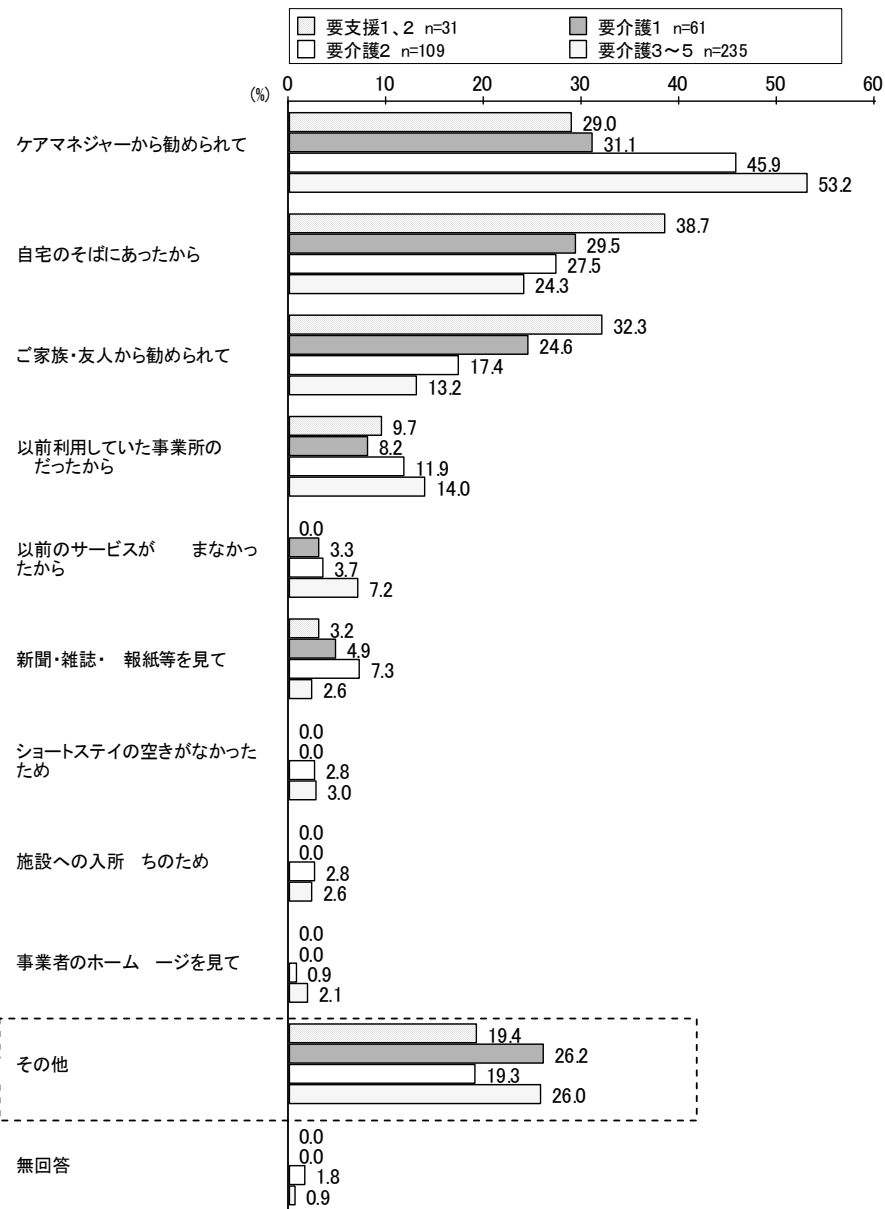
小規模多機能型サービスを利用し始めた理由をみると、「ケアマネジャーから勧められて」が要介護3～5で53.2%となっている。次いで、「自宅のそばにあったから」は要介護1で29.5%、「家族・友人から」は要介護1で24.6%となっている。

また、その他の回答についての主な記入内容は、以下のようになっている。

(主な記入)

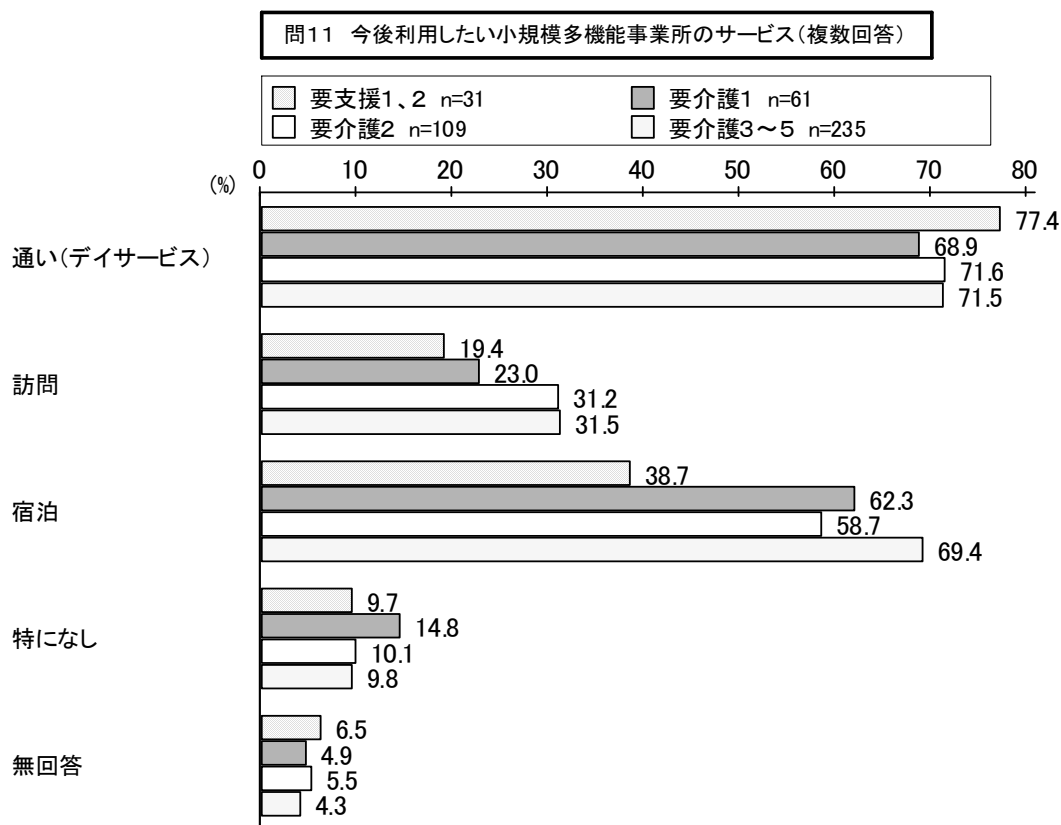
- 地域ケアプラザに相談に行き、複数の施設の紹介をして頂きいろいろな施設見学をして、一番よかったので利用しました。
- 夜間の訪問利用、急なデイサービス利用に対応できると言われたため。以前利用していたデイサービスは17:00までしかあずかってくれなかったので・・・時間の融通が利く。
- 市内病院のソーシャルワーカーの職員のご紹介で知り案内されました。入る前は、全然食事が食べられず食事の寝たきりの状態でもう助からないとあきらめていましたら、利用するようになったら食事を食べるようになりどんどん元気になって参りまして、現在歩けるようになり毎日本人が幸せと喜んでおります。
- 地域のケアマネがみつからず、役所の資料で一件一件見学して、私(娘)が納得した上で現在のところをお願いした。デイだけでなく、私が万が一倒れた時、ショートと同じところをお願いできる安心があるから。
- ショートステイが自由に使える。時間外サービスが随時受けられる。早い迎え・遅くまで預かり。デイサービスでは出来ない事が心配なくやってもらえる。普通のデイサービスでショートステイには、かなり早くからの予約が必要。一般のショートでは人も場所も変り軽いパニック状態を引き起こす。我が家で例があります。

問8 小規模多機能事業所を利用し始めた理由(複数回答)



(3) 今後の利用ニーズ(今後利用したい小規模多機能のサービス)

今後の利用ニーズをみると、「通い(デイサービス)」は7割前後であり、要介護3では74.8%となっている。「訪問」は要介護4で37.8%となっている。「宿泊」は要介護3で71.3%となっている。



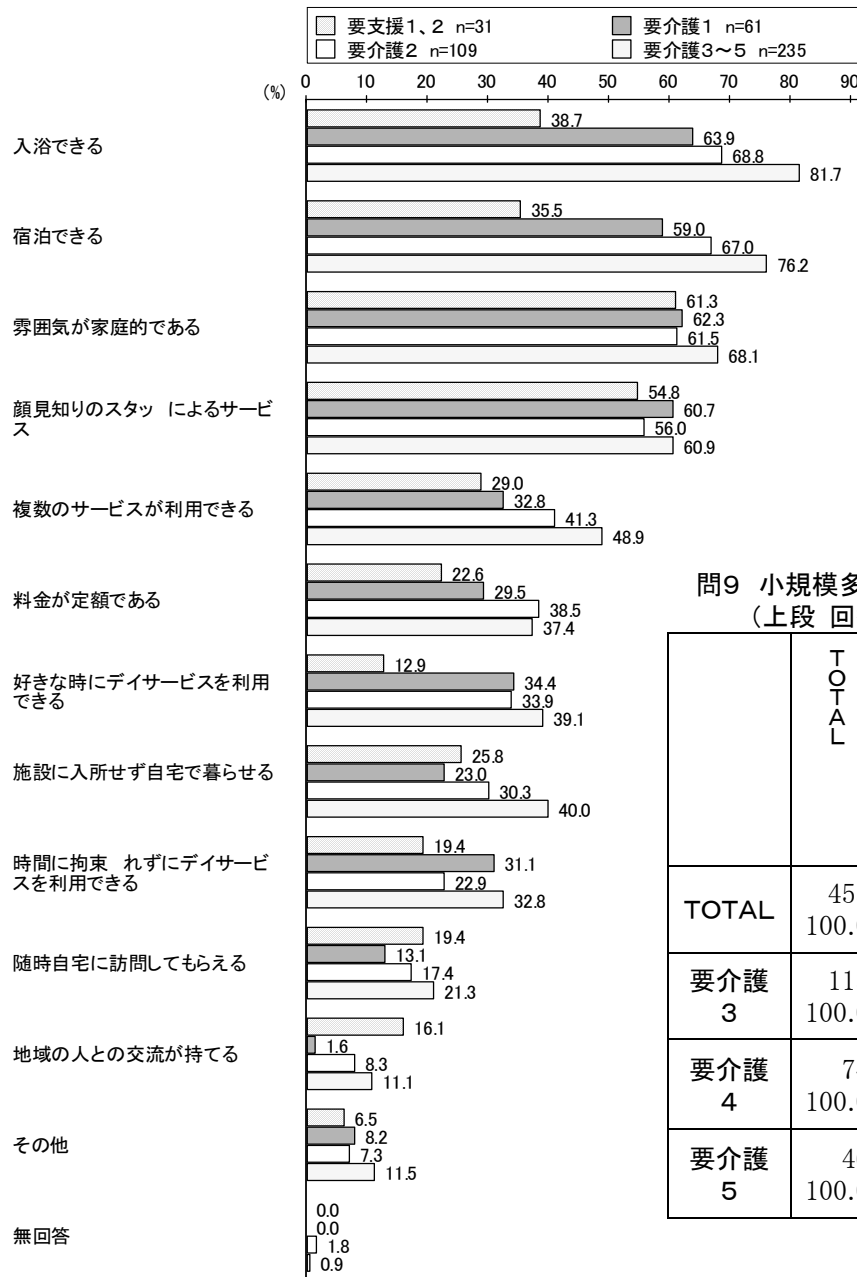
問11 今後利用したい小規模多機能事業所のサービス(複数回答)
(上段 回答者数 人 下段 回答 成)

	TOTAL	通い(デイサービス)	訪問	宿泊	特になし	無回答
TOTAL	453 100.0	320 70.6	131 28.9	281 62.0	48 10.6	24 5.3
要支援1	12 100.0	9 75.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	0 0.0
要支援2	19 100.0	15 78.9	5 26.3	10 52.6	0 0.0	2 10.5
要介護1	61 100.0	42 68.9	14 23.0	38 62.3	9 14.8	3 4.9
要介護2	109 100.0	78 71.6	34 31.2	64 58.7	11 10.1	6 5.5
要介護3	115 100.0	86 74.8	32 27.8	82 71.3	10 8.7	3 2.6
要介護4	74 100.0	50 67.6	28 37.8	51 68.9	9 12.2	4 5.4
要介護5	46 100.0	32 69.6	14 30.4	30 65.2	4 8.7	3 6.5

※ 要支援1、2の回答母数は12人、19人と他の介護度に比べて少数のため、分析上では参考値として表示にとどめる。

(4) 良いと感じる点

問9 小規模多機能事業所の「良い」と感じる点(複数回答)



小規模多機能サービスを良いと感じる点を見ると、「入浴できる」は要介護3～5で81.7%、「宿泊できる」は要介護3～5で76.2%、「雰囲気が家庭的である」は要介護3～5で68.1%、「顔見知りのスタッフによるサービス」は要介護3～5で60.9%、要介護1で60.7%となっている。

なお、要介護3～5の内訳でみると、「入浴できる」は要介護4で85.1%、「宿泊できる」は要介護4で79.7%、「雰囲気が家庭的である」は要介護4で73.0%、「顔見知りのスタッフによるサービス」は要介護4で66.2%となっている。(下表参照)

問9 小規模多機能事業所の「良い」と感じる点(複数回答)
(上段 回答者数 人 下段 回答 成)

	TOTAL	顔見知りのスタッフによるサービス	複数のサービスが利用できる	雰囲気が家庭的である	料金が定額である	随時自宅に訪問してもらえる	好きな時にデイサービスを利用できる	時間に拘束されずにデイサービスを利用できる	宿泊できる	入浴できる	地域のひととの交流が持てる	施設に入所せず自宅で暮らせる	その他	無回答
TOTAL	453	260	191	289	157	84	155	127	303	324	43	151	44	11
要介護3	100.0	57.4	42.2	63.8	34.7	18.5	34.2	28.0	66.9	71.5	9.5	33.3	9.7	2.4
要介護4	74	49	41	54	27	17	30	24	59	63	8	35	10	2
要介護5	100.0	66.2	55.4	73.0	36.5	23.0	40.5	32.4	79.7	85.1	10.8	47.3	13.5	2.7
要介護3	46	30	20	31	21	13	15	16	36	36	6	19	4	0
要介護5	100.0	65.2	43.5	67.4	45.7	28.3	32.6	34.8	78.3	78.3	13.0	41.3	8.7	0.0